

宅地割り計画の図面作成

座標・地番を読み込み、宅地割り計画で 3 パターンの計画データを入力します。

その後、宅地割り計画データを基に CAD 図面を自動作成して編集する流れで解説します。



※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。
ご了承ください。

区分	面積	積面積 (坪)	比	率色	別備
宅地	1850.11㎡	559.65坪	66.75%		
道路	481.63㎡	145.69坪	17.38%		
セットバック	61.02㎡	18.45坪	2.20%		
公園	358.85㎡	108.55坪	12.95%		
二重	20.00㎡	6.05坪	0.72%		
合計	2771.61㎡	838.41坪	100.00%		



1. 入力例の説明	1
2. 作業現場情報の入力	2
2-1 [現場管理] を起動する	2
2-2 工区を作成する	3
2-3 現場を作成する	4
2-4 条件を設定する	5
3. 座標値がわかっている場合・・座標値の入力	6
3-1 座標値を入力する	6
4. 座標の取り込み・外周線の入力	7
4-1 [宅地割り計画] を起動する	7
4-2 入力値の丸めなどを設定する	8
4-3 区画属性マスターを設定する	8
4-4 区画名、区画面積、辺長表示を設定する	9
4-5 座標登録したデータを取り込む	9
4-6 外周線を入力する	12
5. 紙図面がある場合・・	
紙図面の読み込み・外周線の入力	14
5-1 補助線を入力する	14
5-2 紙図面をスキャンしたデータの読み込み	15
5-3 外周線を入力する	19
6. 宅地割り計画データの入力（パターン1）	20
6-1 セットバックを入力する	20
6-2 道路を入力する	22
6-3 分割線入力区画を分割する	29
6-4 定面積分割で区画を分割する	30
6-5 ゴミ置場区画を分割する	40
6-6 区画情報を設定する	42
6-7 [宅地割り計画] を終了する	46
6-8 作業データ名を変更する	46

7. 宅地割り計画データの入力（パターン2）	47
7-1 [宅地割り計画]を起動する	47
7-2 他の計画データを読み込む	48
7-3 パターン2の区画を入力する	49
7-4 区画の名称を設定する	54
7-5 [宅地割り計画]を終了する	55
7-6 作業データ名を変更する	55
8. 宅地割り計画データの入力（パターン3）	56
8-1 [宅地割り計画]を起動する	56
8-2 他の計画データを読み込む	57
8-3 道路を移動する	58
8-4 [宅地割り計画]を終了する	59
8-5 作業データ名を変更する	59
9. 図面の自動作成	60
9-1 [宅地割り計画]を起動する	60
9-2 図面を配置する	61
9-3 図面のスタイルを設定する	64
10. 図面の編集	65
10-1 線を入力する	65
10-2 文字を入力する	66
10-3 寸法線を入力する	67
10-4 重複文字を検索・移動する	68
10-5 表を移動する	69
10-6 方位マークを入力する	70
11. 現場データの保存	71
11-1 現場データを保存する	71
12. 図面の印刷	73
12-1 図面を印刷する	73

1 入力例の説明

本章では、下図の流れ図に従い、3つのパターンの宅地割り計画データを入力して、CAD図面を作成する操作を解説します。
パターン2のデータはパターン1のデータを読み込み、区画を修正して作成します。
パターン3のデータはパターン1のデータを読み込み、道路を移動して作成します。
図面はパターン1の宅地割り計画データを基に作成する操作を解説します。



2 作業現場情報の入力

【Mercury-ONE 現場管理】では、Mercury-ONEで作成したデータを管理します。
作業現場情報を詳細に入力することで、複数の現場（または図面）が管理しやすくなります。
また、複数の現場をまとめた「工区」という単位で管理することもできます。
工区は、作業現場の地区や時期などの条件によって分類することをお勧めします。

2-1 【現場管理】を起動する

【Mercury-ONE 現場管理】を起動します。



1 デスクトップ画面で
【Mercury-ONE
現場管理】をダブルクリック
します。



関連のある複数の現場データをまとめる単位として「工区」があり、親工区とサブ工区に分けて現場データを階層管理することもできます。

工区には名称をつけることができ、作成できる工区数にも制限はありません。（ハードディスク容量に依存）

工区で現場を分けることや現場情報を詳細に入力することにより、現場データを管理しやすくなります。

（工区の使用例：担当者別、発注者別、地区別、年度別、月別）

注意

現場の詳細は現場データを少なくとも1度は保存しなければ設定できません。



1 [ホーム] タブー [工区] グループー [工区作成] をクリックします。



工区の新規作成

新しい工区を作成します

サブ工区として作成する(S)

所属工区(D):

作成する工区名(N): 令和3年度分

現場データ デフォルト保存フォルダー(E):
C:\FCAPP\TREND-ONE\TONEData

参照(R)...

OK キャンセル

2 [工区名] を入力します。

3 [OK] をクリックします。

メモ

工区の階層化について

「サブ工区として作成する」にチェックを入れて、所属工区で親工区を選択することにより、親工区とサブ工区の2階層で仕分けすることができます。

工区数が多くなった場合でも管理がしやすくなります。

（下図の例では、親工区を「令和3年度分」、サブ工区を「坂井市」と設定しています。）

工区の新規作成

新しい工区を作成します

サブ工区として作成する(S)

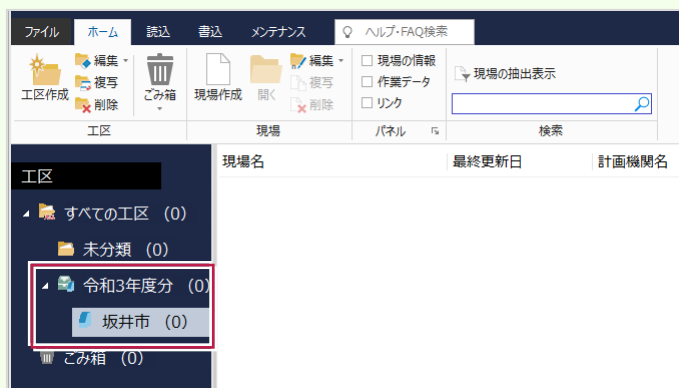
所属工区(D): 令和3年度分

作成する工区名(N): 坂井市

現場データ デフォルト保存フォルダー(E):
C:\FCAPP\TREND-ONE\TONEData

参照(R)...

OK キャンセル



2-3

現場を作成する

現場を作成します。

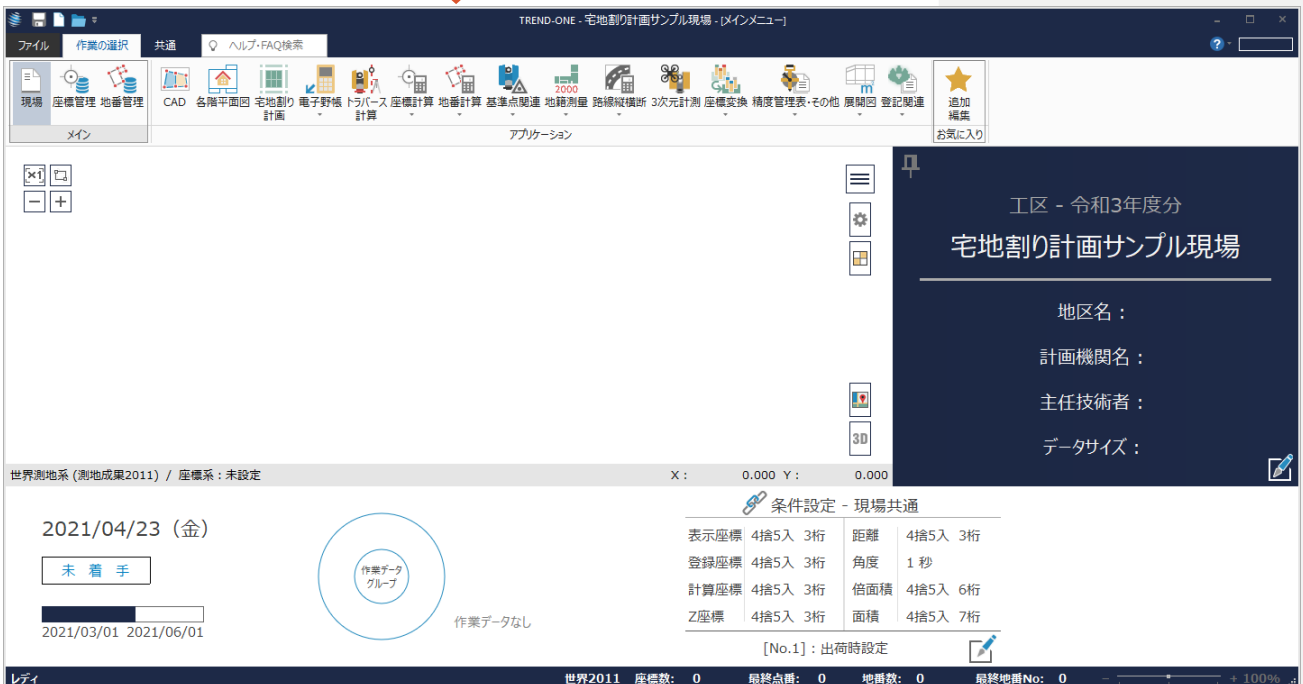


- 1 入力した工区をクリックします。
ここでは工区を新規作成したため、現時点では現場が存在しません。
- 2 [現場] グループ [現場作成] をクリックします。
- 3 [現場名] など、必要な項目を入力します。
- 4 [OK] をクリックします。
メインメニューが起動します。



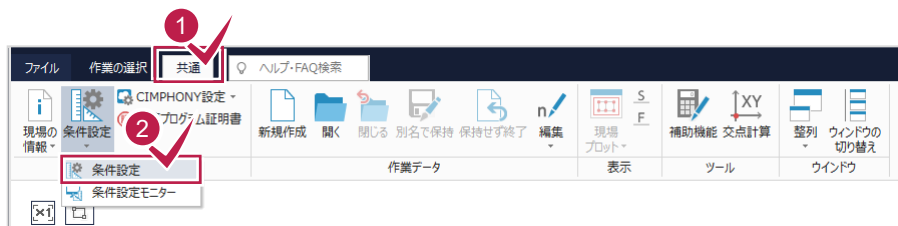
メモ 起動モードについて

サーバーインストールした場合、ここで現場占有か現場共有かを選択することが可能です。詳細はマニュアル「共同作業の運用方法」を参照してください。

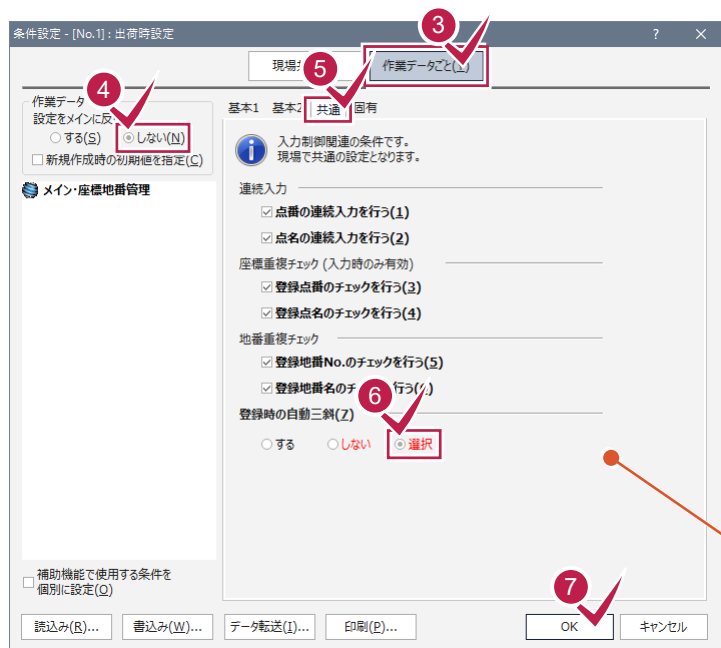


2-4 条件を設定する

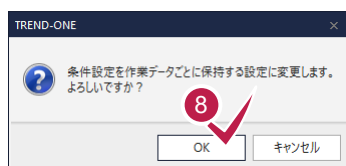
条件を設定します。



- 1 [共通] タブをクリックします。
- 2 [設定] グループ - [条件設定] - [条件設定] をクリックします。



- 3 [作業データごと] をクリックします。
- 4 [設定をメインに反映] の [しない] のチェックをオンにします。
- 5 [共通] タブをクリックします。
- 6 [登録時の自動三斜] の [選択] のチェックをオンにします。
- 7 [OK] をクリックします。



- 8 [OK] をクリックします。

3 座標値がわかっている場合・・・ 座標値の入力

座標値がわかっている場合は「座標管理」で座標値を入力します。

3-1 座標値を入力する



- 1 [作業の選択] タブ
[メイン] グループ
[座標管理] をクリック
します。
- 2 点名、X座標、Y座標を
入力します。

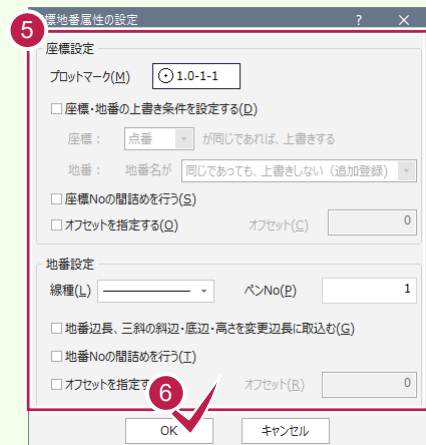
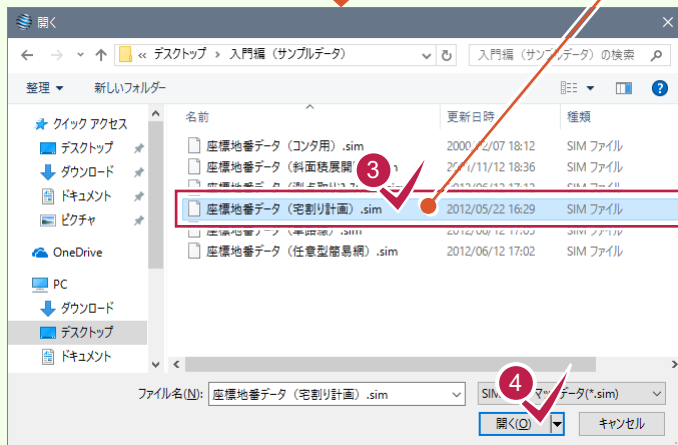


SIMA データの読み込みについて

弊社で用意した SIMA データ「座標地番データ（宅割り計画）.sim」を読み込んで座標を入力することもできます。



サンプルデータ「座標地番データ（宅割り計画）.sim」は、[ヘルプ] メニュー
[マニュアル] からダウンロード可能です。



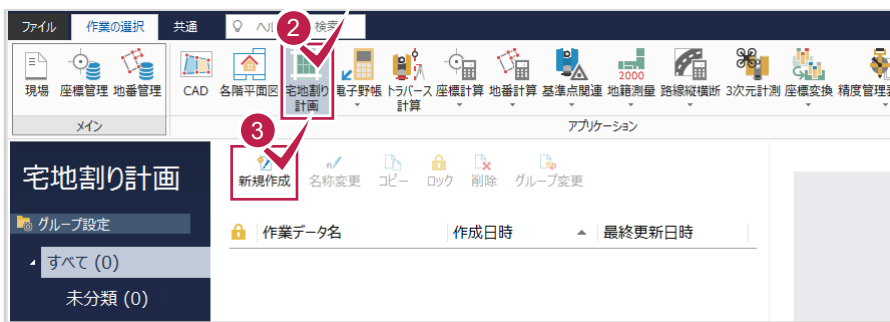
4 座標の取り込み・外周線の入力

〔宅地割り計画〕で登録した座標値を取り込み、外周線を入力します。
本書では、SIMAデータ読み込み後の画面から解説します。

4-1 〔宅地割り計画〕を起動する

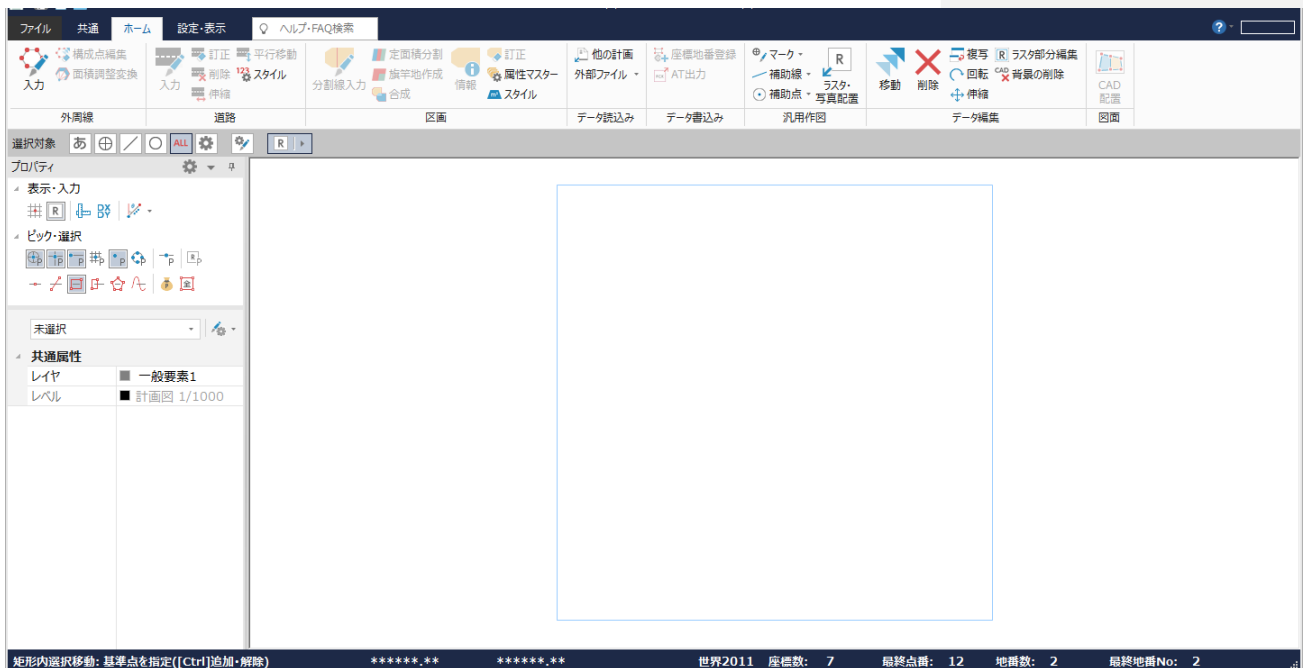


1 [メイン] グループ
[現場] をクリックします。

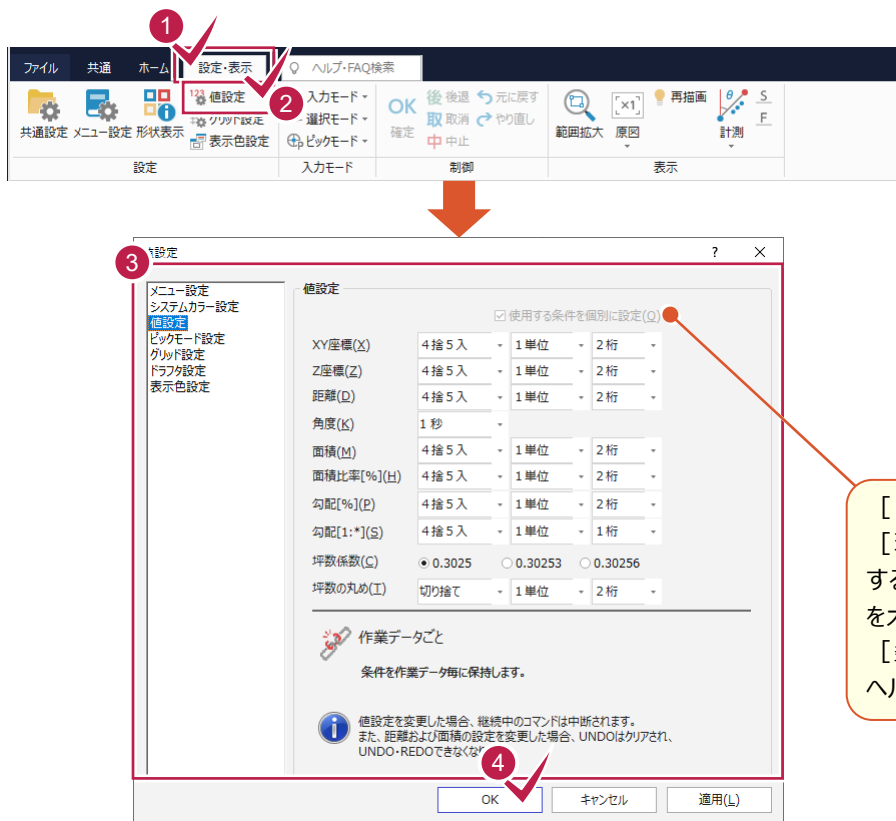


2 [アプリケーション]
グループ [宅地割り
計画] をクリックします。

3 [新規作成] をクリック
します。



4-2 入力値の丸めなどを設定する



1 [設定・表示] タブをクリックします。

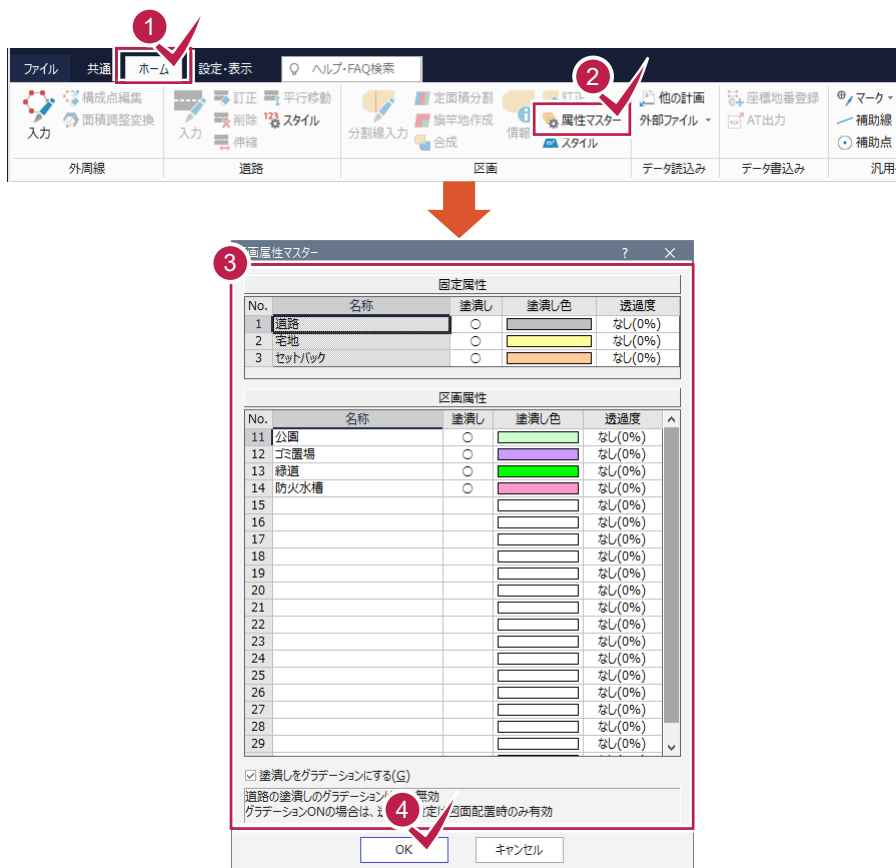
2 [設定] グループ [値設定] をクリックします。

3 4 座標、角度、面積、勾配などの丸めを設定して、[OK] をクリックします。

[メインメニュー] の条件設定が [現場共通] の場合は、[使用する条件を個別に設定] のチェックをオンにして設定してください。 [条件設定] についての詳細は、ヘルプを参照してください。

4-3 区画属性マスターを設定する

区画属性の名称、塗潰しの有無、塗潰し色、透過度を設定します。



1 [ホーム] タブをクリックします。

2 [区画] グループ [属性マスター] をクリックします。

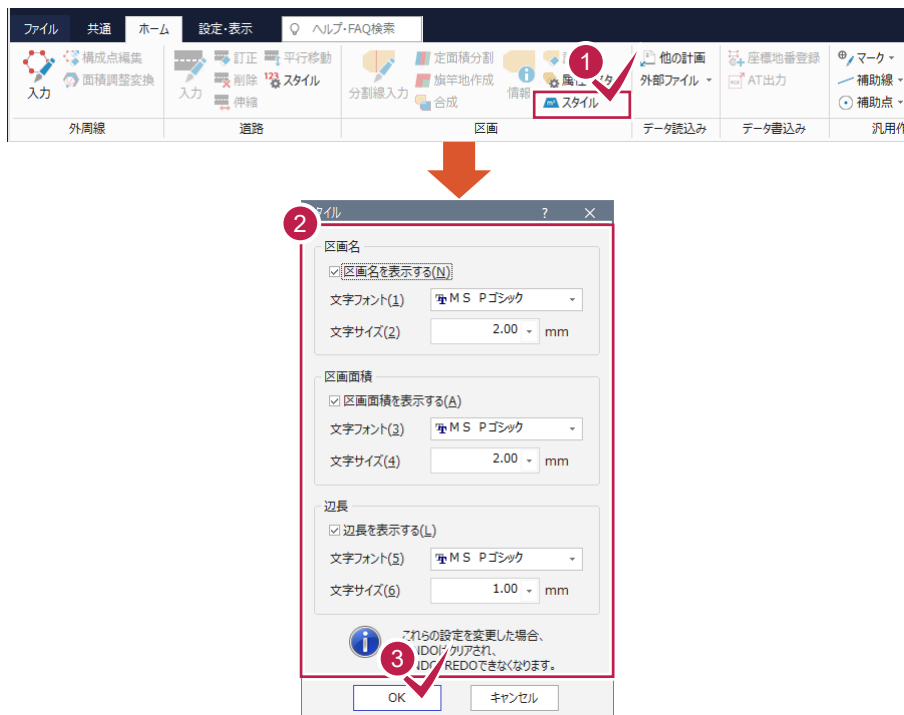
3 区画属性の名称、塗潰しの有無、塗潰し色、透過度を設定します。

4 [OK] をクリックします。

4-4

区画名、区画面積、辺長表示を設定する

区画名、区画面積、辺長の表示を設定します。

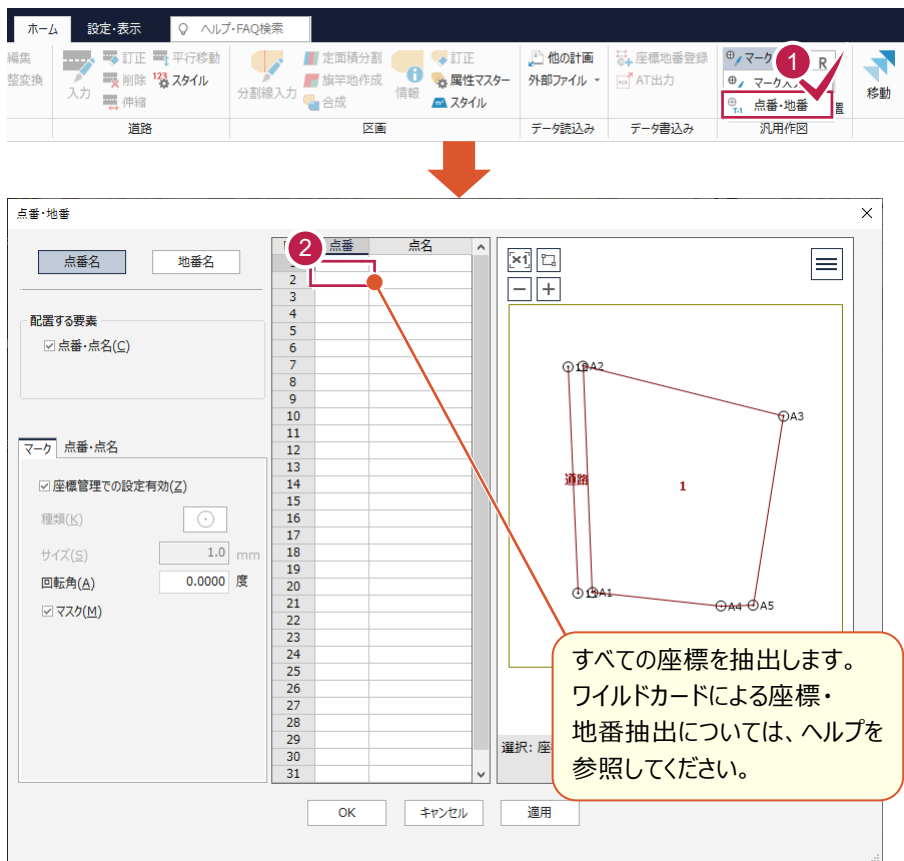


- 1 [区画] グループ - [スタイル] をクリックします。
- 2 表示する項目のチェックをオンにして、表示文字列のフォント、サイズを設定します。
- 3 [OK] をクリックします。

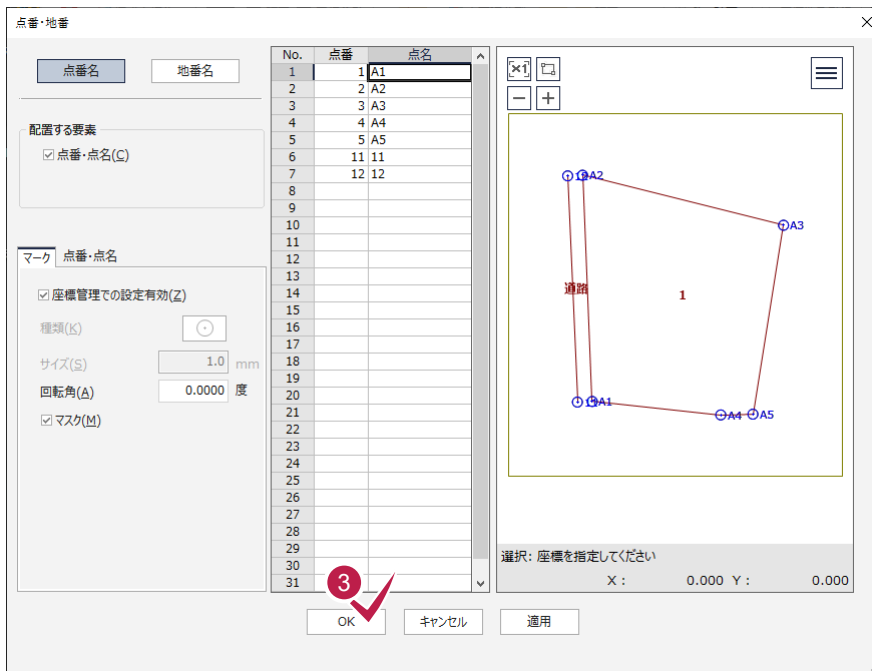
4-5

座標登録したデータを取り込む

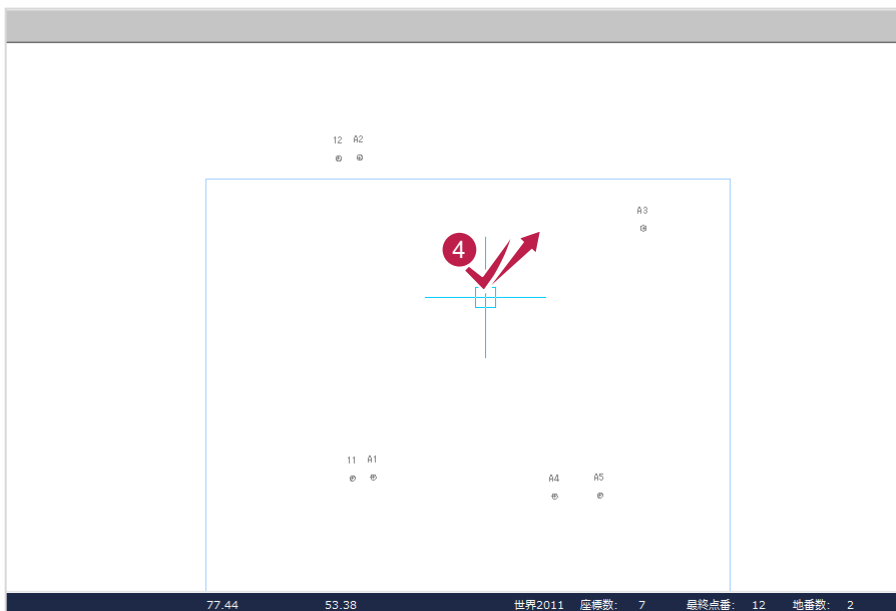
[座標管理] に登録されているデータを取り込みます。



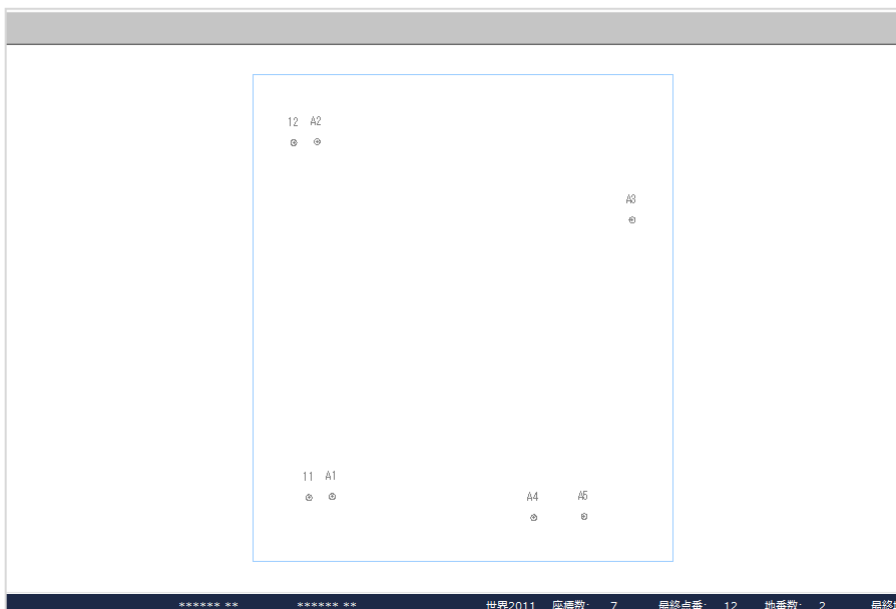
- 1 [汎用作図] グループ - [マーク] - [点番・地番] をクリックします。
- 2 1行目の [点番] セルをクリックして、「*」を入力してEnterキーを押します。



3 [OK] をクリックします。
すべての座標データが取り込まれます。



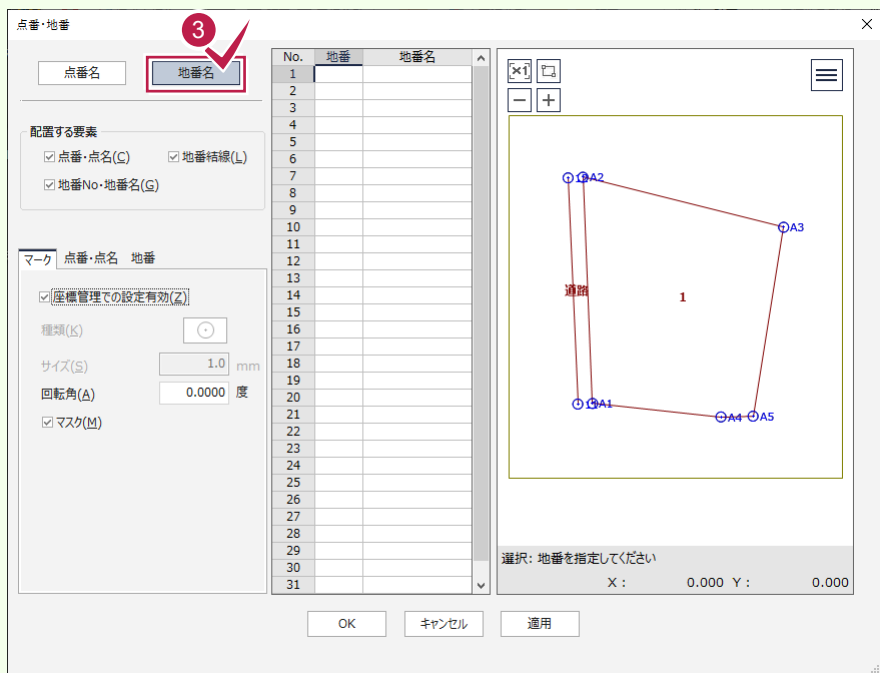
4 マウスの両ボタンを押したまま右上方向に移動します。
全体が表示されます。





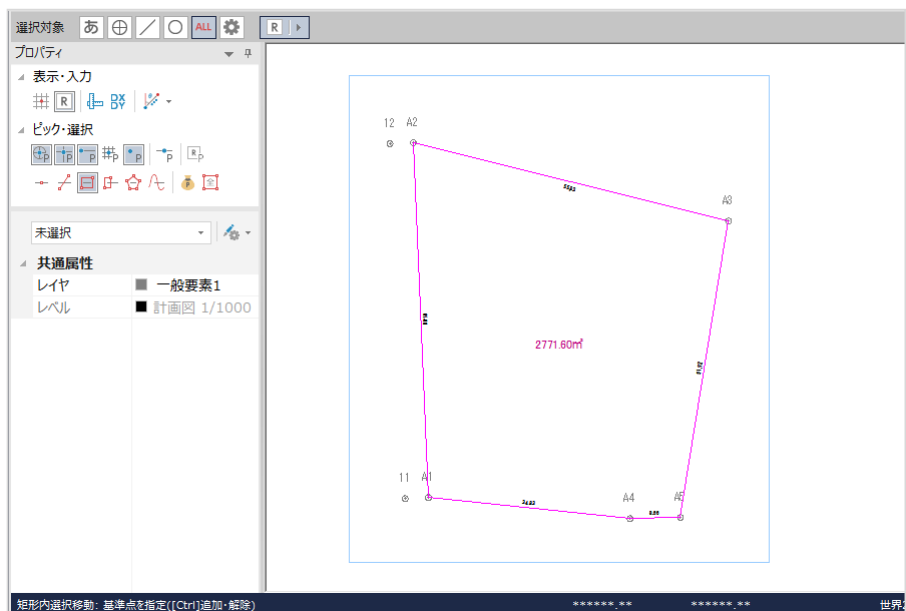
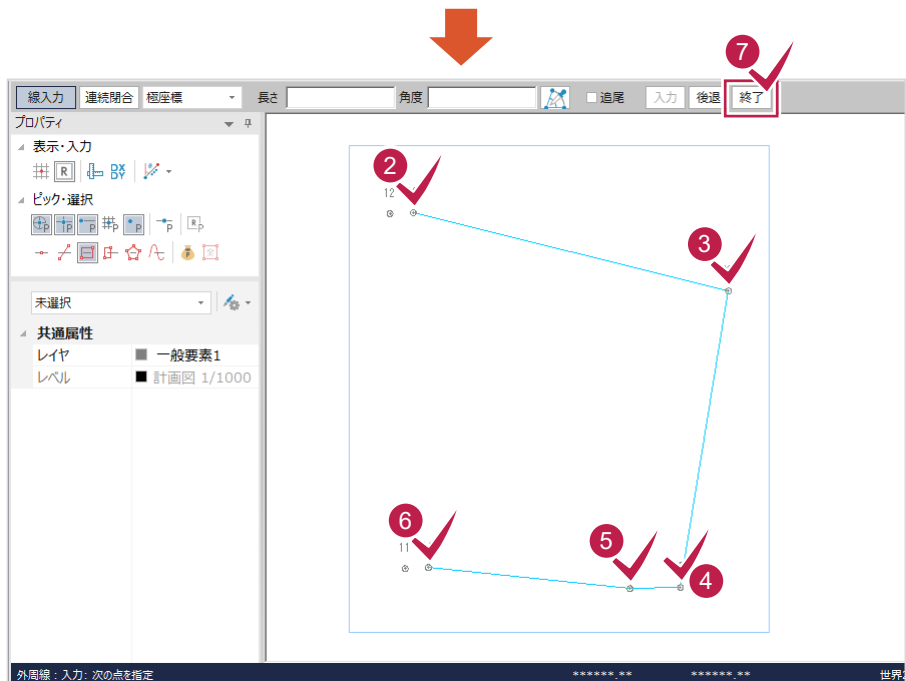
地番登録したデータの取り込み

地番登録したデータは、[ホーム] タブ [汎用作図] グループ [マーク] - [点番・地番] の [地番名] で取り込むことができます。



4-6 外周線を入力する

入力したマークより外周線を入力します。外周線で囲まれた領域は区画になります。



1 [外周線] グループ
[入力] をクリックします。

2 3 4 5 6
「A2」→「A3」→「A5」
→「A4」→「A1」の順に
クリックします。

7 [終了] をクリックします。

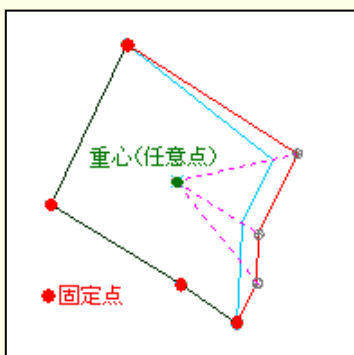


外周線で囲まれた領域の面積調整について

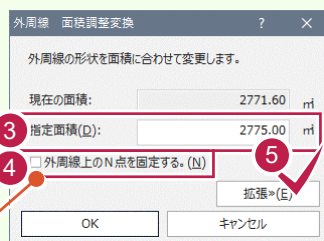
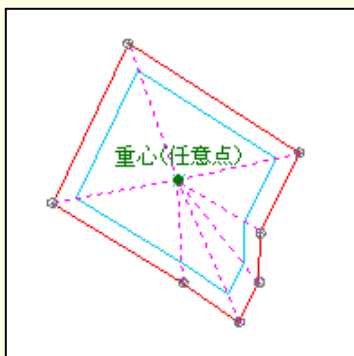
図面上の面積とあわない場合は、[ホーム] タブ - [外周線] グループ - [面積調整変換] で面積を調整します。



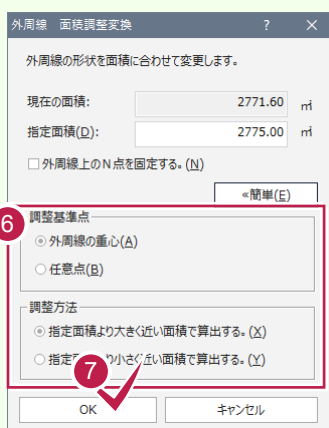
外周線上の構成点をN点固定し面積を調整する場合はチェックをオンにします。
N点固定の場合は [OK] ボタン (1回目) あるいは [再計算] ボタン (2回目以降) をクリック後、画面上で固定点を指定します。



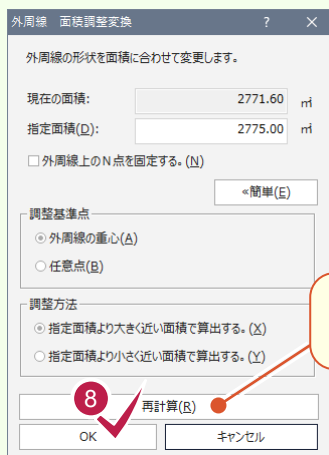
チェックがオフのときは 1 点指定で面積を調整します



- 1 [ホーム] タブをクリックします。
- 2 [外周線] グループ - [面積調整変換] をクリックします。

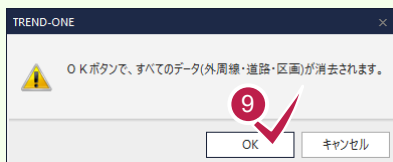


- 3 4 [指定面積] に調整後の面積を入力します。N点を固定して面積調整変換をする場合は、[外周線上のN点を固定する] のチェックをオンにします。
- 5 [拡張] をクリックします。



- 6 7 調整基準点、調整方法を選択して、[OK] をクリックします。
- 8 調整が確定の場合は、[OK] をクリックします。

再度、調整する場合は、調整面積を入力し [再計算] で調整します。



- 9 [OK] をクリックします。

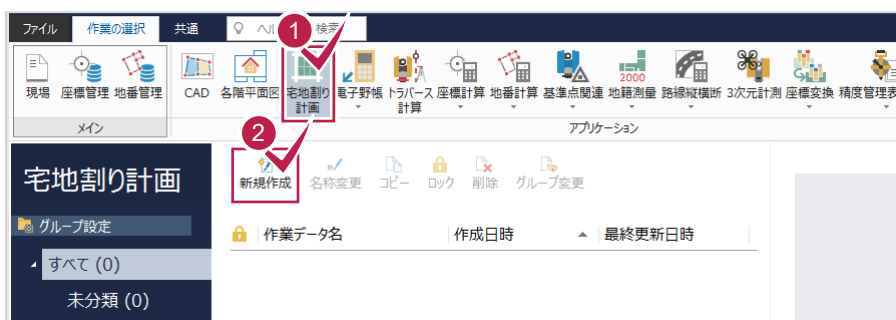
「座標の取り込み・外周線の入力」を終了したら、「宅地割り計画データの入力 (パターン 1) 」 (P.20) へお進みください。

5 紙図面がある場合・・・ 紙図面の読み込み・外周線の入力

紙図面がある場合は、「宅地割り計画」で紙図面をスキャンしたデータを読み込み、外周線を入力します。

5-1 補助線の入力

入力例では、距離がわかっている区画辺を補助線で入力して、ラスタ配置時にそれに合わせて補正します。
縮尺がわかっている場合は、「5-2紙図面をスキャンしたデータの読み込み」(P.15)へお進みください。

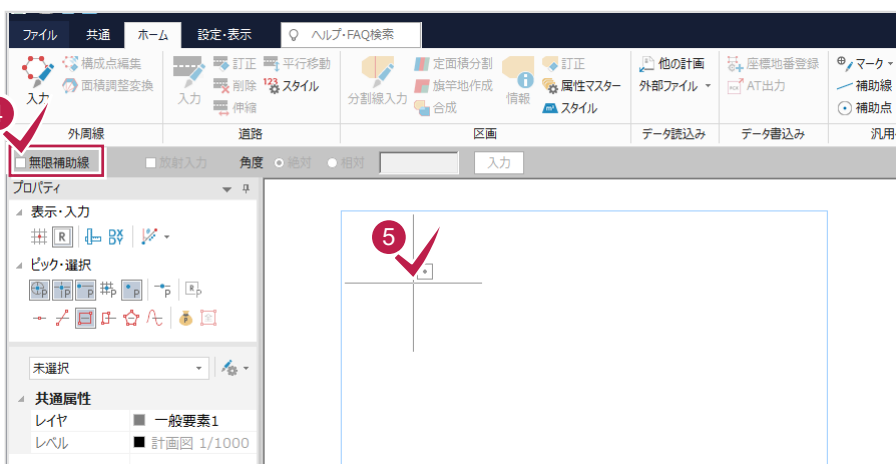


1 [作業の選択] タブー [アプリケーション] グループー [宅地割り計画] をクリックします。

2 [新規作成] をクリックします。

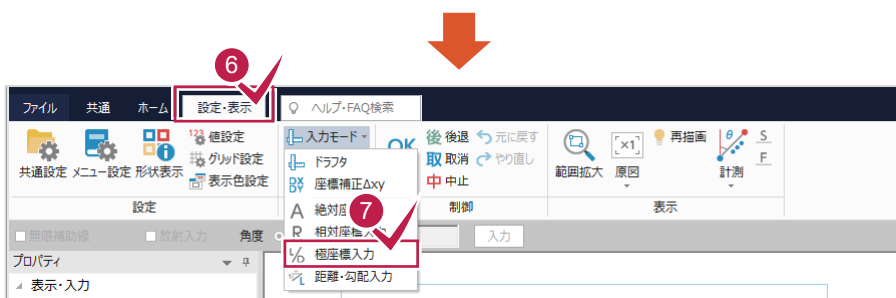


3 [ホーム] タブー [汎用作図] グループー [補助線] - [任意線] をクリックします。



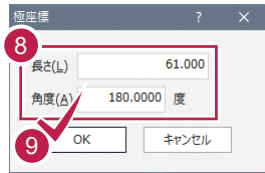
4 [無限補助線] のチェックをオフにします。

5 補助線の始点をクリックします。



6 [設定・表示] タブをクリックします。

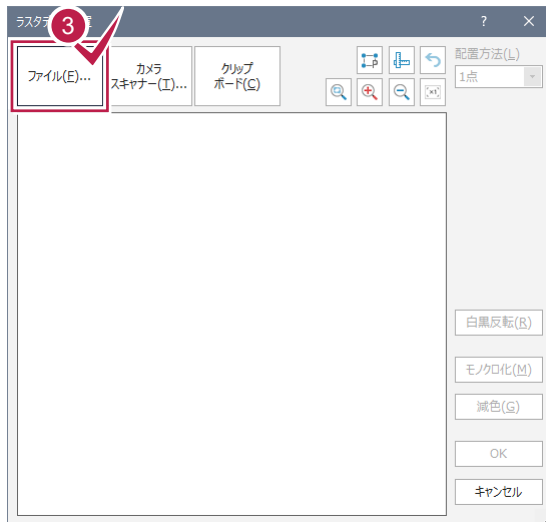
7 [入力モード] グループー [入力モード] - [極座標入力] をクリックします。



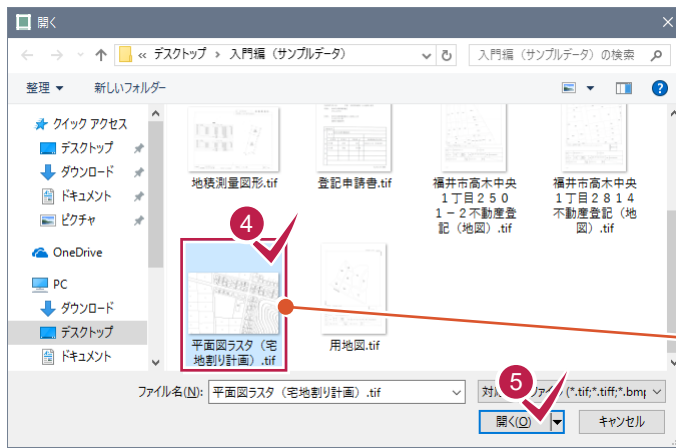
- 8 9 距離と方向角を入力して [OK] をクリックします。
- 10 右クリック [OK] をクリックします。

5-2 紙図面をスキャンしたデータの読み込み

紙図面をスキャンしたデータを読み込みます。
 入力例では、弊社で用意した「平面図ラスタ（宅地割り計画）.tif」を読み込みます。



- 1 [ホーム] タブをクリックします。
- 2 [汎用作図] グループ - [ラスタ・写真配置] をクリックします。
- 3 [ファイル] をクリックします。



4 「平面図ラスタ (宅地割り計画) .tif」をクリックします。

5 「開く」をクリックします。

サンプルデータ「平面図ラスタ (宅地割り計画) .tif」は、[ヘルプ]メニュー [マニュアル] からダウンロード可能です。



6 配置方法を「2点」または「4点」に設定します。
(ここでは「2点」で説明します。)

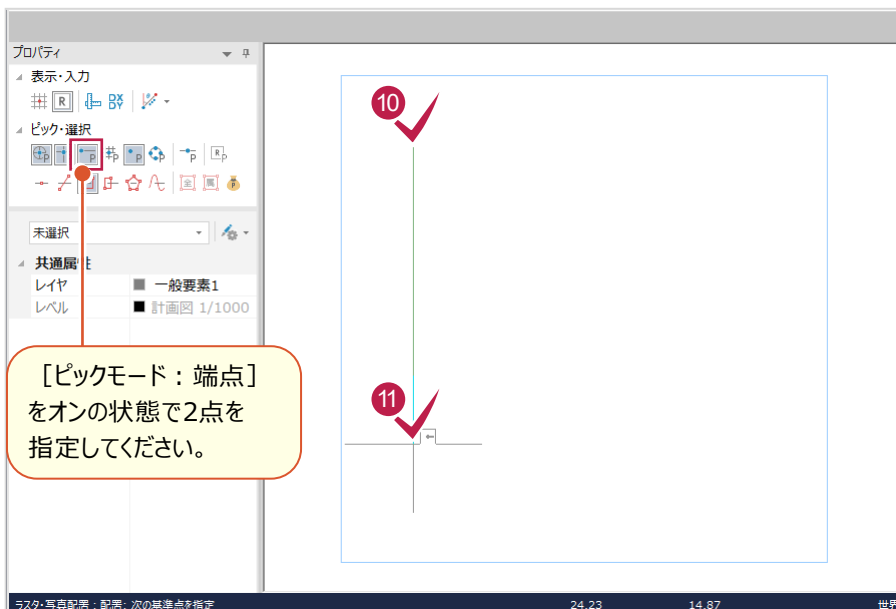
7 8 補助線の基準の2点をクリックします。

9 「OK」をクリックします。



配置方法について

縮尺がわかっている場合は、[配置方法]で「1点」を選択して、縮尺を入力してください。



[ピックモード：端点]をオンの状態で2点を指定してください。

10 11 CAD上で補助線の2点をクリックします。
ラスターデータが配置されて、再度、[ラスターデータ配置]ダイアログが表示されます。



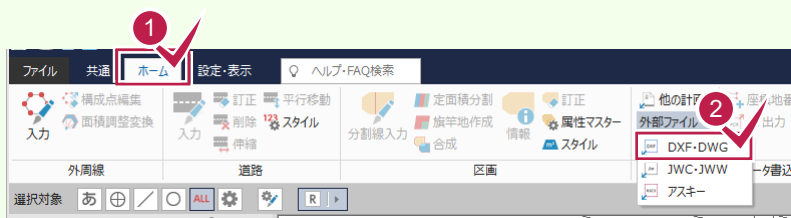
続けてラスターデータを入力できますが、ここでは終了するので [キャンセル] をクリックします。



12 「キャンセル」をクリックします。

DXF・DWG 形式の図面を背景として読み込む

DXF・DWG 形式の図面を背景として読み込むこともできます。

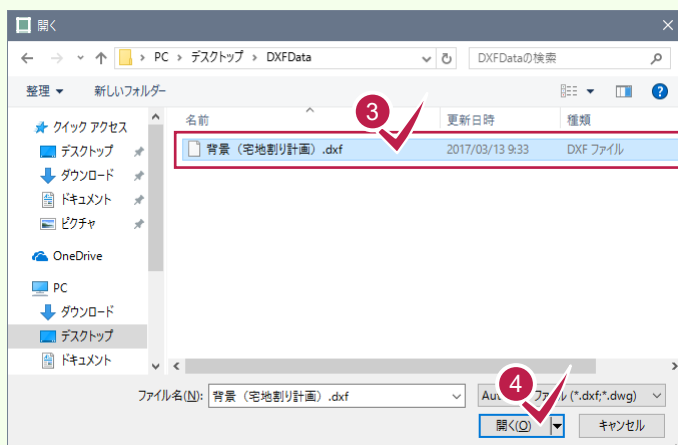


1 [ホーム] タブをクリックします。

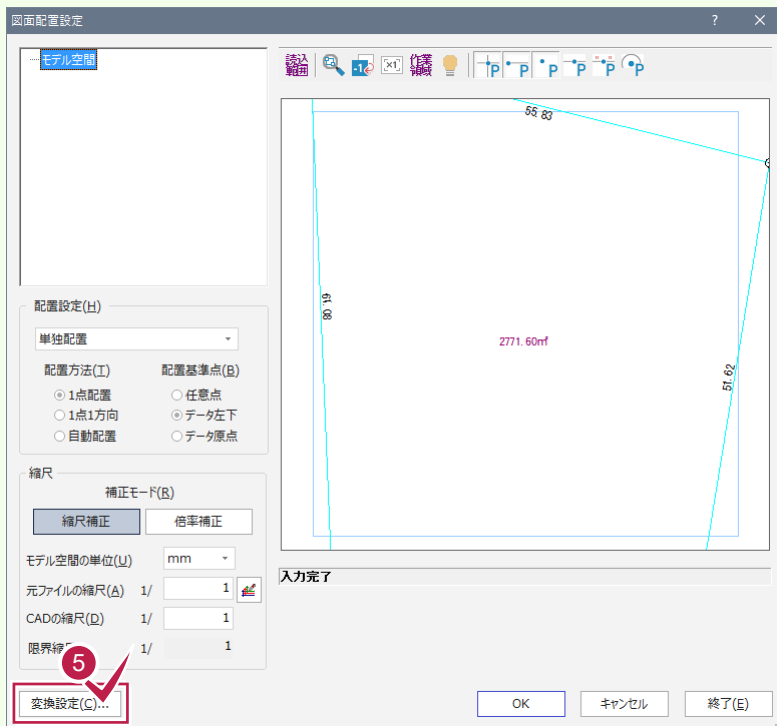
2 [データ読み込み] グループ
- [外部ファイル]
- [DXF・DWG] をクリックします。

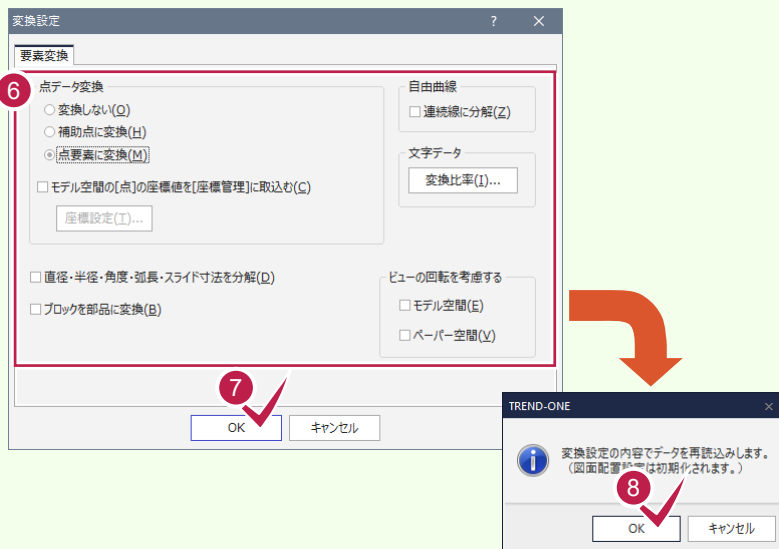
3 DXFファイルをクリックします。

4 [開く] をクリックします。

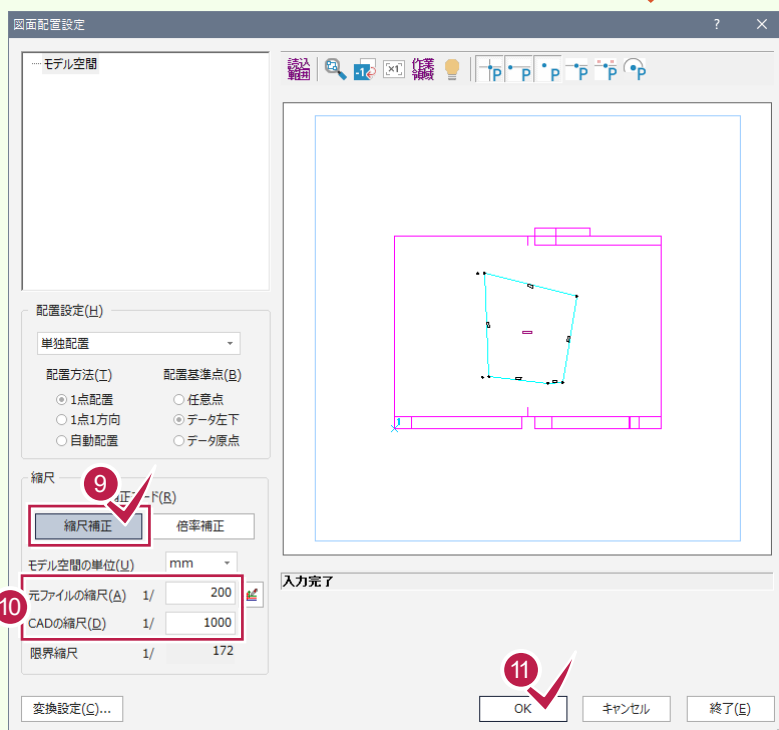


5 [変換設定] をクリックします。

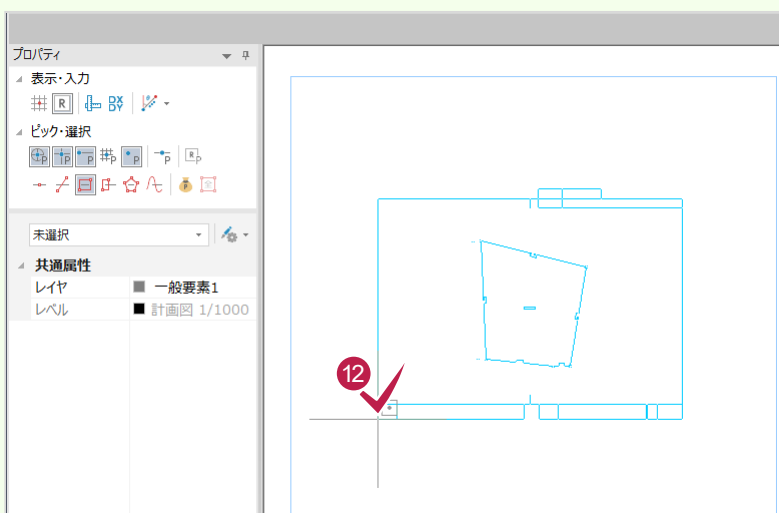




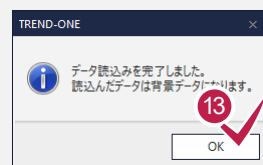
- 6 読み込み時の設定をおこないます。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 [OK] をクリックします。
[図面配置設定] ダイアログに戻ります。



- 9 10 [縮尺補正] をクリックし、縮尺を設定します。ここでは、[元ファイルの縮尺] に「200」、[CADの縮尺] に「1000」と入力します。背景データが用紙枠におさまります。
- 11 [OK] をクリックします。



- 12 図面の配置位置をクリックします。
- 13 [OK] をクリックします。

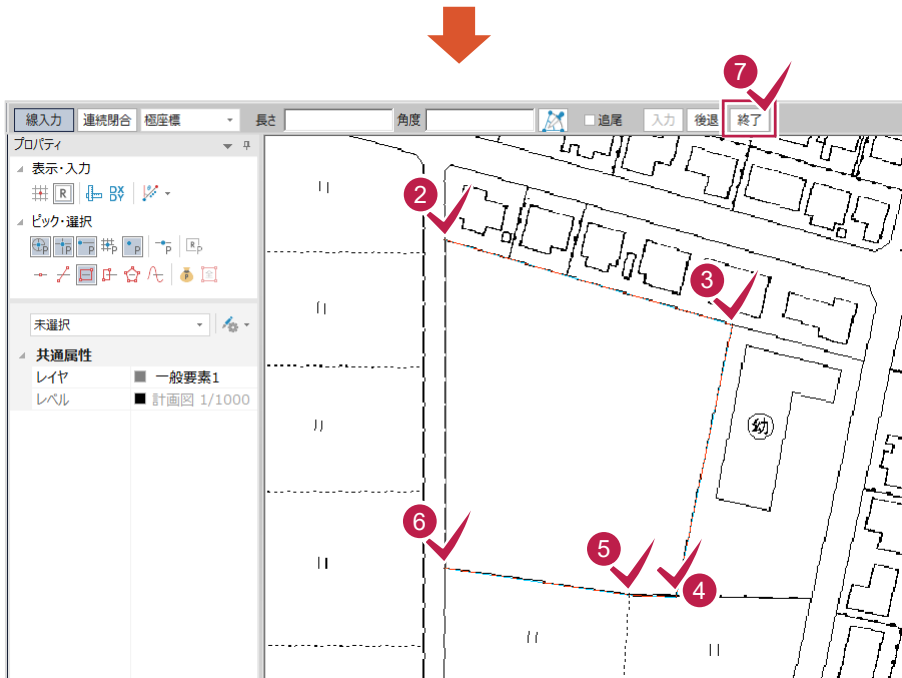


5-3

外周線を入力する



1 [外周線] グループ
[入力] をクリックします。



2 3 4 5 6

外周線の各点をクリック
します。

7 [終了] をクリックします。
外周線により区画が作成
され、面積が表示されます。

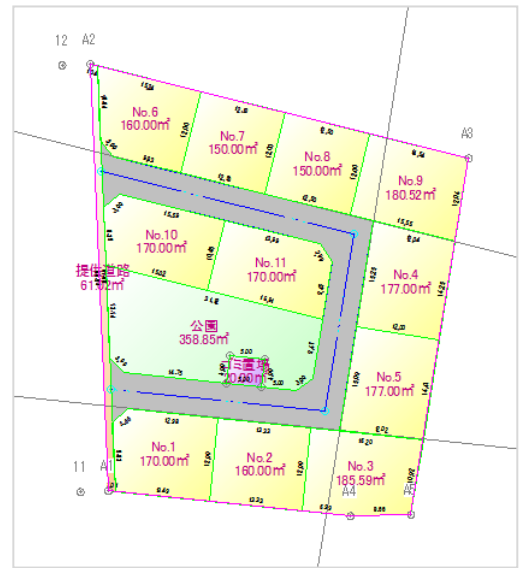


面積が表示されます。

図面上の面積とあわない場合は、前記した「座標の取り込み・
外周線の入力」の [メモ] 「外周線で囲まれた領域の面積
調整について」(P.13) を参照してください。

6 宅地割り計画データの入力 (パターン1)

〔宅地割り計画〕で、道路、区画を入力します。
本書では、パターン1（右図参照）の宅地割り計画データを入力する操作を解説します。

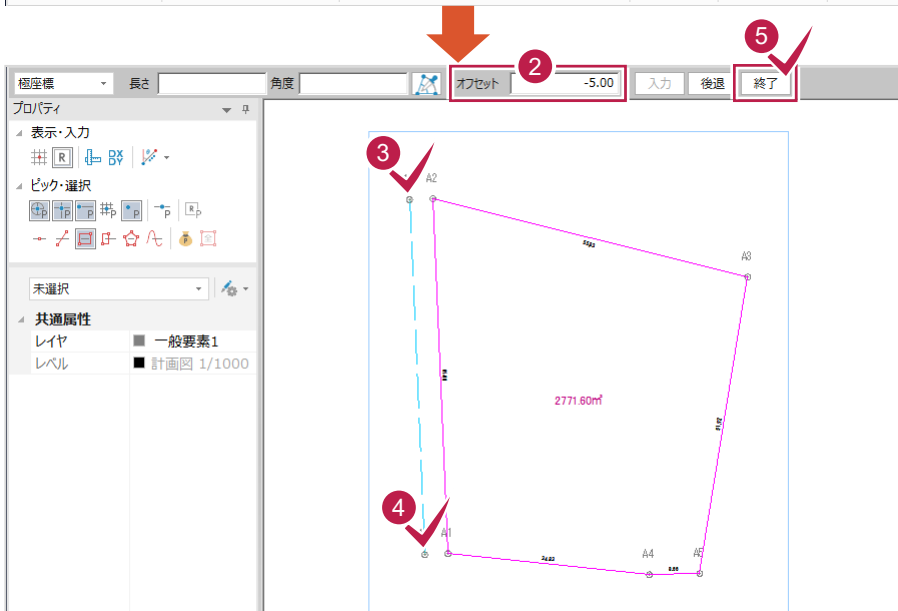


6-1 セットバックを入力する

入力例では、敷地の左側に接する道路の幅員が4mになっていますが、敷地の一部分を道路部分（セットバック部分）として、幅員を5mにします。

分割線を入力する

敷地の左側の2点を結ぶ道路線より幅員5mのところ分割線を入力します。
ここでは、〔区画〕グループ―〔分割線入力〕を使用して解説します。



- 1 [ホーム] タブー [区画] グループー [分割線入力] をクリックします。
- 2 インputバーの [オフセット] に「-5」と入力します。
- 3 4 敷地の左側の2点をクリックします。
- 5 [終了] をクリックします。

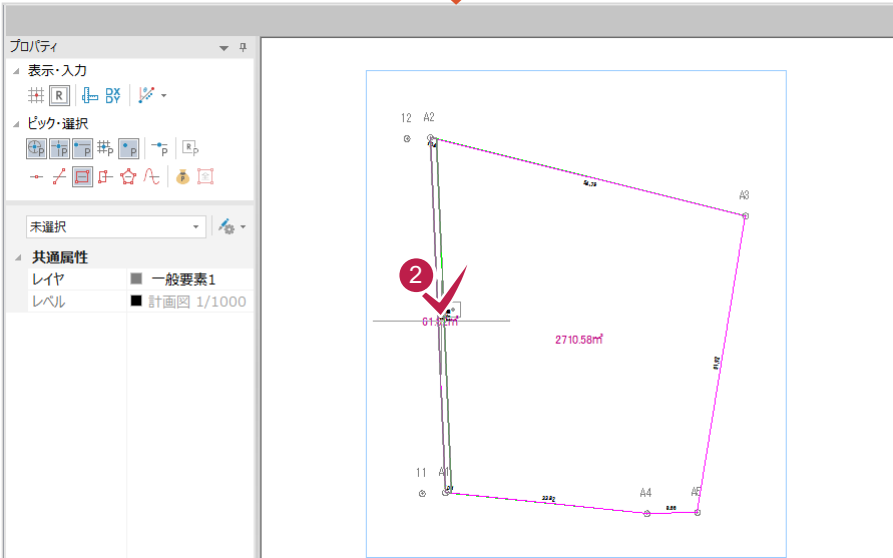
セットバックの区画情報を設定する

分割した区画にセットバックの区画情報を設定します。

ここでは、[区画] グループ— [訂正] を使用して解説します。



1 [区画] グループ— [訂正] をクリックします。

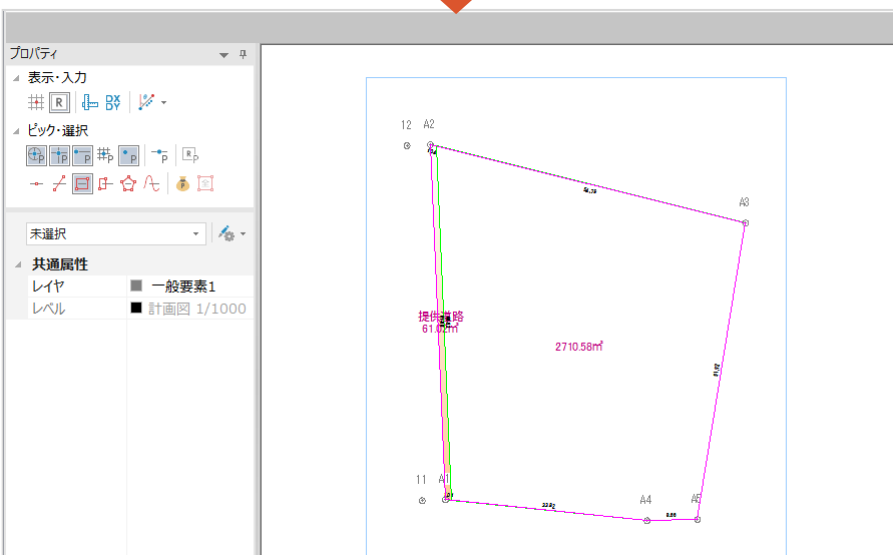


2 情報を設定する区画をクリックします。



3 [区画名] に「提供道路」と入力し、[属性] の [▼] をクリックして表示されるリストから「3 セットバック」を選択します。

5 [OK] をクリックします。



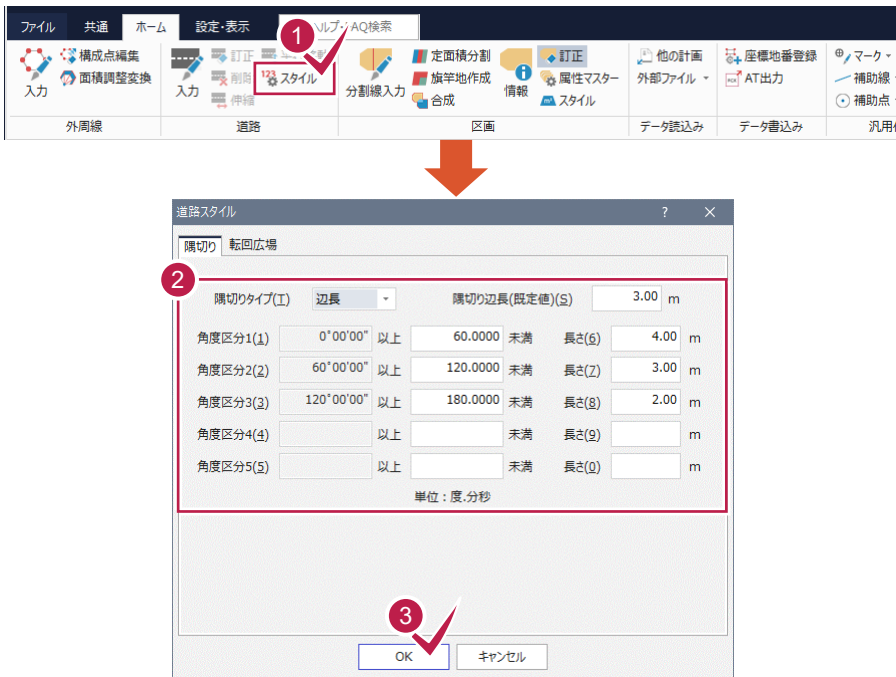
道路を入力します。

入力例では、外周線から12m内側に道路を入力します。

道路スタイルを設定する

隅切りのスタイルを設定します。

[道路] グループ - [スタイル] を使用します。



1 [道路] グループ - [スタイル] をクリックします。

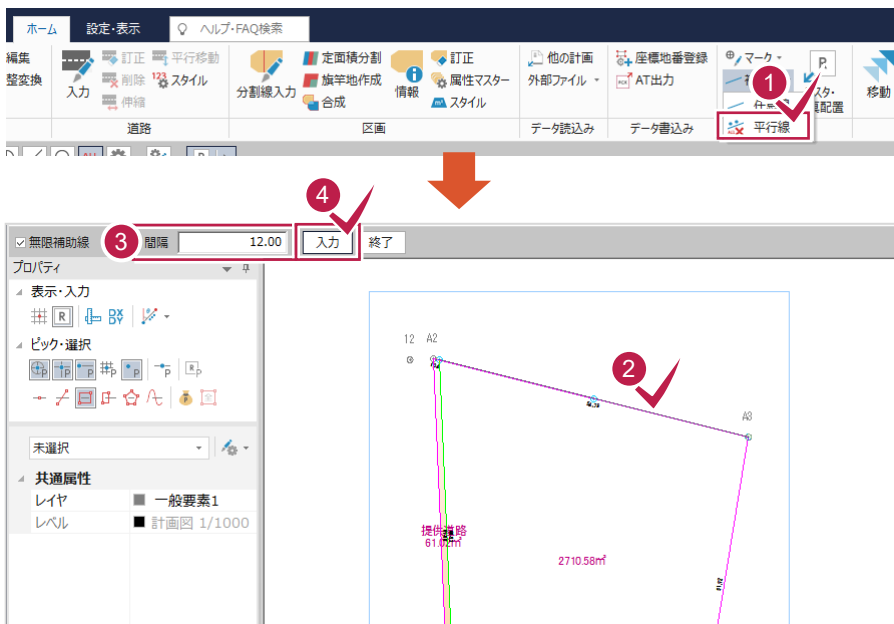
2 隅切りのスタイルを設定します。

3 [OK] をクリックします。

外周線に平行に補助線を入力する

上、右、下側の3本の外周線より12m内側に補助線を入力します。

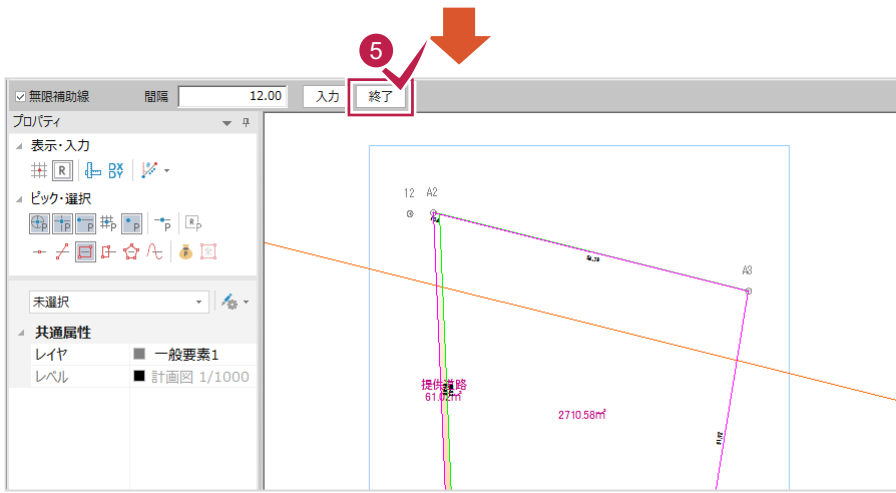
[補助] - [平行線] を使用して解説します。



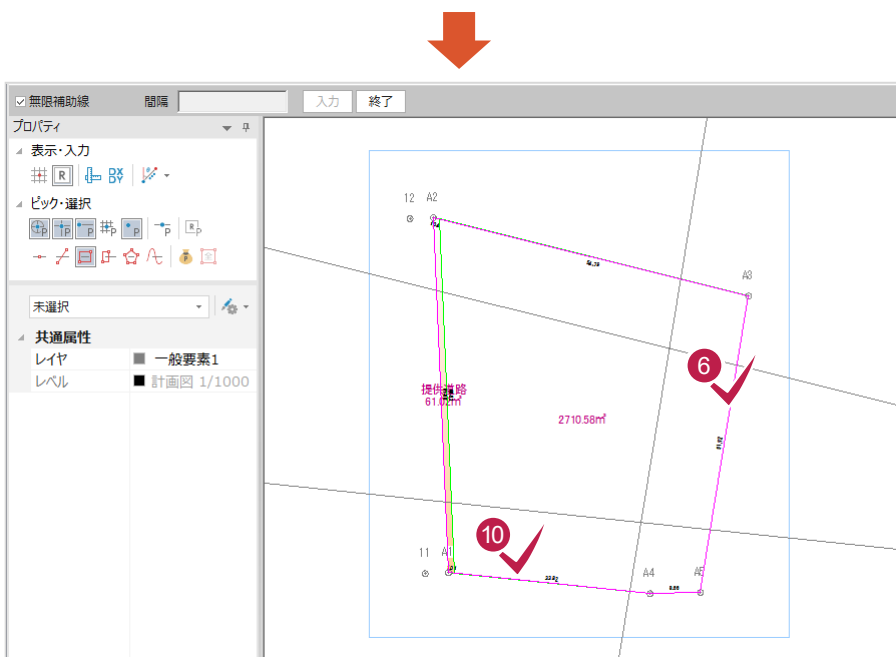
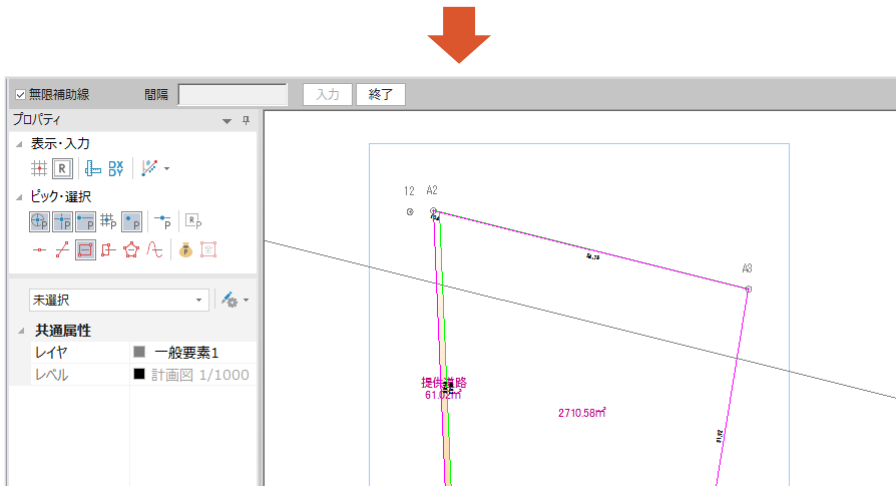
1 [汎用作図] グループ - [補助線] - [平行線] をクリックします。

2 基準となる外周線をクリックします。

3 4
インプットバーの [間隔] に「12」と入力し、[入力] をクリックします。
補助線が仮入力されます。



- 5** [終了] をクリックします。
補助線が確定入力され、
操作を終了します。

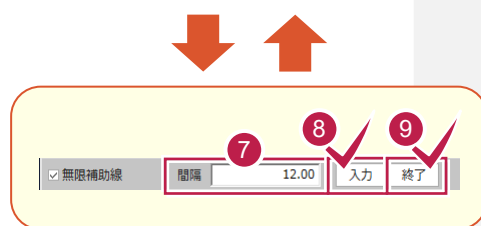
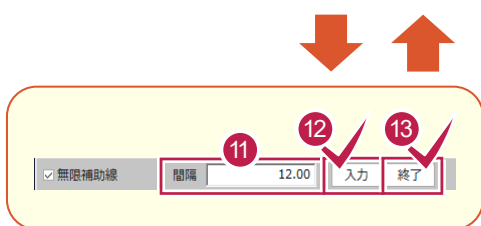


- 6 7 8 9**

同様に②～⑤の操作を
繰り返して、右側の外周線
の12m内側に補助線を入
力します。

- 10 11 12 13**

同様に②～⑤の操作を
繰り返して、下側の外周線
の12m内側に補助線を入
力します。

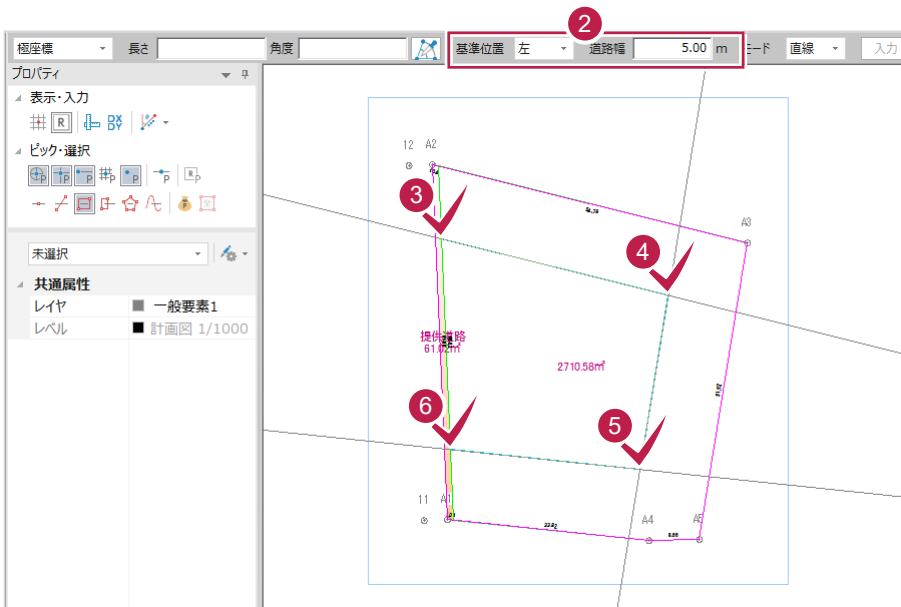


道路を入力する

補助線の交点を指定して、道路幅が5mの道路を入力します。



1 「道路」グループ
「入力」をクリックします。

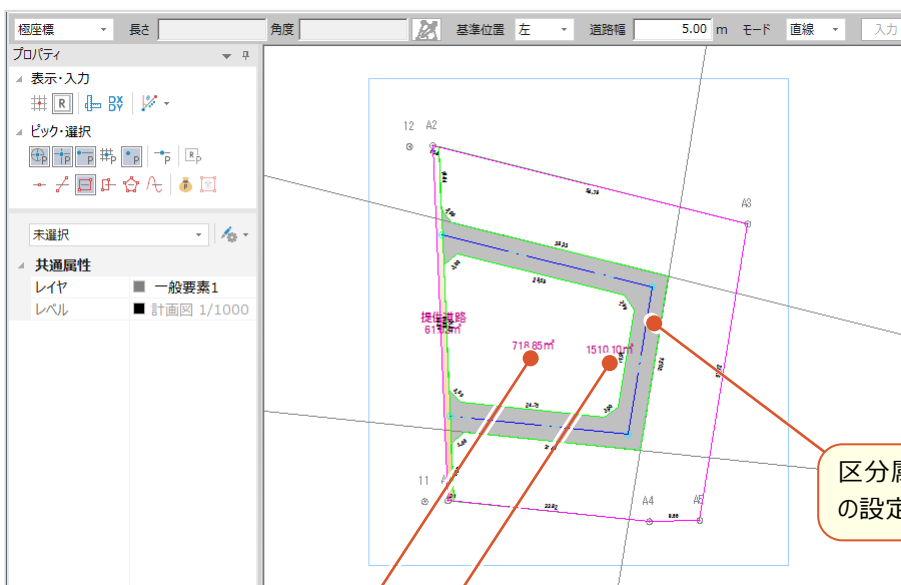


2 インputバーの「基準位置」が「左」、
「道路幅」が「5」に設定されていることを確認します。

3 4 5 6
道路の左側の点を順に
クリックします。



7 入力を終了したら、
inputバーの「終了」
をクリックします。
道路が入力されて、道路
で囲まれた領域が区画に
なり、分割された面積が
表示されます。

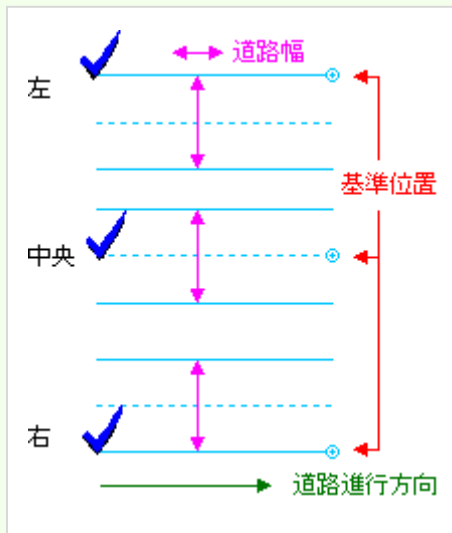


道路が入力されて、道路で囲まれた
領域が区画になり、分割された面積
が表示されます。

メモ

基準位置について

道路の進行方向（始点→終点）に向かって、左・中央・右になります。通過点で基準位置や道路幅を変更することはできません。

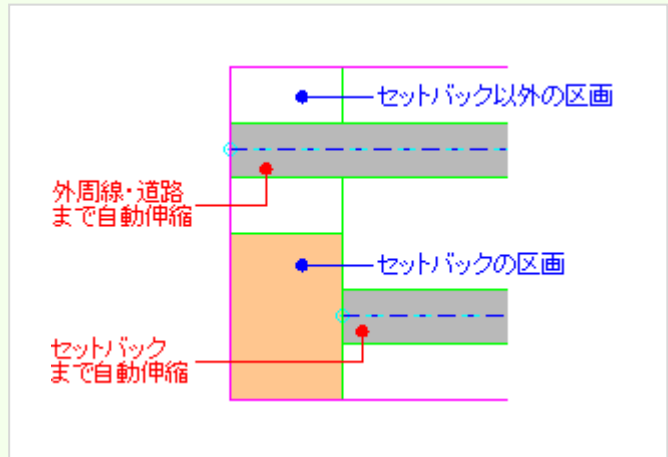
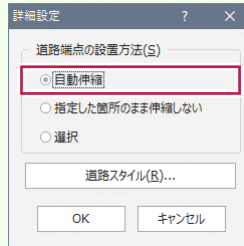


メモ

詳細設定について

【自動伸縮】

端点が道路領域内の場合は、交差点として接合するよう設置します。外周線（セットバックが外周線に接しているときはセットバック区画の線）より外に端点がある場合は、外周線（セットバック区画）に接するように設置します。端点の位置が上記いずれでもない場合は、外周線、セットバック、道路のどれかにぶつかるまで延長します。



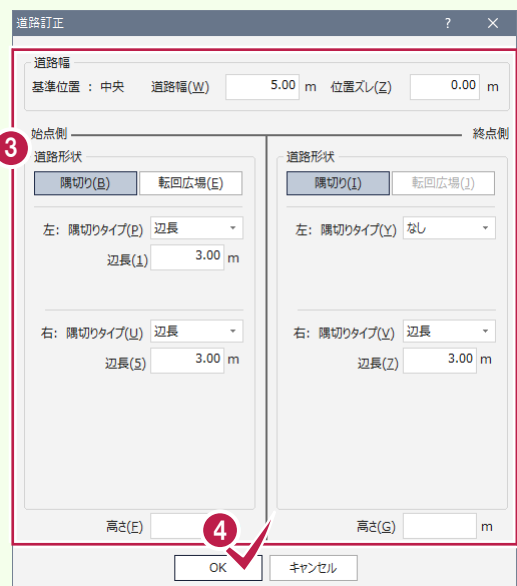
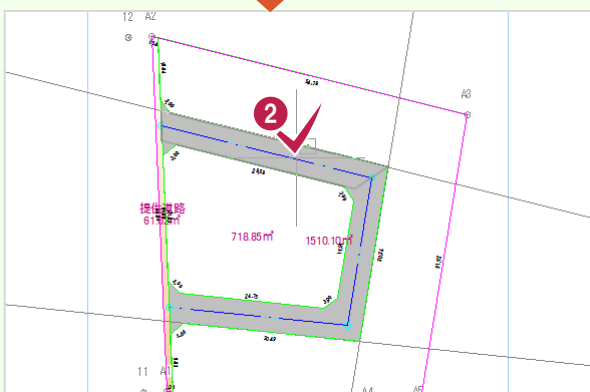
【指定した箇所そのまま伸縮しない】

端点が道路領域内にある場合は、交差点として接合するよう設置します。端点が外周線上（セットバック区画の線上）にある場合は、外周線（セットバック区画の線）に接するように設置します。端点の位置が上記いずれでもない場合は、道路進行方向に対して90度方向に道路端部を閉じるように設置します。

メモ

道路を訂正する

[ホーム] タブ - [道路] グループ - [訂正] で、隈切りなどを訂正することができます。

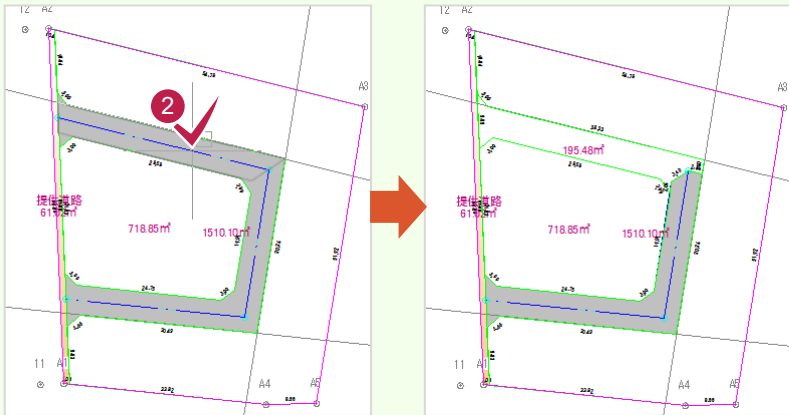




道路を削除する



1 [ホーム] タブー [道路] グループー [削除] をクリックします。

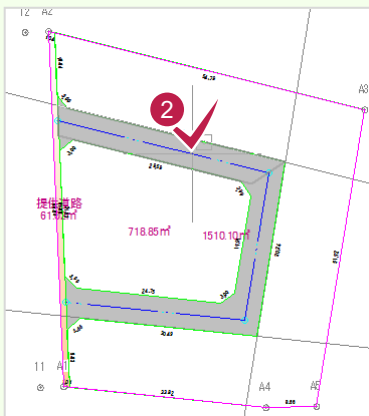


2 削除する道路をクリックします。

道路を伸縮する

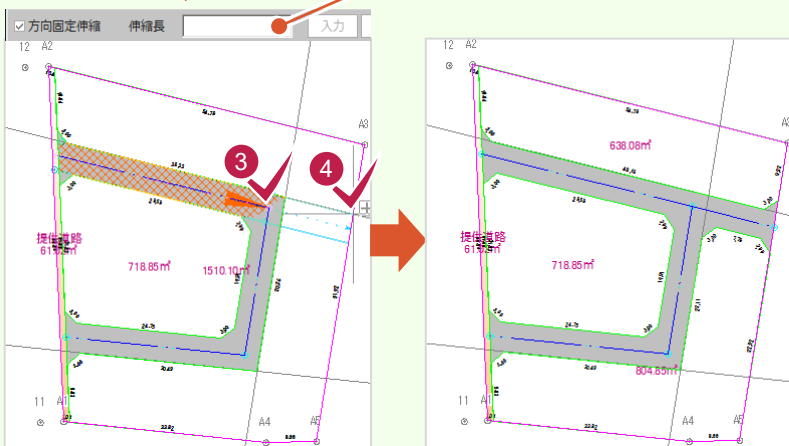


1 [ホーム] タブー [道路] グループー [伸縮] をクリックします。



2 伸縮する道路をクリックします。

[伸縮長] に距離を入力して伸縮することもできます。



3 4 伸縮する方向と伸縮先をクリックします。



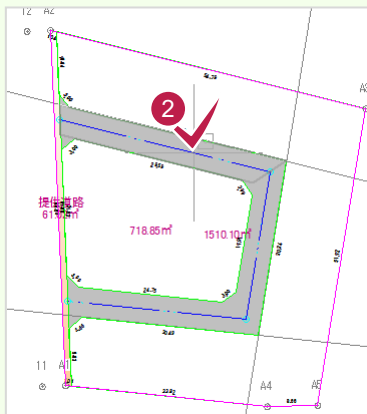
道路を平行移動する



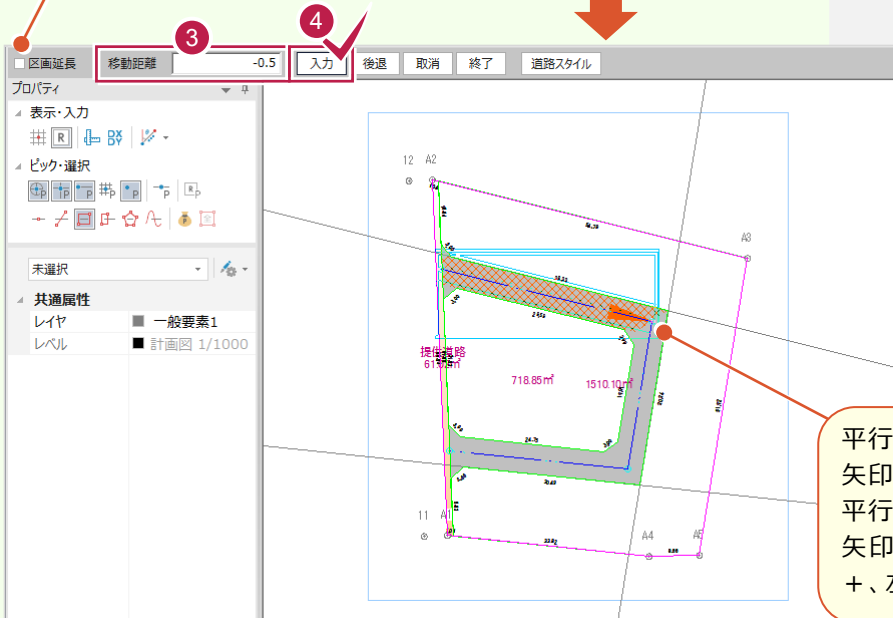
1 [ホーム] タブー [道路] グループー [平行移動] をクリックします。

道路を平行移動した際に、隣接する区画も延長する場合は、チェックをオンにします。
オフの場合、平行移動して、形状が変わる場合は区画を変形、区画が分断される場合は区画属性を継承して分割、新たな領域ができた場合は無属性の新しい区画となります。

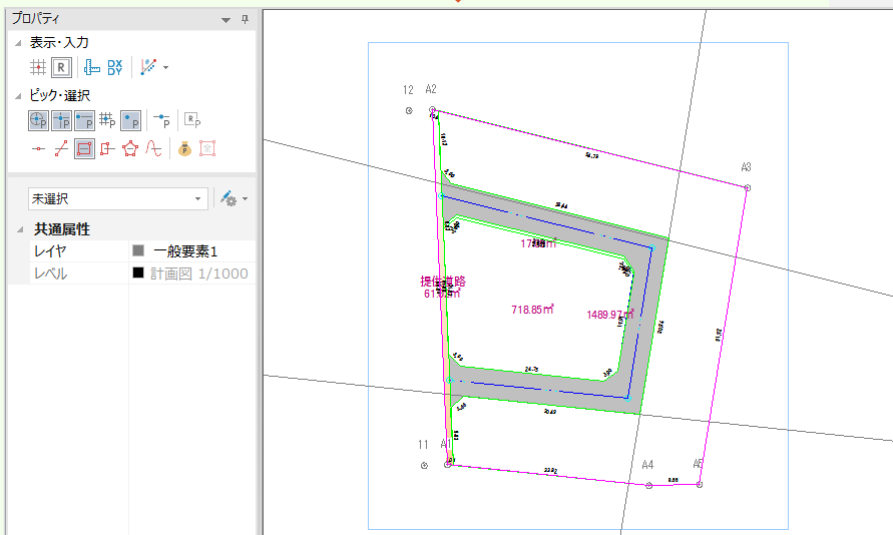
2 平行移動する道路をクリックします。



3 4 [移動距離] に平行移動する距離を入力して、[入力] をクリックします。



平行移動する道路をクリックすると矢印が表示されます。
平行移動距離を入力する場合、矢印の進行方向に向かって右が+、左が-の入力となります。



転回広場を入力する

操作例では多角型の転回広場を入力します。

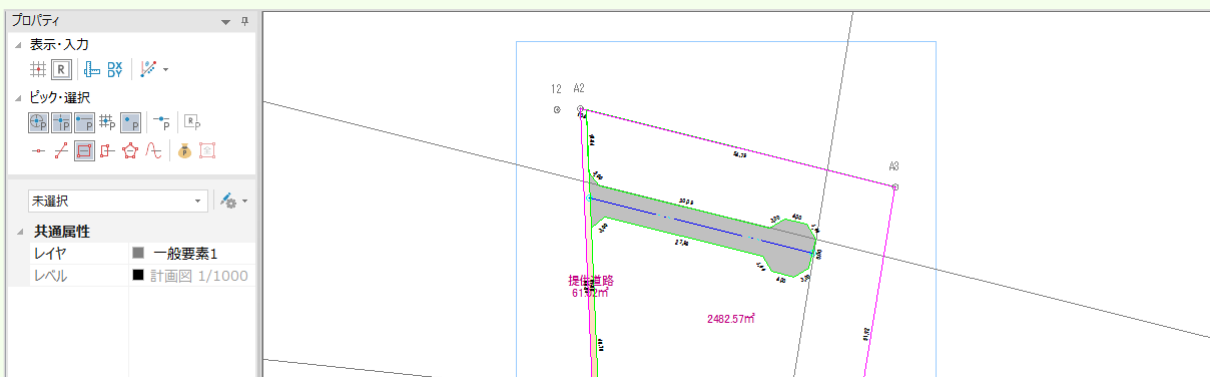
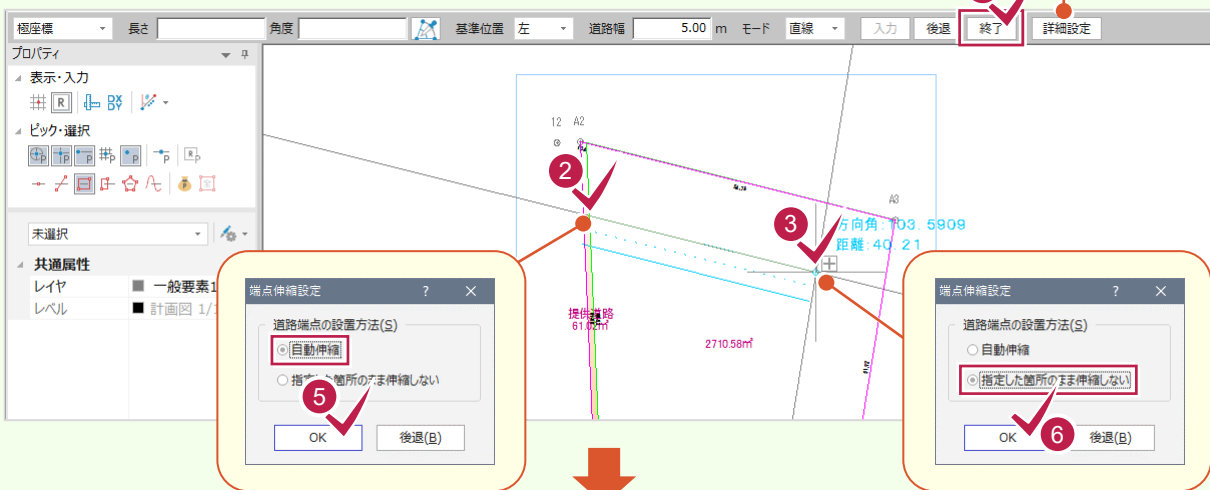
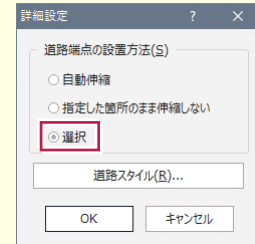
[ホーム] タブ - [道路] グループ - [スタイル] で、転回広場の設定を確認・変更します。



[ホーム] タブ - [道路] グループ - [入力] で、道路を入力します。



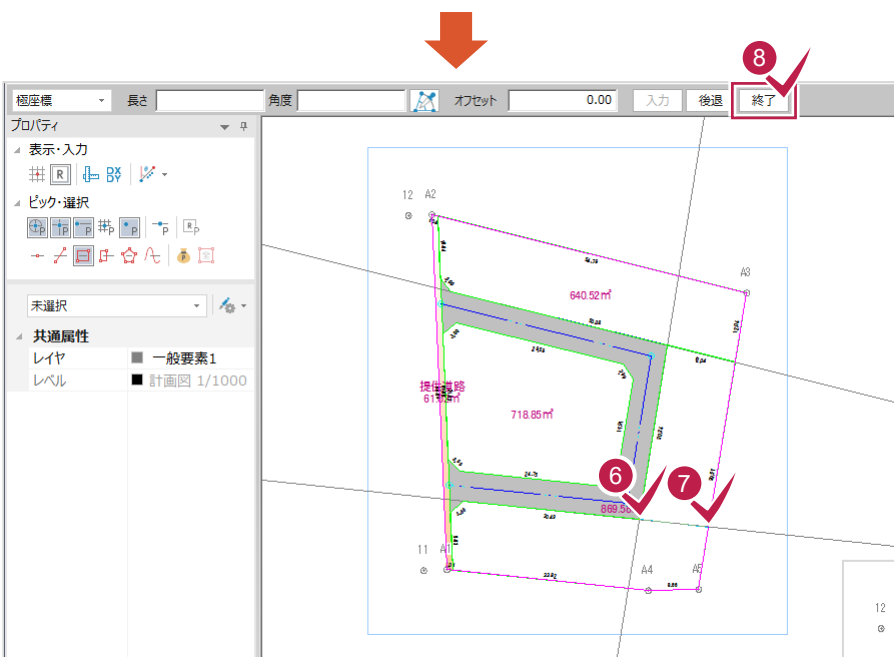
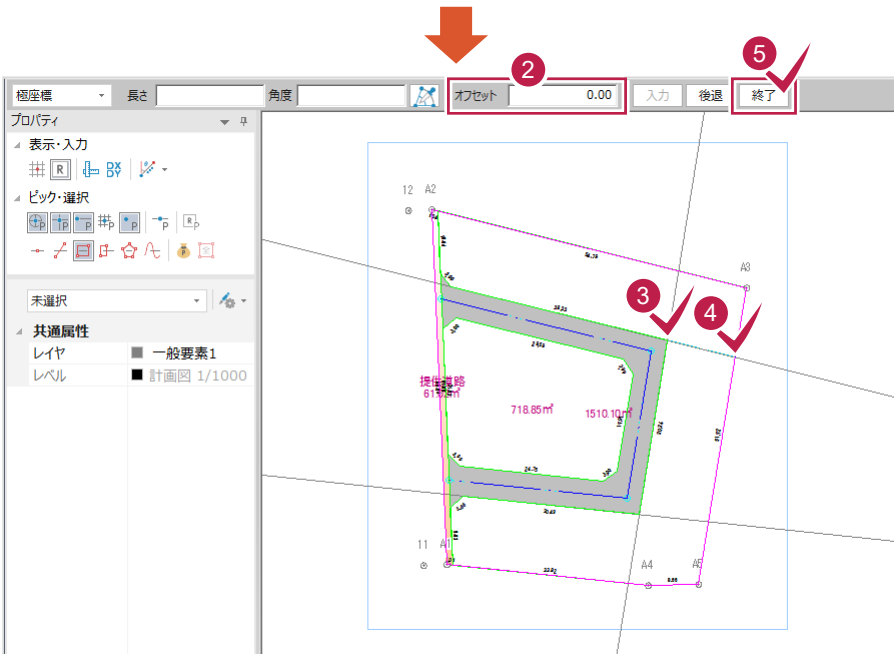
[詳細設定] で [選択] のチェックをオンにしておきます。



6-3

分割線入力で区画を分割する

パターン1では、分割線を2本入力して、道路の周りの区画を3つに分割します。



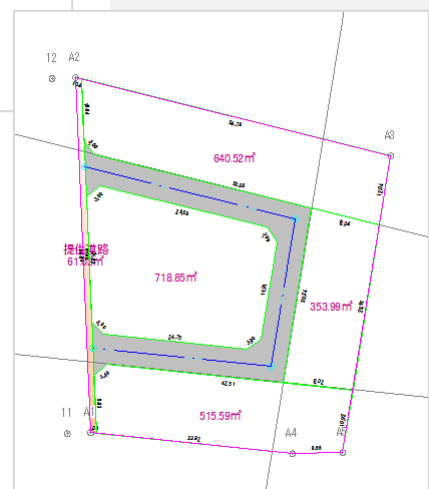
1 [区画] グループ
[分割線入力] をクリック
します。

2 インputバーの [オフセット]
に「0」と入力します。

3 4
1 本目の分割線の始点、
終点をクリックします。

5 [終了] をクリックします。
区画が分割され、分割
された面積が表示されます。

6 7 8
2 本目の分割線の始点、
終点をクリックして [終了]
をクリックします。
区画が分割され、分割
された面積が表示されます。



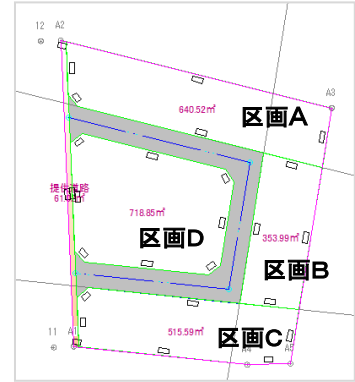
6-4

定面積分割で区画を分割する

道路、分割線を入力して4つに分割された区画（区画A、区画B、区画C、区画D：右図参照）を定面積分割で分割します。

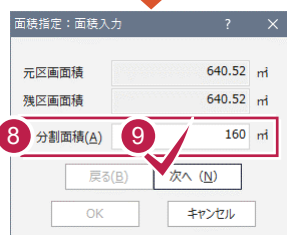
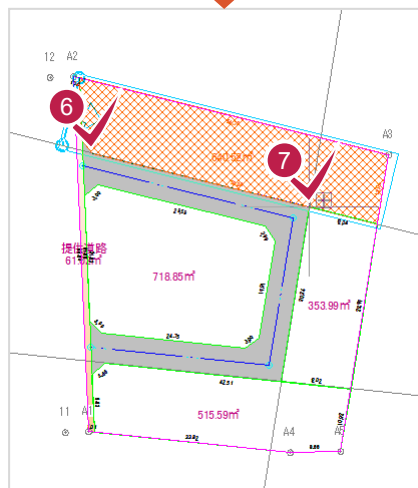
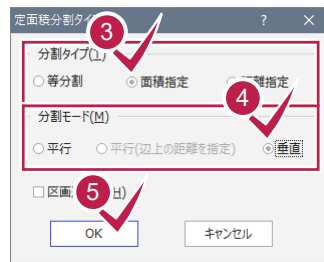
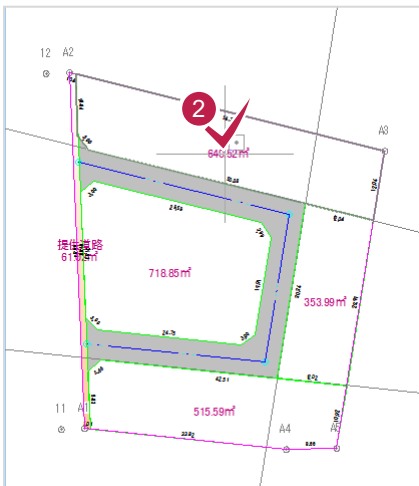
入力例では次のように定面積分割する操作を解説します。

- ・区画A：面積を指定して、道路に垂直に分割します。
- ・区画B：等分割で、道路に垂直に分割します。
- ・区画C：面積を指定して、道路に垂直に分割します。
- ・区画D：面積を指定して道路に平行に2分割してから、上側の区画を道路に垂直に等分割します。

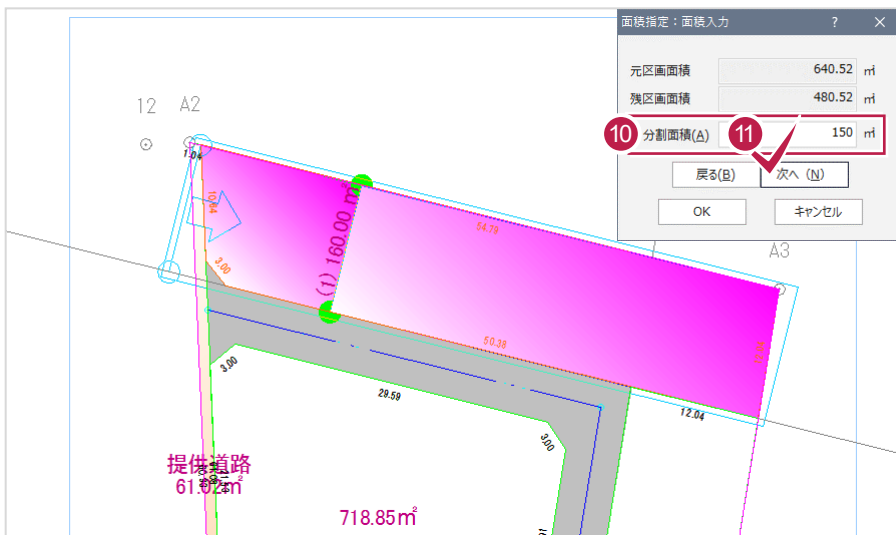


区画Aを定面積分割で分割する

区画Aを〔区画〕グループ―〔定面積分割〕の〔面積指定〕を使用して分割します。

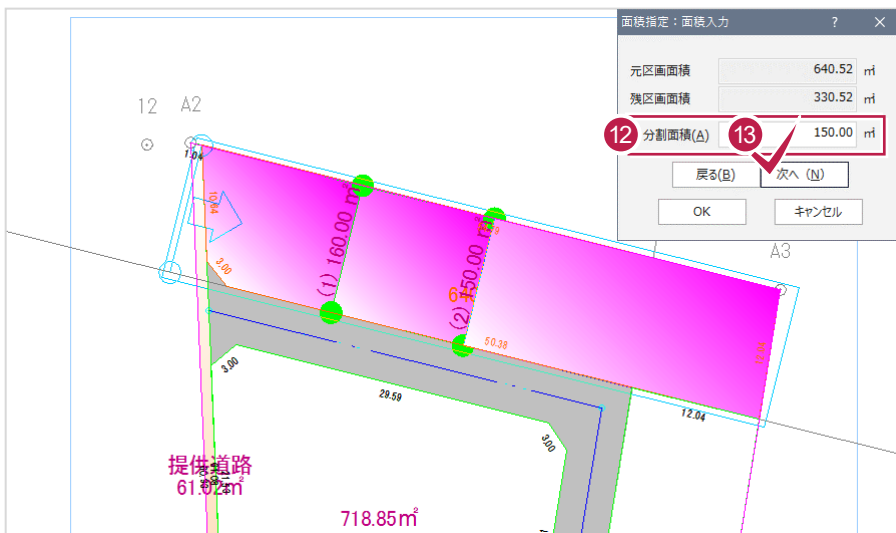


- 1 [区画] グループ― [定面積分割] をクリックします。
- 2 分割する区画Aをクリックします。
- 3 [分割タイプ] の [面積指定] と、[分割モード] の [垂直] をクリックします。
- 4
- 5 [OK] をクリックします。
- 6
- 7 基準となる線（道路）の2点をクリックします。
[面積指定：面積入力] ダイアログが表示されます。また、CAD画面には分割する方向が矢印で表示されます。
- 8 [分割面積] に分割する区画の面積を入力します。ここでは「160」と入力します。
- 9 [次へ] をクリックします。



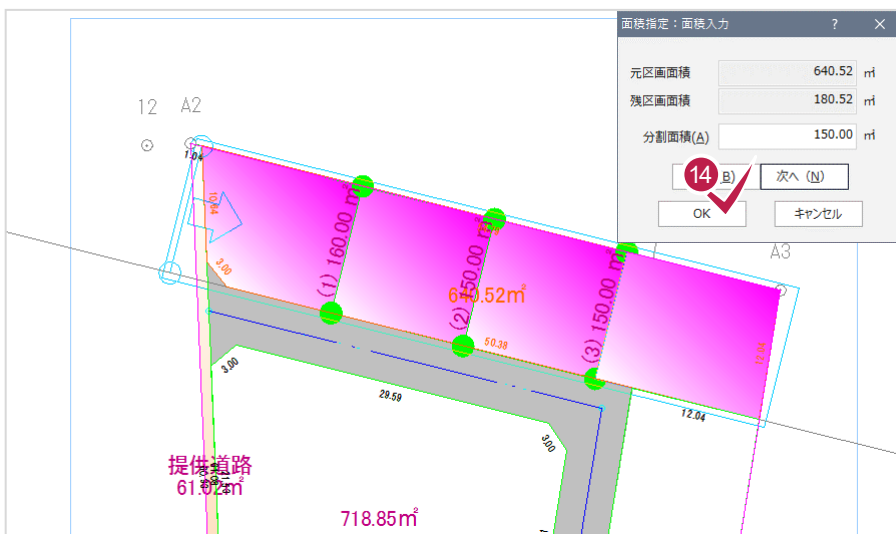
10 続けて、[残区画面積]を確認して、[分割面積]に分割する区画の面積を入力します。
ここでは「150」と入力します。

11 [次へ] をクリックします。



12 続けて、[残区画面積]を確認して、[分割面積]に分割する区画の面積を入力します。
ここでは「150」と入力します。

13 [次へ] をクリックします。
指定した面積で区画が仮分割され、表示されます。



14 [残区画面積]を確認します。
ここでは、[残区画面積]を最後の区画の面積にするので、そのまま [OK] をクリックします。

定面積分割：区画調整

15 元区画面積 640.52 m²

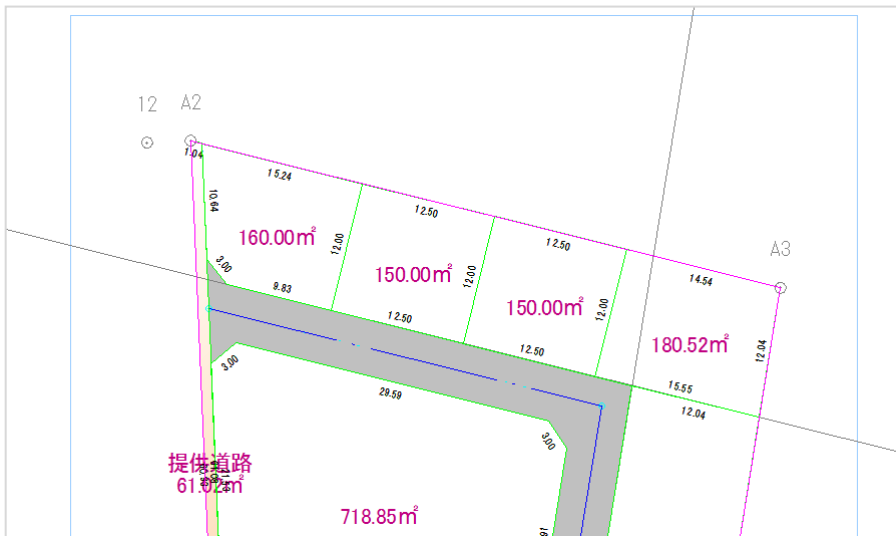
No.	区画名	面積(m ²)	属性
1		160.00	
2		150.00	
3		150.00	
4		180.52	

残面積 0.00 m² 残調整(Δ)

※面積が0m²の区画は無効となり作成されません。
 ※面積の丸めなどにより、誤差が出る可能性があります。
 この誤差分の面積は、最後の区画で調整されます。

16 表を更新(B)

OK キャンセル



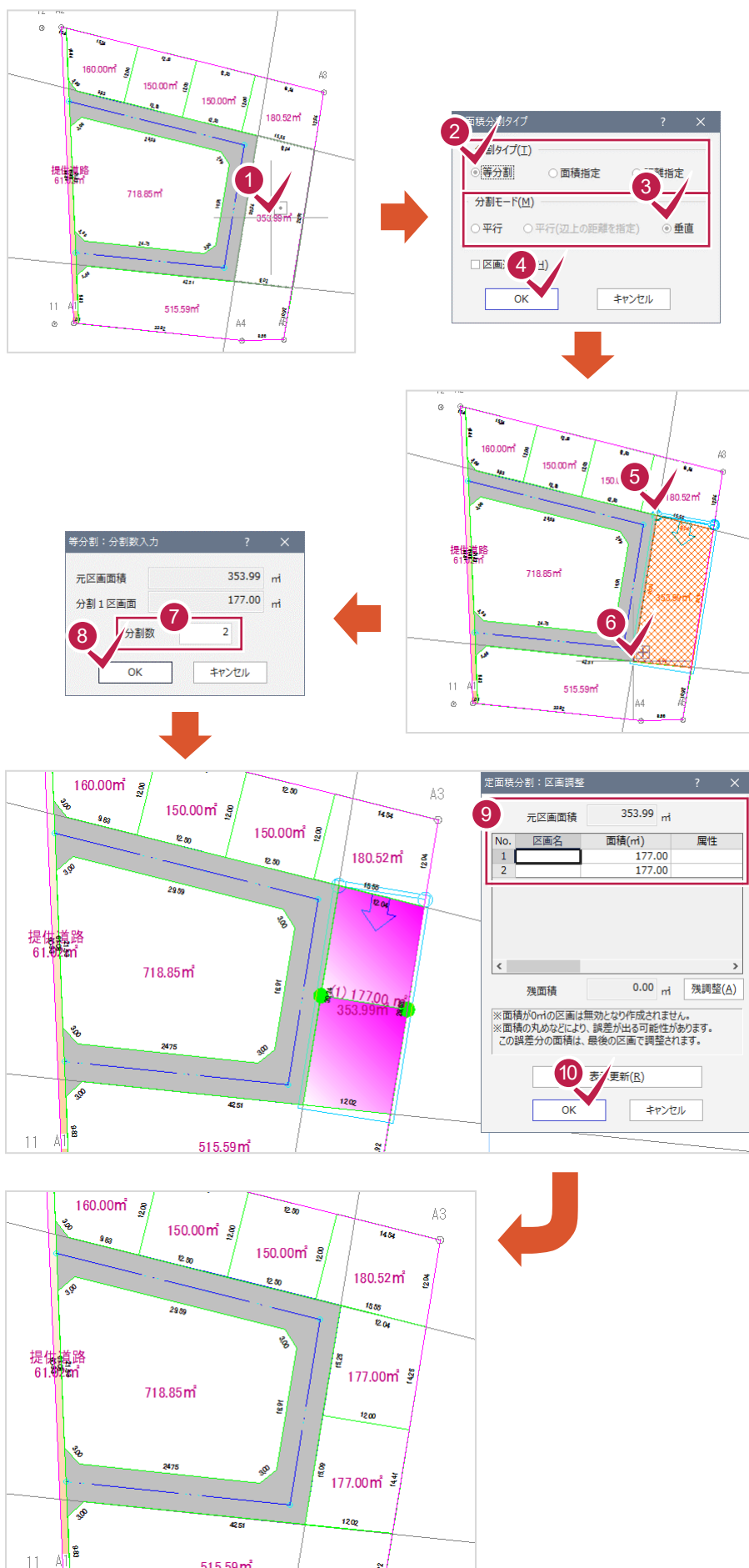
15 [面積]セルで定面積分割した面積を確認します。

ここで区画名、属性を入力することもできますが、本書では後で一括して入力するので、空白のままにしておきます。

16 [OK] をクリックします。

区画Bを定面積分割で分割する

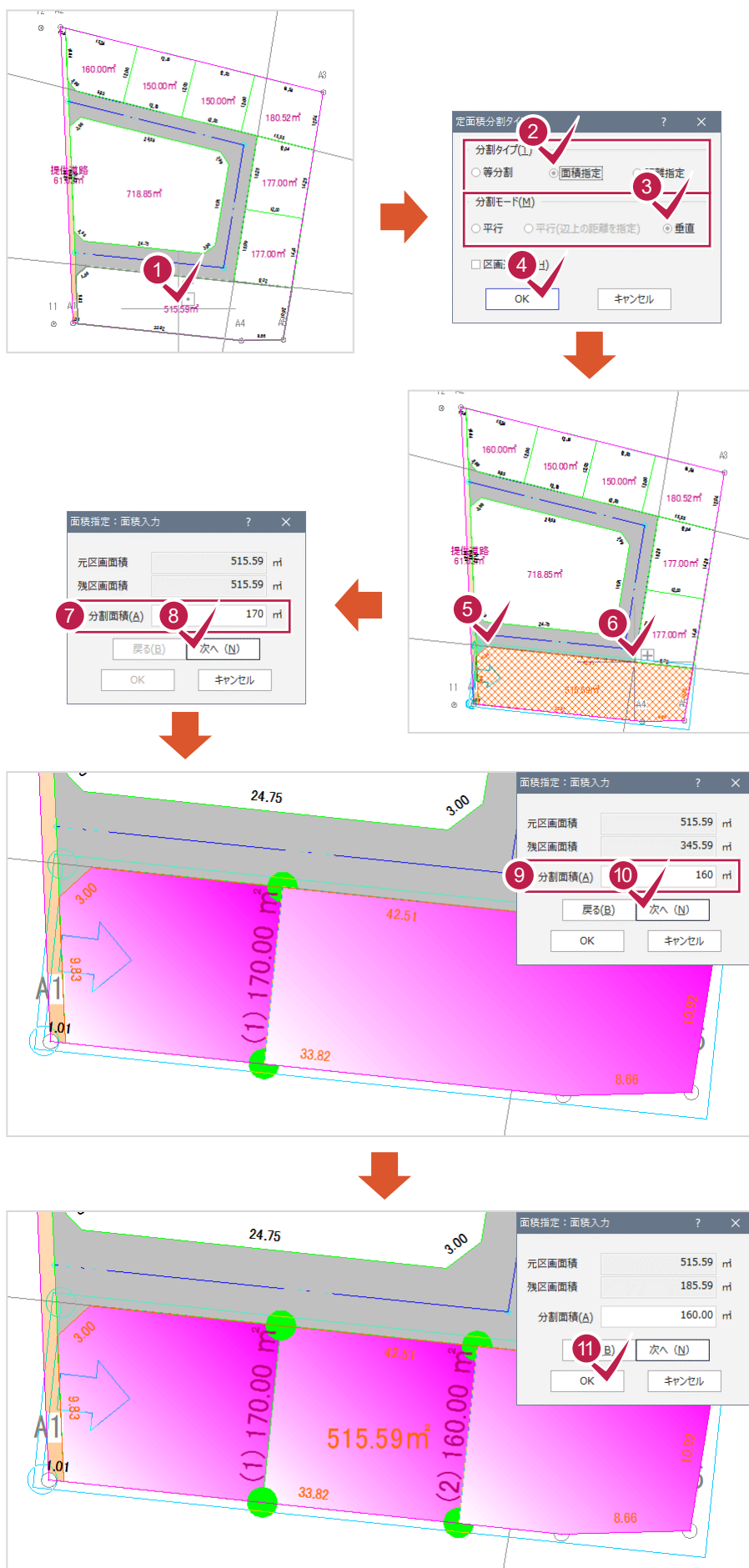
区画Bを [区画] グループ - [定面積分割] の [等分割] を使用して分割します。



- 1 分割する区画Bをクリックします。
- 2 3 [分割タイプ] の [等分割] と、[分割モード] の [垂直] をクリックします。
- 4 [OK] をクリックします。
- 5 6 基準となる線（道路）の2点をクリックします。
[等分割：分割数入力] ダイアログが表示されます。また、CAD画面には分割する方向が矢印で表示されます。
- 7 [分割数] に分割数を入力します。
ここでは「2」と入力します。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [面積] セルで定面積分割した面積を確認します。
本書では、区画名、属性は後で一括入力するので、空白のままにしておきます。
- 10 [OK] をクリックします。
区画が分割され、面積が表示されます。

区画Cを定面積分割で分割する

区画Cを [区画] グループ - [定面積分割] の [面積指定] を使用して分割します。



- 1 分割する区画Cをクリックします。
- 2 [分割タイプ] の [面積指定]、[分割モード] の [垂直] のチェックをオンにします。
- 3 [OK] をクリックします。
- 4 基準となる線 (道路) の 2点をクリックします。
[面積指定: 面積入力] ダイアログが表示されます。また、CAD画面には分割する方向が矢印で表示されます。
- 5 [分割面積] に分割する区画の面積を入力します。ここでは「170」と入力します。
- 6 [次へ] をクリックします。指定した面積で区画が仮分割され、表示されます。
- 7 続けて、[残区画面積]を確認して、[分割面積]に分割する区画の面積を入力します。ここでは「160」と入力します。
- 8 [次へ] をクリックします。指定した面積で区画が仮分割され、表示されます。
- 9 [次へ] をクリックします。指定した面積で区画が仮分割され、表示されます。
- 10 [残区画面積]を確認します。ここでは、[残区画面積]を最後の区画の面積にするので、そのまま [OK] をクリックします。

定面積分割：区画調整

12 元区画面積 515.59 m²

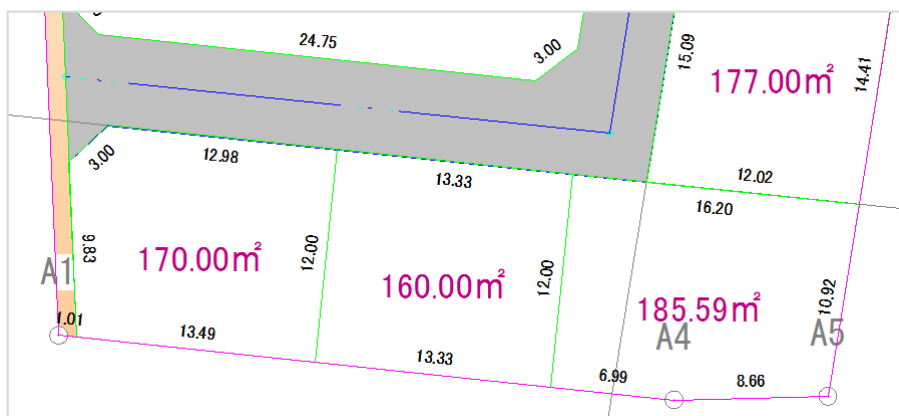
No.	区画名	面積(m ²)	属性
1		170.00	
2		160.00	
3		185.59	

残面積 0.00 m² 残調整(A)

※面積が0m²の区画は無効となり作成されません。
 ※面積の丸めなどにより、誤差が出る可能性があります。
 この誤差分の面積は、最後の区画で調整されます。

13 表示更新(B)

OK キャンセル



- 12 [面積]セルで定面積分割した面積を確認します。本書では、区画名、属性は後で一括入力するので、空白のままにしておきます。
- 13 [OK]をクリックします。仮分割した区画が確定入力され、操作が終了します。

区画Dを定面積分割で分割する

区画Dを【区画】グループ【定面積分割】の【面積指定】を使用して分割します。



定面積分割タイプ

1 2 3

分割タイプ(L)

等分割 面積指定 距離指定

分割モード(M)

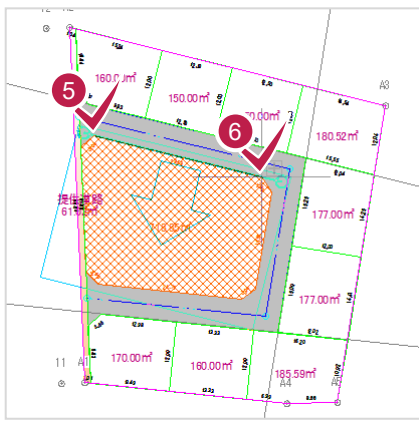
平行 平行(辺上の距離を指定) 垂直

区画(H)

4

OK キャンセル

- 1 分割する区画Dをクリックします。
- 2 3 [分割タイプ]の【面積指定】、【分割モード】の【平行】のチェックをオンにします。
- 4 [OK]をクリックします。



面積指定：面積入力

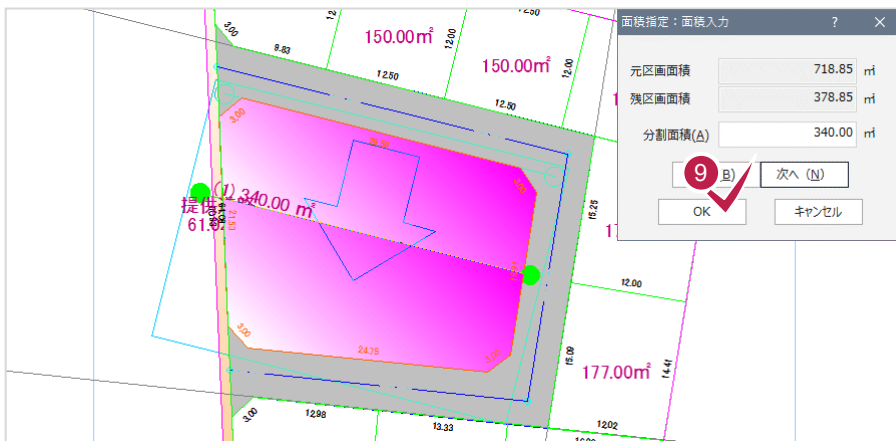
元区画面積 718.85 m²

残区画面積 718.85 m²

7 分割面積(Δ) 8 340 m²

戻る(B) 次へ(N)

OK キャンセル



面積指定：面積入力

元区画面積 718.85 m²

残区画面積 378.85 m²

分割面積(Δ) 340.00 m²

9 次へ(N)

OK キャンセル

定面積分割：区画調整

10 元区画面積 718.85 m²

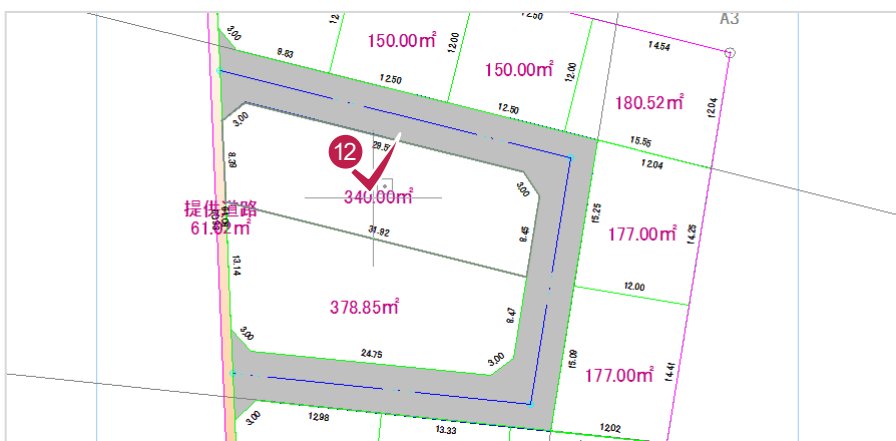
No.	区画名	面積(m ²)	属性
1		340.00	
2		378.85	

残面積 0.00 m² 残調整(Δ)

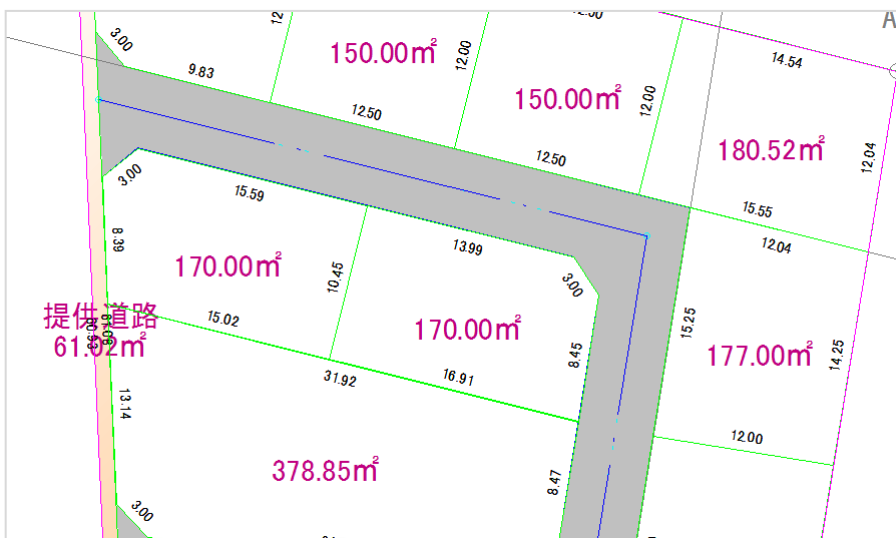
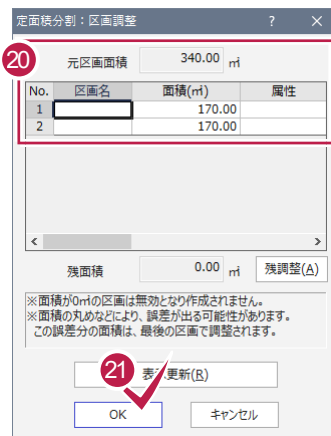
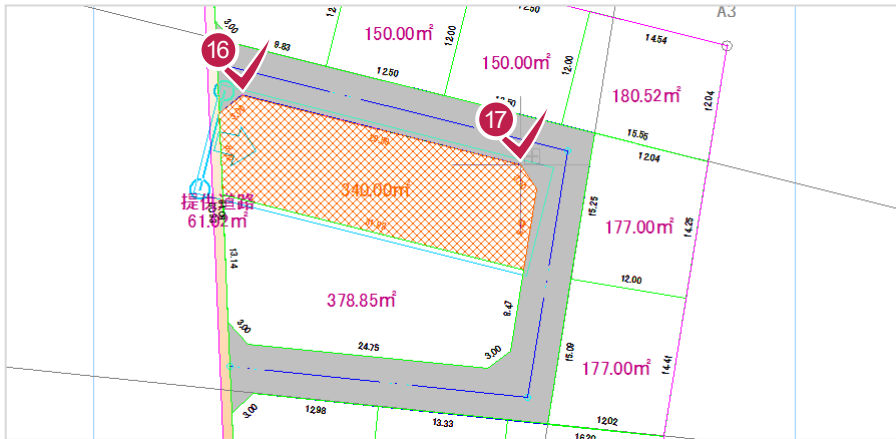
※面積が0m²の区画は無効となり作成されません。
 ※面積の丸めなどにより、誤差が出る可能性があります。
 この誤差分の面積は、最後の区画で調整されます。

11 表更新(B)

OK キャンセル



- 5 6 基準となる線（道路）の2点をクリックします。
 [面積指定：面積入力]ダイアログが表示されます。また、CAD画面には分割する方向が矢印で表示されます。
- 7 [分割面積]に分割する区画の面積を入力します。ここでは「340」と入力します。
- 8 [次へ]をクリックします。
- 9 [残区画面積]を確認します。ここでは、[残区画面積]を最後の区画の面積にするので、そのまま[OK]をクリックします。
- 10 [面積]セルで定面積分割した面積を確認します。本書では、区画名、属性は後で一括入力するので、空白のままにしておきます。
- 11 [OK]をクリックします。仮分割した区画が確定入力され、操作が終了します。
- 12 続けて上側の区画を分割するので、上側の区画をクリックします。



13 14

[分割タイプ] の [等分割]、[分割モード] の [垂直] のチェックをオンにします。

15

[OK] をクリックします。

16 17

基準となる線（道路）の2点をクリックします。
[等分割：分割数入力] ダイアログが表示されます。また、CAD画面には分割する方向が矢印で表示されます。

18

[分割数] に「2」と入力します。

19

[OK] をクリックします。

20

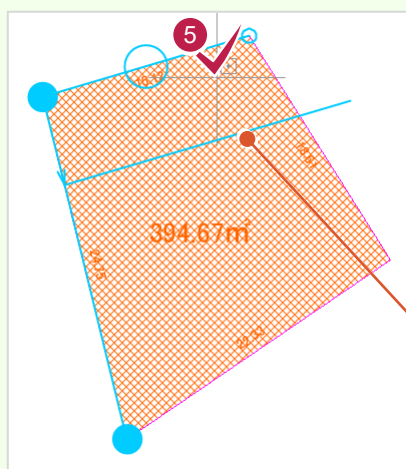
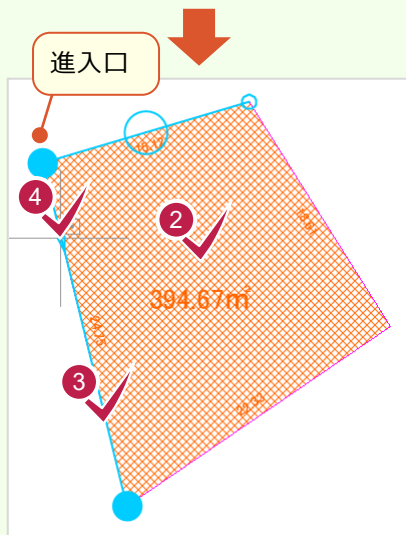
[面積] セルで分割した面積を確認します。

21

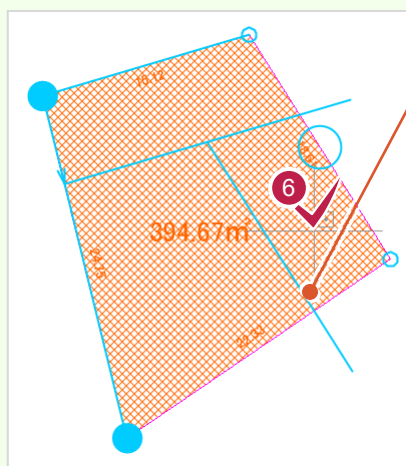
[OK] をクリックします。区画が分割され、面積が表示されます。

旗竿地入力で区画を分割する

旗竿地（旗形地・敷地延長・旗竿敷地）を作成し、区画を分割することもできます。
ただし、L字型の旗竿地のみ作成可能で、T字型などの旗竿地は作成できません。



○印が表示されている区画辺に平行な線が表示されます。



1 [ホーム] タブー [区画] グループー [旗竿地作成] をクリックします。

2 旗竿地を作成する区画をクリックします。

3 **4** 進入口の区画辺、進入口の位置をクリックします。

5 マウスポインタを移動すると、進入路を決めるための基準となる区画辺が表示されますので、指定する区画辺が表示された状態でクリックします。

6 マウスポインタを移動すると、敷地を決めるための基準となる区画辺が表示されますので、指定する区画辺が表示された状態でクリックします。

旗竿地作成：面積・距離入力

元区画面積 394.67 m²

7 面積計算時の面積指定対象(M)
 旗竿地敷地部 残区画

8 旗竿地設定
 区画名(N) A 区画属性(I) 2 宅地

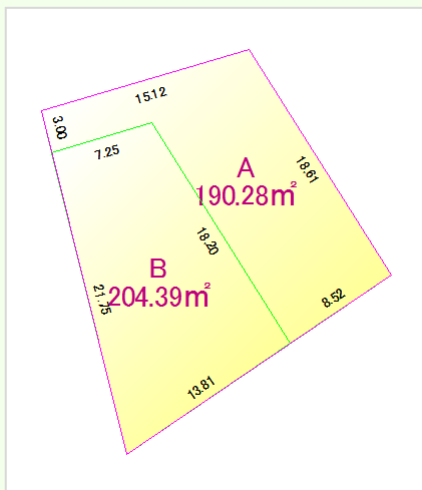
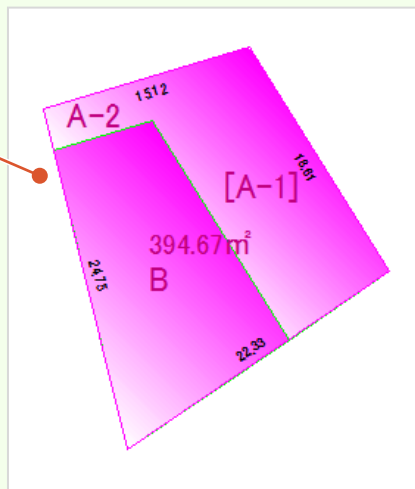
10 敷地部面積 A-1(1) 170.00 m²
 進入部面積 A-2(2) 20.28 m²
 合計面積 A(Δ) 190.28 m²

11 進入口幅(W) 3.00 m
 隅切の辺長(S) 3.00 m

9 残区画設定
 区画名(P) B 区画属性(Q) 2 宅地
 面積 B(B) 204.39

12 再計算(B) 13 OK キャンセル

[再計算] をクリックすると、A-1（旗竿地敷地部面積）、A-2（旗竿地進入部面積）、B（残区画面積）が再計算されて表示されますので確認してください。



7 [面積計算時の面積指定対象] で [旗竿地敷地部] を指定するか、[残区画] を指定するかを選択します。入力例では、[旗竿地敷地部] を選択します。

8 [旗竿地設定] の [区画名] に旗竿地の区画名を入力して [区画属性] で区画の属性を設定します。

9 [残区画設定] の [区画名] に残区の区画名を入力して [区画属性] で区画の属性を設定します。

10 [敷地部面積 A-1] に旗竿地の敷地部面積を入力します。

11 [進入口幅] に進入口幅を入力します。

12 [再計算] をクリックします。
 A-1（旗竿地敷地部面積）、A-2（旗竿地進入部面積）、B（残区画面積）が再計算されてCAD上に表示されます。

⑦、⑩～⑫の操作を繰り返して、旗竿地を決めます。

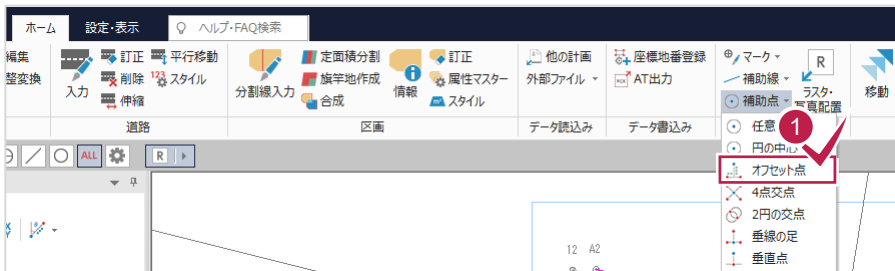
13 旗竿地が確定したら、[OK] をクリックします。区画が分割されます。

ゴミ置場の区画を分割します。

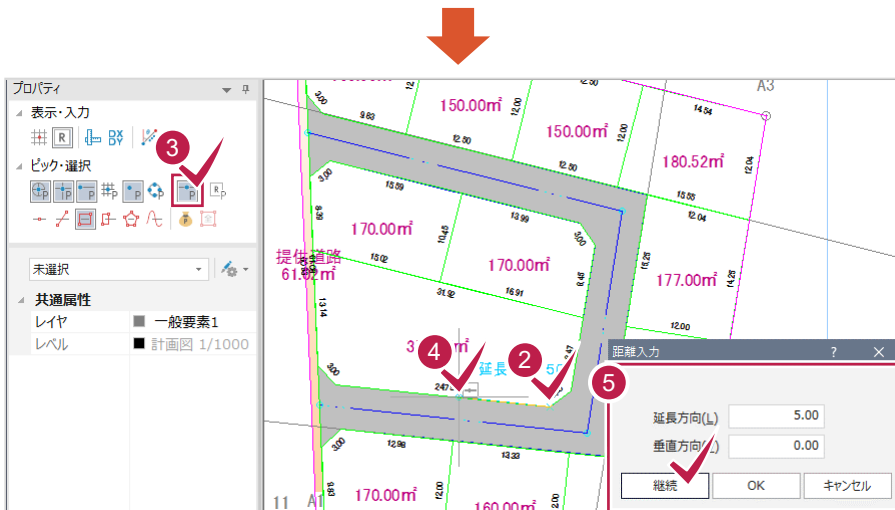
入力例では、補助点でゴミ置場の4点を入力してから、[区画] グループ - [分割線入力] で分割線を入力して区画を分割します。

区画Dを任意点で分割する

[汎用作図] グループ - [補助点] - [オフセット点] で補助点を入力します。



- 1** [汎用作図] グループ - [補助点] - [オフセット点] をクリックします。



- 2 3 4** オフセットの基準となる道路の1点目をクリックし、[ピックモード：線上] をオンにして、基準となる道路の2点目をクリックします。

- 5** [延長方向] に「5」、[垂直方向] に「0」を入力し [継続] をクリックして補助点を入力します。



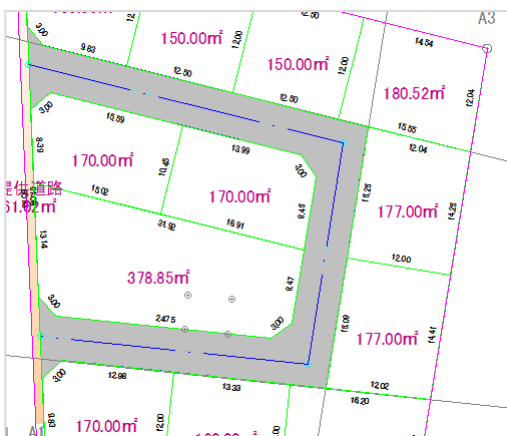
- 6** 同様に [延長方向] に「10」、[垂直方向] に「0」を入力し [継続] をクリックして、補助点を入力します。



- 7** 同様に [延長方向] に「10」、[垂直方向] に「4」を入力し [継続] をクリックして、補助点を入力します。



- 8** 同様に [延長方向] に「5」、[垂直方向] に「4」を入力し [OK] をクリックします。

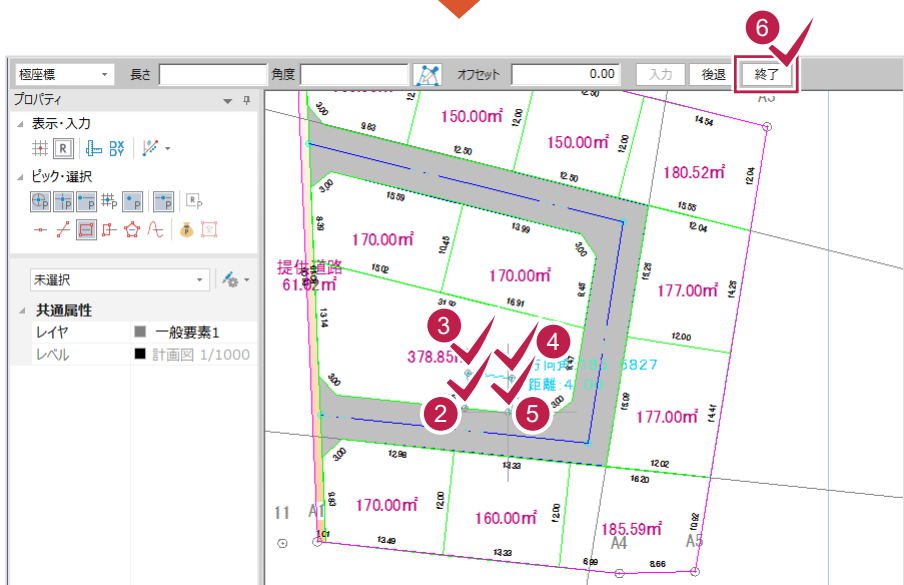


分割線を入力して区画を分割する

補助点を指定して分割線を入力して、ゴミ置場の区画を分割します。



1 [区画] グループ
[分割線入力] をクリック
します。



2 **3** **4** **5**
補助点を順にクリック
します。

6 入力を終了したら、
インプットバーの [終了]
をクリックします。
入力した分割線で区画
が分割され、面積が表示
されます。



分割線で囲まれた領域が区画になり、
分割された面積が表示されます。

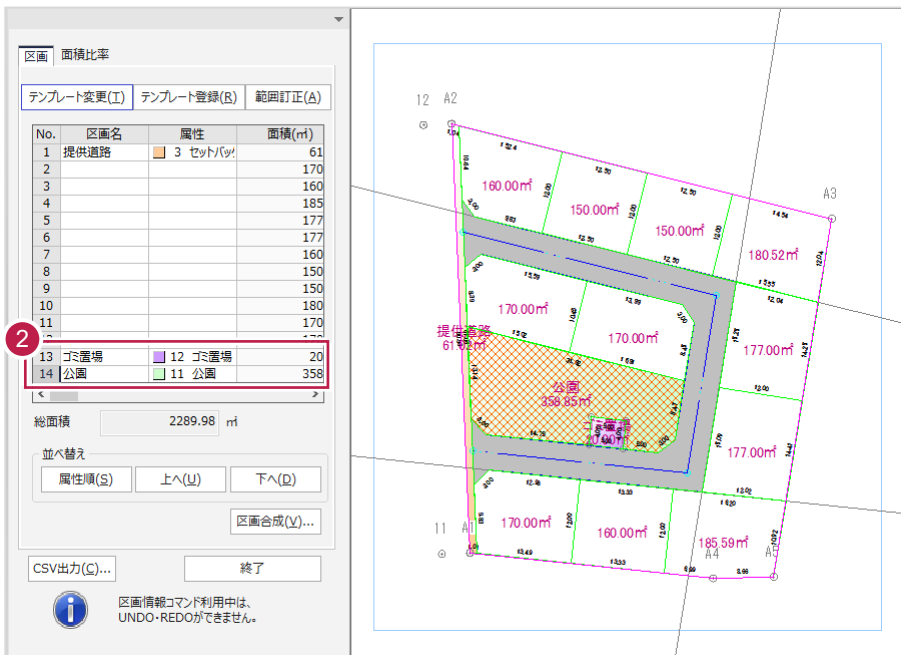
入力した区画の情報（名称、属性など）を設定します。

公園、ゴミ置場の情報を設定する

公園、ゴミ置場の情報（名称、属性など）を設定します。



1 「区画」グループ
「情報」をクリックします。



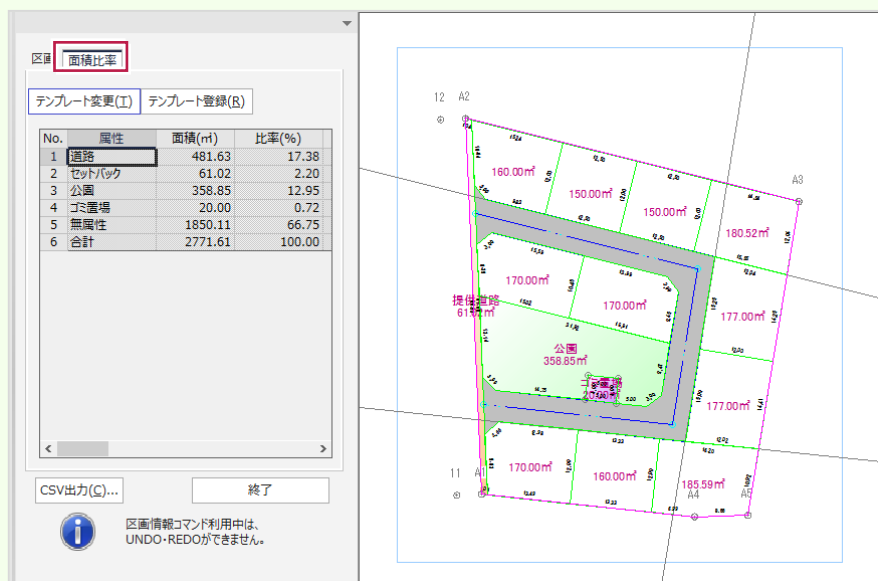
2 No.13の区画をゴミ置場、
No.14の区画を公園に
設定します。

No.13
[区画名] : 「ゴミ置場」
[属性] : 「12 ゴミ置場」

No.14
[区画名] : 「公園」
[属性] : 「11 公園」

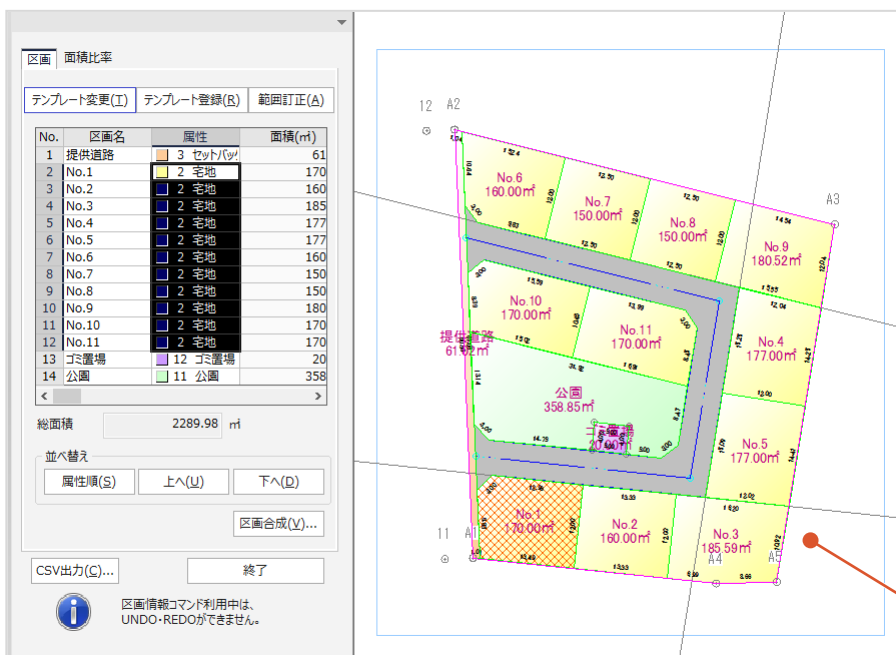
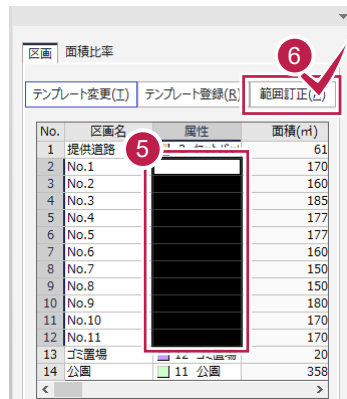
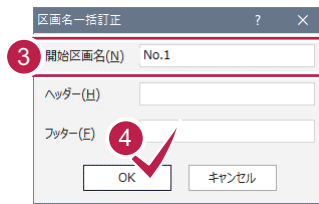
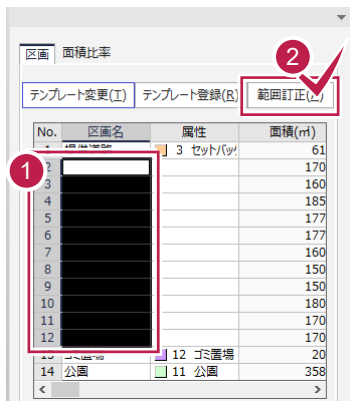
メモ 区画属性ごとの面積比率を確認する

区画情報の「面積比率」タブをクリックすると、区画属性ごとの面積比率を確認することができます。



宅地の情報を一括設定する

宅地の情報（名称、属性など）を一括設定します。



1 2

No.2～No.12の
[区画名] セルを選択
して [範囲訂正] を
クリックします。
[区画名一括訂正]
ダイアログが表示されます。

3 4

[開始区画名] を入力
して [OK] をクリック
します。
ここでは、No.1から連番
で設定するので、「No.1」
と入力します。

5 6

No.2～No.12の
[属性] セルを選択して
[範囲訂正] をクリック
します。
[属性一括訂正]
ダイアログが表示されます。

7 8

[値] の [▼] をクリック
して「2 宅地」を選択し、
[OK] をクリックします。
No.2～No.12の [属性]
セルに「2 宅地」が一括
入力されます。

区分属性マスタの設定で
表示されます。

区画を属性順に並べ替える

No.	区画名	属性	面積(m ²)
1	提供道路	3 セットバック	61
2	No.1	2 宅地	170
3	No.2	2 宅地	160
4	No.3	2 宅地	185
5	No.4	2 宅地	177
6	No.5	2 宅地	177
7	No.6	2 宅地	160
8	No.7	2 宅地	150
9	No.8	2 宅地	150
10	No.9	2 宅地	180
11	No.10	2 宅地	170
12	No.11	2 宅地	170
13	ゴミ置場	12 ゴミ置場	20
14	公園	11 公園	358

総面積 2289.98 m²

属性順(S) 上へ(U) 下へ(D)

区画合成(V)...

CSV出力(C)... 終了

区画情報コマンド利用中は、UNDO・REDOができません。

- 1 [属性順] をクリックします。
区画が属性順に並びます。



No.	区画名	属性	面積(m ²)
1	No.1	2 宅地	170
2	No.2	2 宅地	160
3	No.3	2 宅地	185
4	No.4	2 宅地	177
5	No.5	2 宅地	177
6	No.6	2 宅地	160
7	No.7	2 宅地	150
8	No.8	2 宅地	150
9	No.9	2 宅地	180
10	No.10	2 宅地	170
11	No.11	2 宅地	170
12	提供道路	3 セットバック	61
13	公園	11 公園	358
14	ゴミ置場	12 ゴミ置場	20

総面積 2289.98 m²

並べ替え 属性順(S) 上へ(U) 下へ(D)

完了

区画情報コマンド利用中は、UNDO・REDOができません。

- 2 並べ替えが終了したら、[完了] をクリックします。

区分が属性順に並べ替わります。



【上へ】 【下へ】 ボタンで並べ替える

【上へ】 【下へ】 ボタンで並べ替えることもできます。
区画情報一覧で移動する行を選択してから、【上へ】 または 【下へ】 ボタンをクリックすると、選択されている行が 1 つ上または 1 つ下へ移動します。

区画により作成された座標、地番を【座標管理】 【地番管理】に登録する

【ホーム】タブー【データ書込み】グループー【座標地番登録】で、確定したパターンの宅地割り計画データの区画より、座標地番を登録することができます。



1 【ホーム】タブー
【データ書込み】グループー
【座標地番登録】を
クリックします。

2 3
【座標】、【地番】の
各設定を入力して、
【OK】をクリックします。

No.	登録	点番	点名	登録X座標	登録Y座標	マーク
1	<input checked="" type="checkbox"/>	21	K-1	53.529	47.641	⊙1.0-1-1
2	<input type="checkbox"/>	22	K-2	54.880	34.735	⊙1.0-1-1
3	<input type="checkbox"/>	23	K-3	52.824	32.549	⊙1.0-1-1
4	<input type="checkbox"/>	24	K-4	42.999	32.971	⊙1.0-1-1
5	<input type="checkbox"/>	25	K-5	41.594	46.392	⊙1.0-1-1
6	<input type="checkbox"/>	26	K-6	52.141	60.902	⊙1.0-1-1
7	<input type="checkbox"/>	27	K-7	40.206	59.653	⊙1.0-1-1
8	<input type="checkbox"/>	28	K-8	39.479	66.604	⊙1.0-1-1
9	<input type="checkbox"/>	29	K-9	39.681	75.264	⊙1.0-1-1
10	<input type="checkbox"/>	30	K-10	50.456	77.010	⊙1.0-1-1
11	<input type="checkbox"/>	31	K-11	81.656	69.910	⊙1.0-1-1

4 登録する座標を確認して、
【次へ】をクリックします。

No.	登録	属性	区画名	地番No	地番名	求積属性	線種	ペンNo
1	<input checked="" type="checkbox"/>	2 宅地	No.1	11	No.1	求積地番1	—	1
2	<input type="checkbox"/>	2 宅地	No.2	12	No.2	求積地番1	—	1
3	<input type="checkbox"/>	2 宅地	No.3	13	No.3	求積地番1	—	1
4	<input type="checkbox"/>	2 宅地	No.4	14	No.4	求積地番1	—	1
5	<input type="checkbox"/>	2 宅地	No.5	15	No.5	求積地番1	—	1
6	<input type="checkbox"/>	2 宅地	No.6	16	No.6	求積地番1	—	1
7	<input type="checkbox"/>	2 宅地	No.7	17	No.7	求積地番1	—	1
8	<input type="checkbox"/>	2 宅地	No.8	18	No.8	求積地番1	—	1
9	<input type="checkbox"/>	2 宅地	No.9	19	No.9	求積地番1	—	1
10	<input type="checkbox"/>	2 宅地	No.10	20	No.10	求積地番1	—	1
11	<input type="checkbox"/>	2 宅地	No.11	21	No.11	求積地番1	—	1

5 登録する地番を確認して、
【終了】をクリックします。

【ツール】ー【条件設定】の
【共通】タブの【登録時の自動
三斜】が【する】または【しない】
のときは、自動三斜確認のメッセ
ージは表示されません。

6 入力例では、自動三斜
するので【はい】をクリック
します。

6-7

[宅地割り計画] を終了する



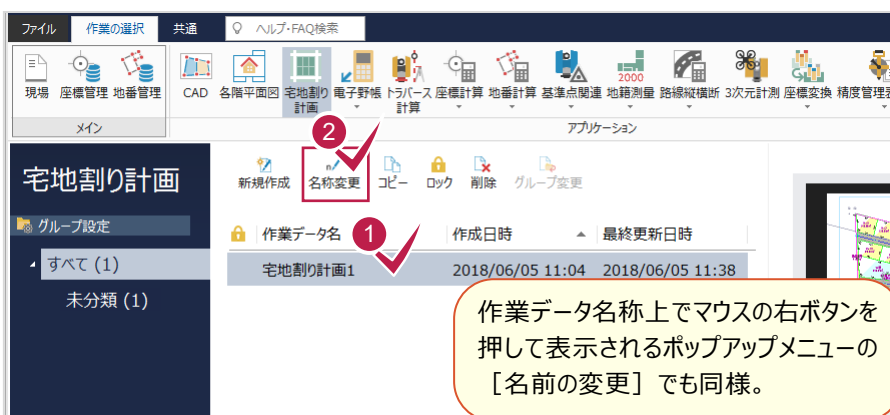
1 [閉じる] をクリックします。

2 [保持] をクリックします。
[宅地割り計画]
ウィンドウが閉じ、メイン
メニューへ戻ります。

6-8

作業データ名を変更する

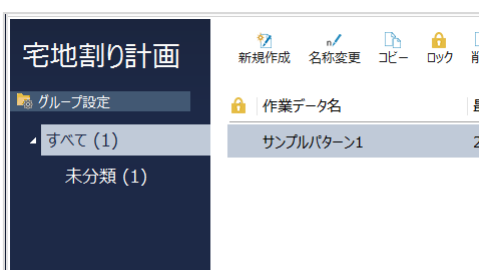
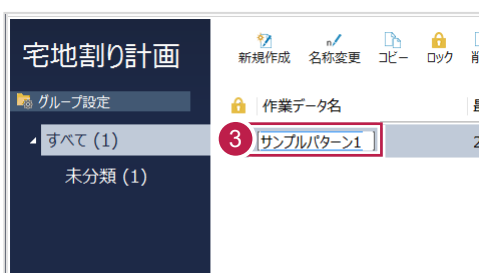
作業データ終了時に自動で名前がつけられますが、管理しやすいように作業データ名を変更しておくことをお勧めします。入力例では、自動でつけられた「宅地割り計画1」を「サンプルパターン1」という名前に変更する例で解説します。



1 名前を変更する作業データを、クリックして選択します。

2 [名称変更] をクリック
します。
選択されている作業データ
名称において、文字列
入力可能状態になります。

3 変更後のデータ名称
(入力例では、「サンプル
パターン1」) を入力して、
Enterキーを押します。



メモ データの保存について

ONEでの作業データはメモリ上に保存されているため、
[ファイル] タブー [名前を付けて保存] もしくは [ファイル] タブー
[上書き保存] を実行するまでハードディスクに保存されていません。
ハードディスクに保存せずに、ONEを終了したり、コンピューターの電源を
切ったりすると、データは消滅します。
ハードディスクなどの記憶装置に保存するためには、[ファイル] タブー
[名前を付けて保存] もしくは [ファイル] - [上書き保存] を実行
してください。
ただし、作業データ単位での保存はできません。
複数の作業データを1つの現場データとして保存します。
現場データの保存については、「現場データの保存」(P.71)を参照
してください。

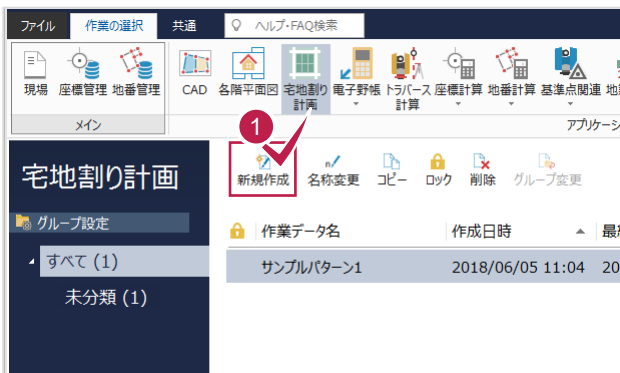
7 宅地割り計画データの入力 (パターン2)

「宅地割り計画」で、パターン1のデータを読み込み、区画を修正してパターン2（右図参照）の宅地割り計画データを入力する操作を解説します。

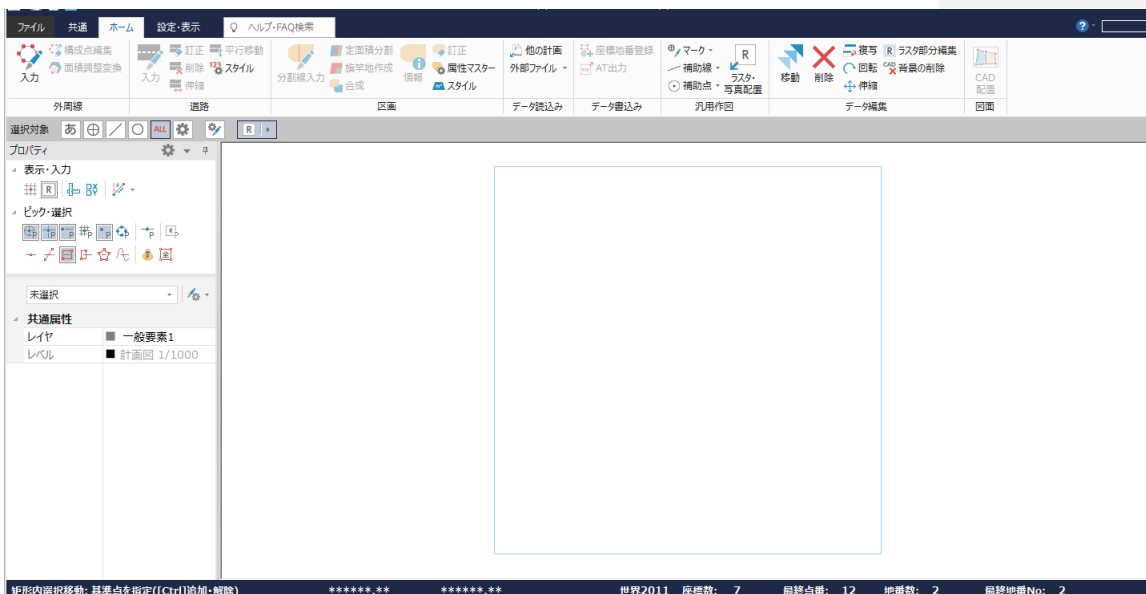


7-1 「宅地割り計画」を起動する

「宅地割り計画」を起動します。



- 1 メインメニューで「作業の選択」タブ→「アプリケーション」グループ→「宅地割り計画」が選択されていることを確認して、「新規作成」をクリックします。「宅地割り計画」ウィンドウが表示されます。

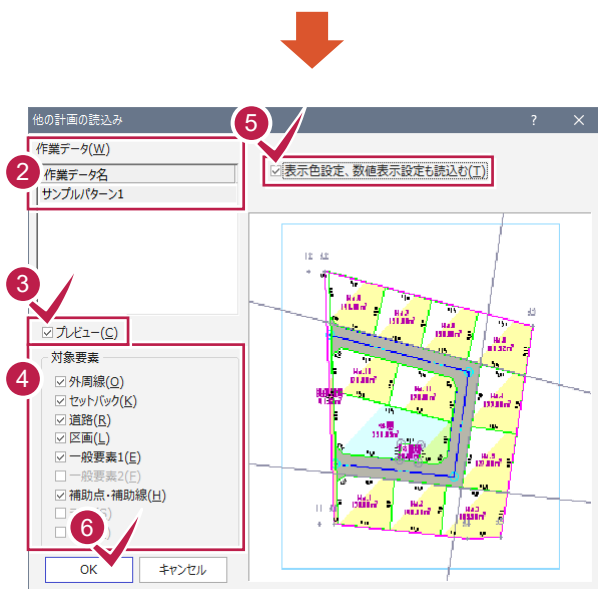


パターン1の計画データを読み込みます。

入力例では、区画を変更するので、外周線、セットバック、道路、区画、一般要素、補助点・補助線のデータを読み込みます。



1 [ホーム] タブー [データ読み込み] グループー [他の計画] をクリックします。



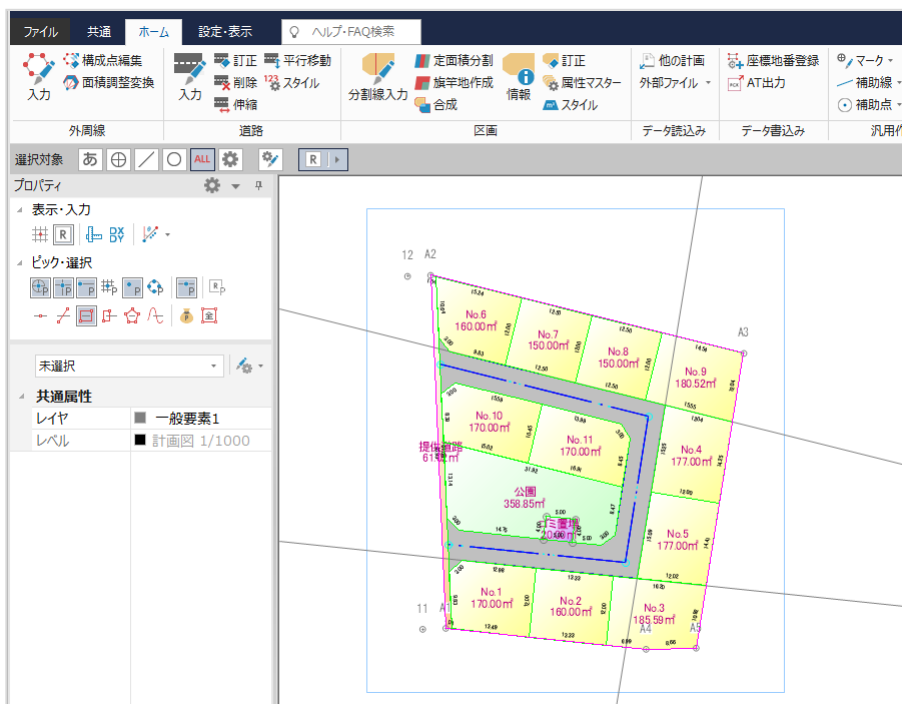
2 [作業データ] で読み込む作業データを選択します。ここでは、「サンプルパターン1」が選択されていることを確認します。

3 [プレビュー] をクリックしてチェックをオンにします。右側に選択されている作業データがプレビュー表示されます。

4 [対象要素] で読み込む要素のチェックをオンにします。

5 [表示色設定、数値表示設定も読み込む] のチェックをオンにします。

6 [OK] をクリックします。入力例では、「サンプルパターン1」の外周線、セットバック、道路、区画、一般要素、補助点・補助線が読み込まれます。



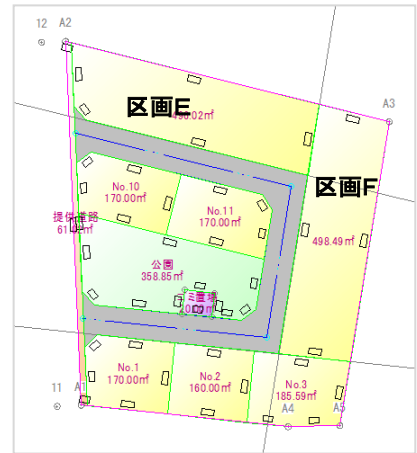
7-3 パターン2の区画を入力する

パターン2の区画を入力します。

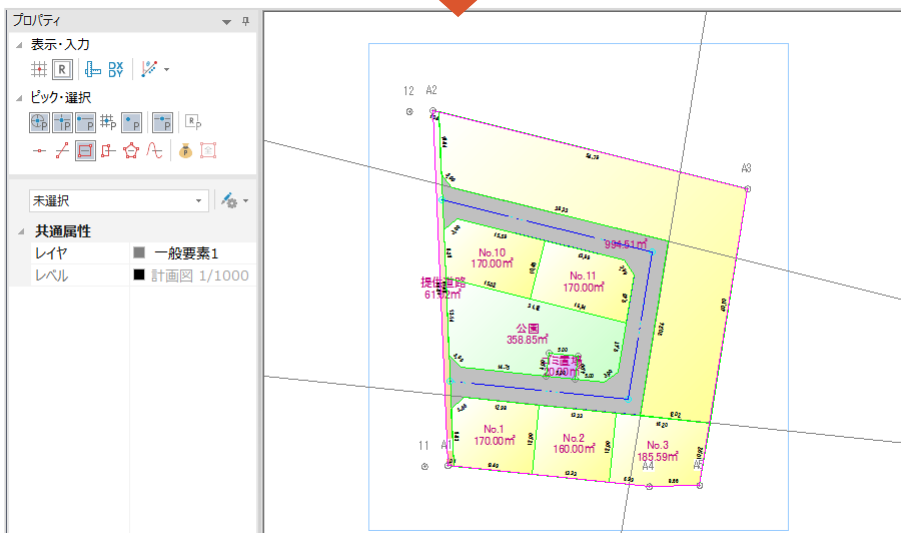
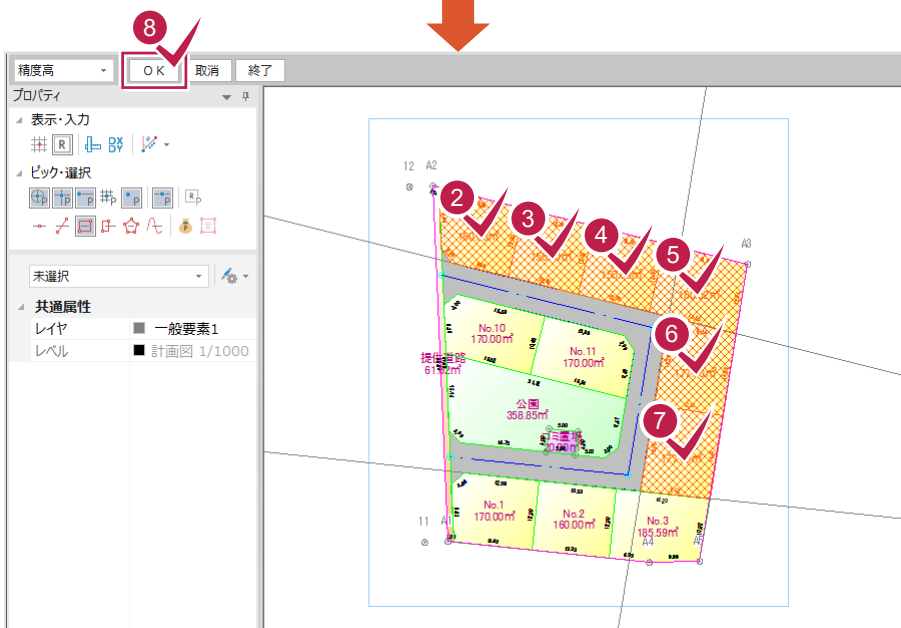
本書ではパターン1の区画No.4～No.9を、区画E、区画Fに変更してから、区画E、区画Fを定面積分割で分割する操作を解説します。

【操作手順】

1. パターン1の区画No.4～No.9を合成する。
2. 分割線を入力して、区画E、区画Fに分割する。
3. 区画Eを定面積分割の等分割で分割する。
4. 区画Fを定面積分割の面積指定で分割する。



パターン1の区画No.4～No.9を合成する



1 [区画] グループ
[合成] をクリックします。

2 3 4 5
6 7

区画No.6～No.9、
区画No.4～No.5を
クリックして選択します。

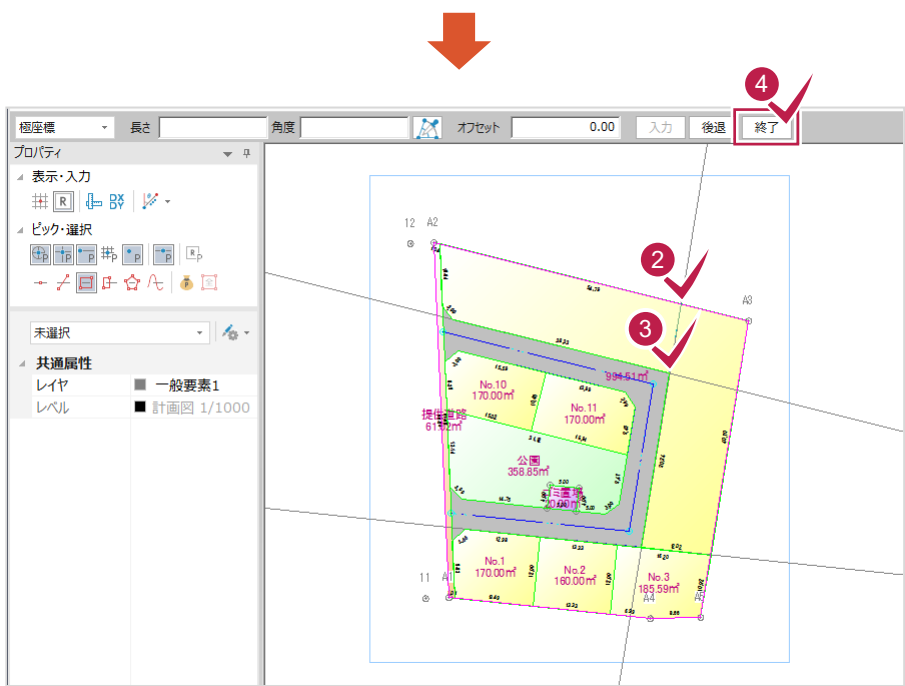
8 [OK] をクリックします。
区画No.4～No.9が合成
されます。

分割線を入力する

分割線を入力して、パターン2の区画E、Fに分割します。

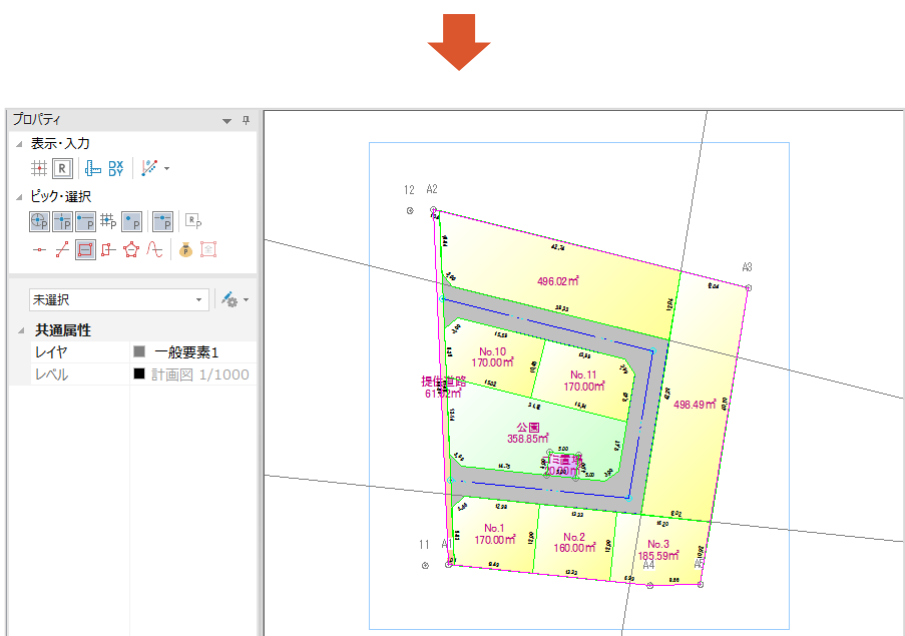


1 [区画] グループ
[分割線入力] をクリック
します。



2 3
分割線の始点、終点を
クリックします。

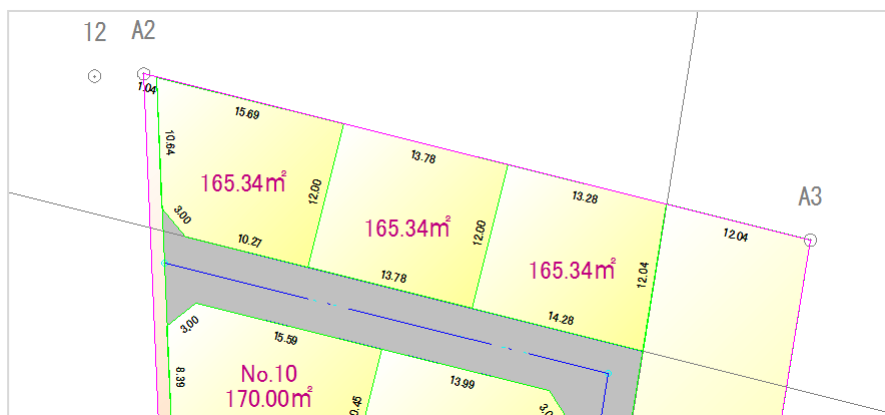
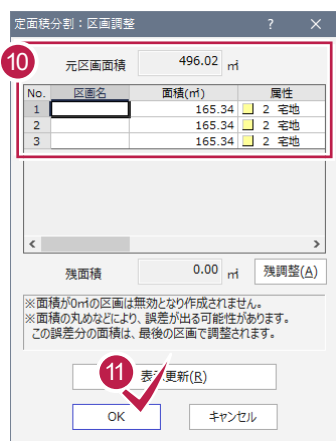
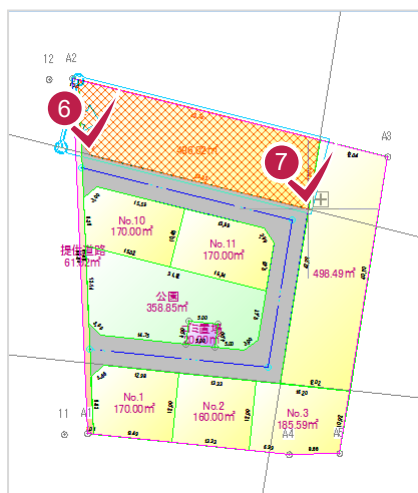
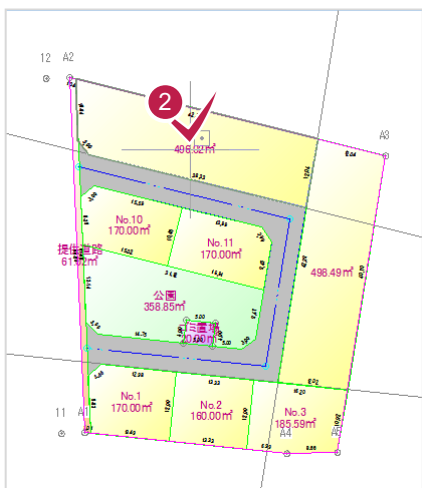
4
[終了] をクリックします。
区画が分割され、分割
された面積が表示されます。



区画Eを定面積分割で分割する

区画Eを、等分割で道路に垂直に分割します。

入力例では、[区画] グループー [定面積分割] の [等分割] を使用して解説します。



1 [区画] グループー [定面積分割] をクリックします。

2 分割する区画Eをクリックします。
[定面積分割タイプ] ダイアログが表示されます。

3 **4** **5** [分割タイプ] の [等分割]、[分割モード] の [垂直] をクリックして、[OK] をクリックします。

6 **7** 基準となる線（道路）の2点をクリックします。
[等分割：分割数入力] ダイアログが表示されます。また、CAD画面には分割する方向が矢印で表示されます。

8 **9** [分割数] に分割数（ここでは「3」）を入力し、[OK] をクリックします。

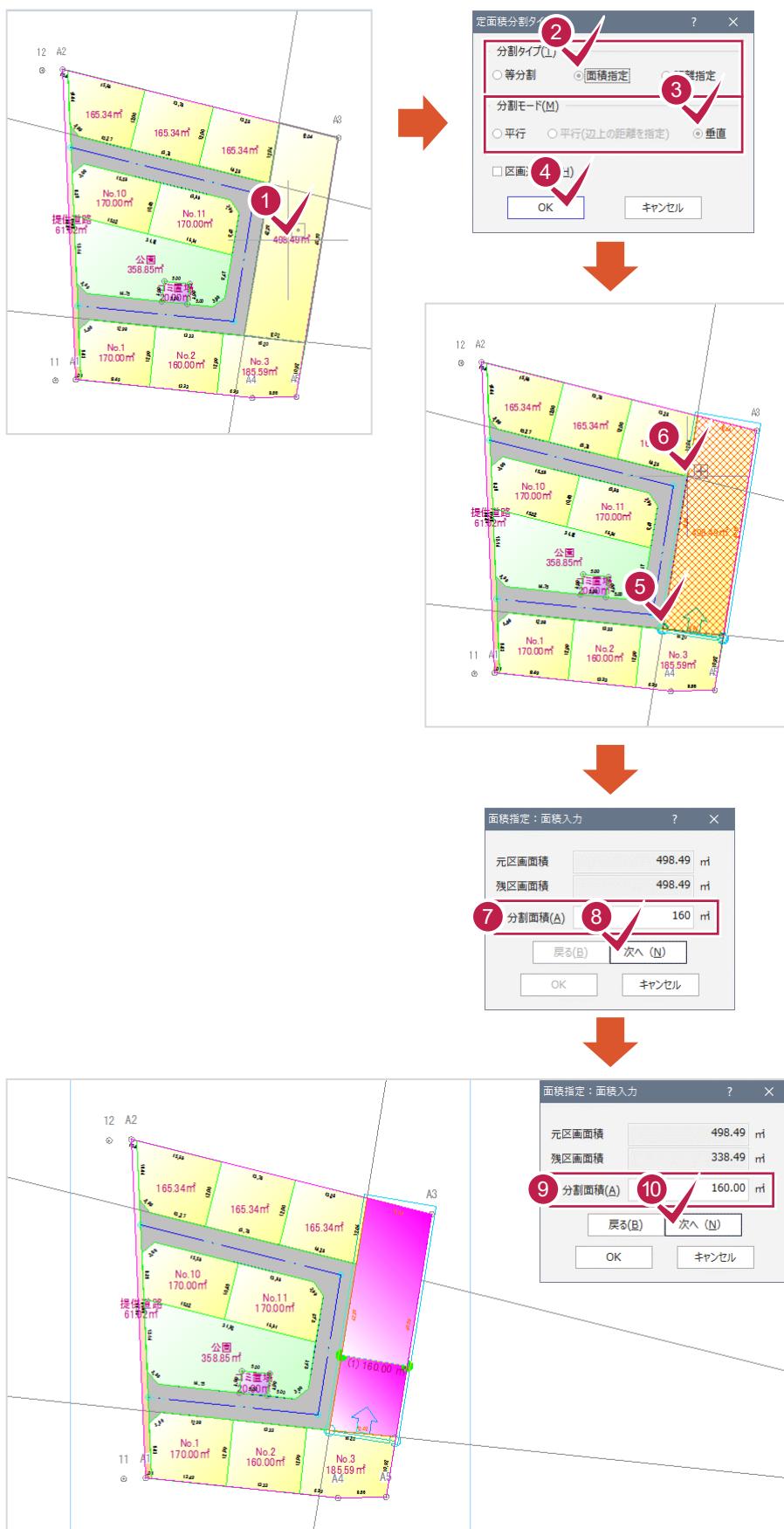
10 [面積] セルで定面積分割した面積を確認します。
入力例では、区画名を後で一括入力するので、空白のままにしておきます。

11 [OK] をクリックします。
区画が分割され、面積が表示されます。

区画Fを定面積分割で分割する

区画Fを、面積を指定して道路に垂直に分割します。

入力例では、[区画] グループー [定面積分割] の [面積指定] を使用して解説します。



1 分割する区画Fをクリックします。
[定面積分割タイプ] ダイアログが表示されます。

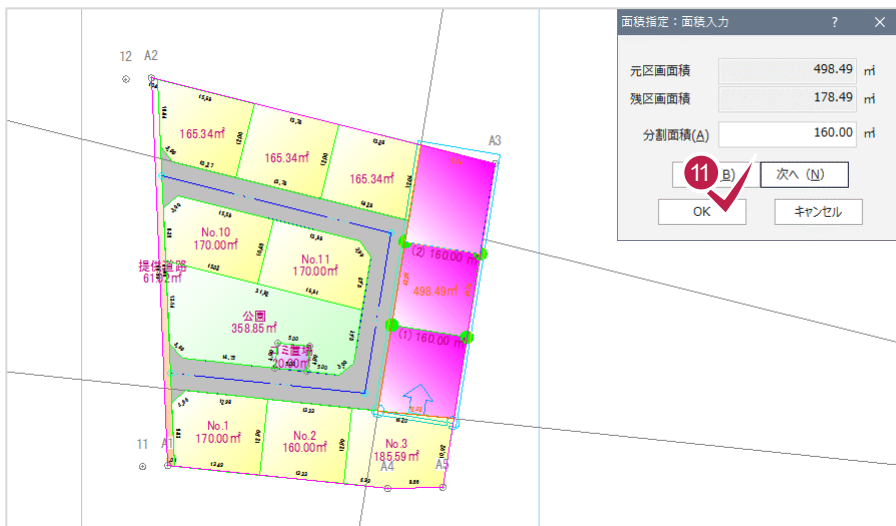
2 3 4 [分割タイプ] の [面積指定]、[分割モード] の [垂直] をクリックして、[OK] をクリックします。

5 6 基準となる線（道路）の2点をクリックします。
[面積指定：面積入力] ダイアログが表示されます。また、CAD画面には分割する方向が矢印で表示されます。

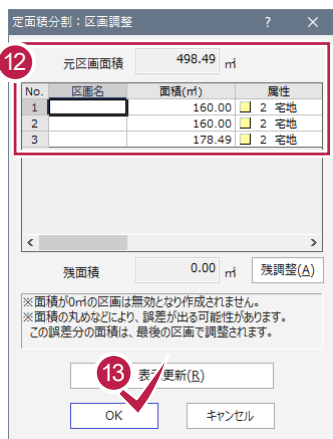
7 8 [分割面積] に分割する区画の面積（ここでは「160」）を入力し、[次へ] をクリックします。指定した面積で区画が仮分割され、表示されます。

9 続けて [残区画面積] を確認して、[分割面積] に分割する区画の面積を入力します。ここでは「160」と入力します。

10 [次へ] をクリックします。

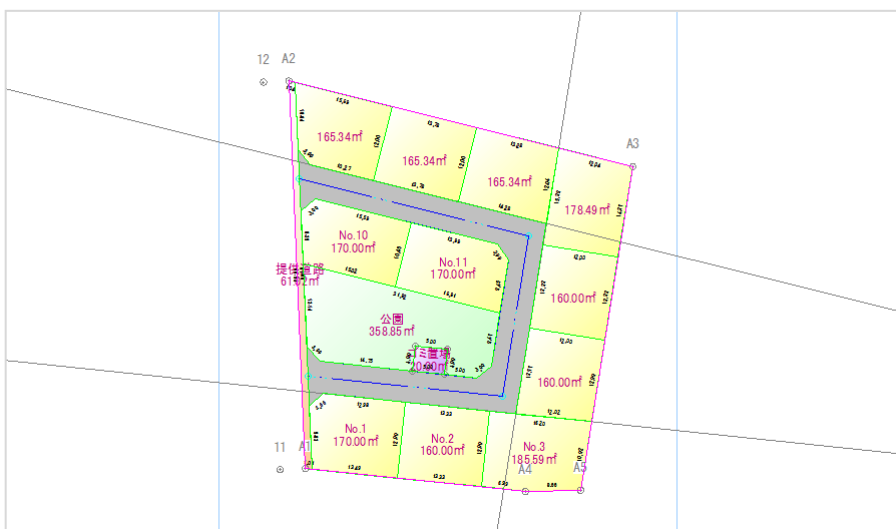


- 11** [残区画面積]を確認します。
ここでは[残区画面積]を最後の区画の面積にするので、そのまま[OK]をクリックします。
[定面積分割タイプ]ダイアログが表示されます。



- 12** [面積]セルで定面積分割した面積を確認します。
本書では、区画名、属性は後で一括入力するので、空白のままにしておきます。

- 13** [OK]をクリックします。
仮分割した区画が確定入力され、操作が終了します。



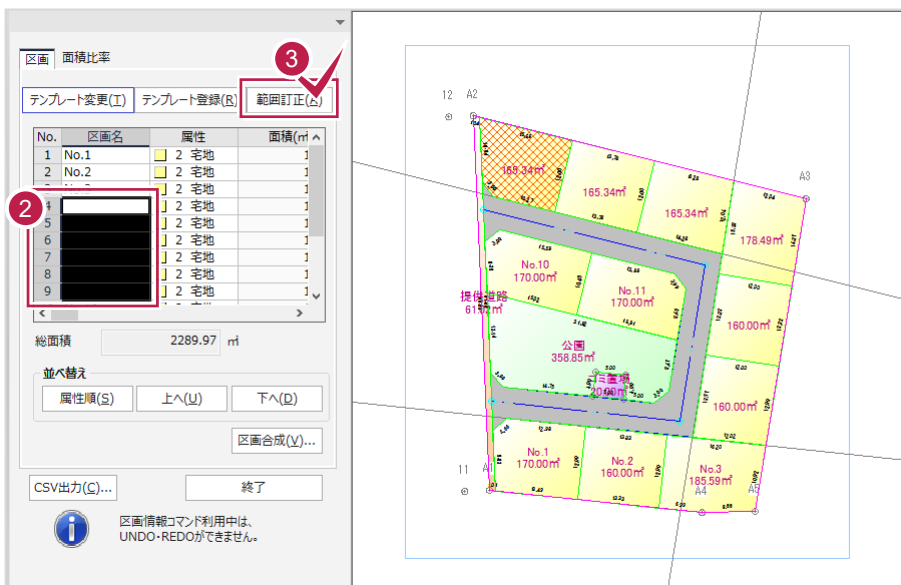
7-4

区画の名称を設定する

入力した区画の名称を設定します。

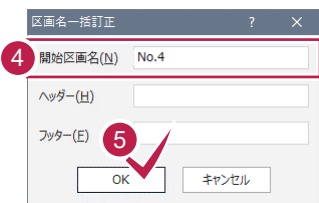


1 [区画] グループ
[情報] をクリックします。
画面左側に区画情報
入力画面が表示されます。



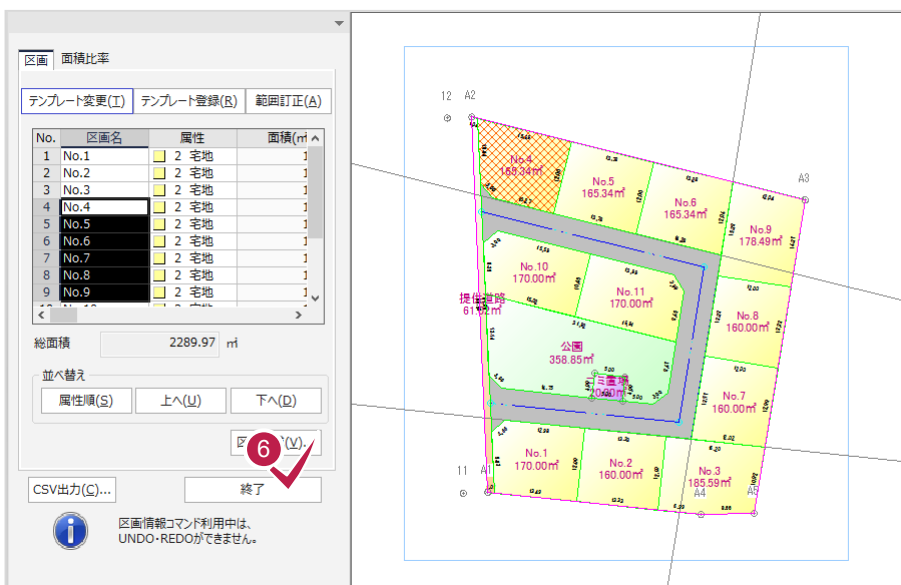
2 No.4~No.9の
[区画名] セルを選択
します。

3 [範囲訂正] をクリック
します。



4 [開始区画名] を入力
します。
ここでは、No.4から連番
で設定するので、「No.4」
と入力します。

5 [OK] をクリックします。
No.4~No.9の
[区画名] セルにNo.4
から連番で一括入力
されます。



6 [終了] をクリックします。

7-5

[宅地割り計画] を終了する



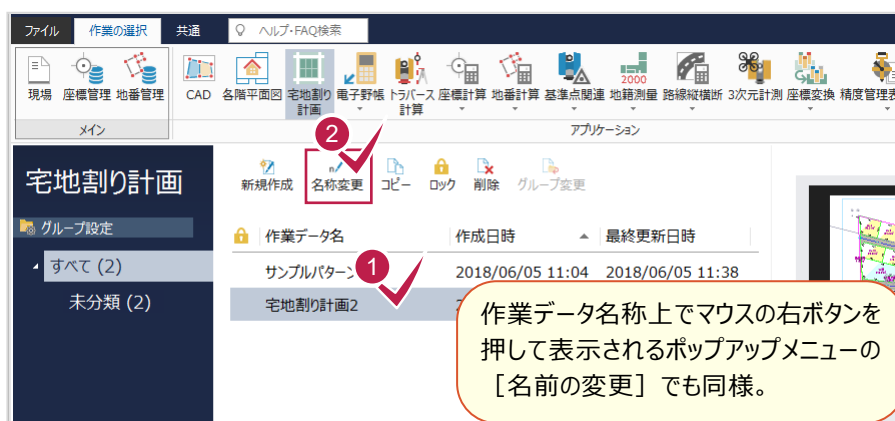
1 [閉じる] をクリックします。

2 [保持] をクリックします。

7-6

作業データ名を変更する

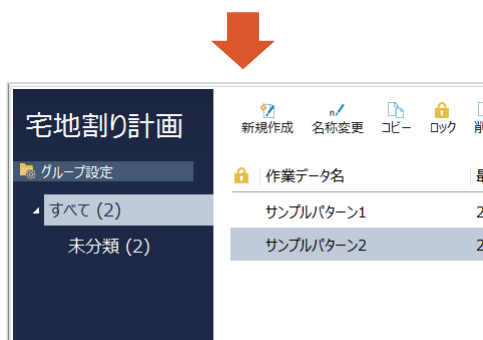
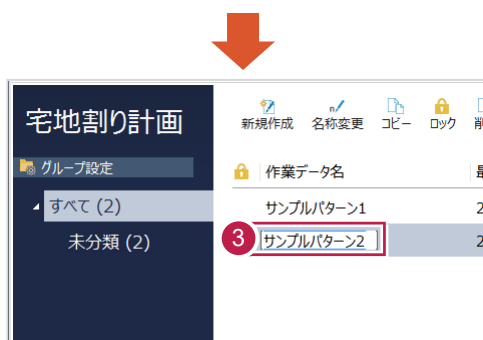
作業データ終了時に自動で名前がつけられますが、管理しやすいように作業データ名を変更しておくことをお勧めします。入力例では、自動でつけられた「宅地割り計画2」を「サンプルパターン2」という名前に変更する例で解説します。



1 名前を変更する作業データを、クリックして選択します。

2 [名称変更] をクリックします。選択されている作業データ名称において、文字列入力可能状態になります。

3 変更後のデータ名称（入力例では、「サンプルパターン2」）を入力して、Enterキーを押します。



メモ

データの保存について

ONE での作業データはメモリ上に保存されているため、[ファイル] タブ - [名前を付けて保存] もしくは [ファイル] タブ - [上書き保存] を実行するまでハードディスクに保存されていません。ハードディスクに保存せずに、ONE を終了したり、コンピューターの電源を切ったりすると、データは消滅します。ハードディスクなどの記憶装置に保存するためには、[ファイル] タブ - [名前を付けて保存] もしくは [ファイル] - [上書き保存] を実行してください。ただし、作業データ単位での保存はできません。複数の作業データを 1 つの現場データとして保存します。現場データの保存については、「現場データの保存」(P.71) を参照してください。

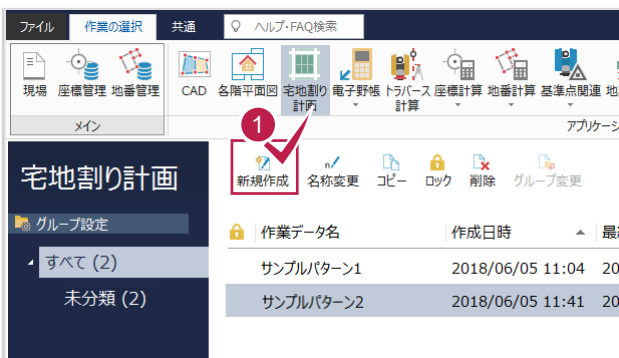
8 宅地割り計画データの入力 (パターン3)

【宅地割り計画】で、パターン1のデータを読み込み、区画を修正してパターン3（右図参照）の宅地割り計画データを入力する操作を解説します。

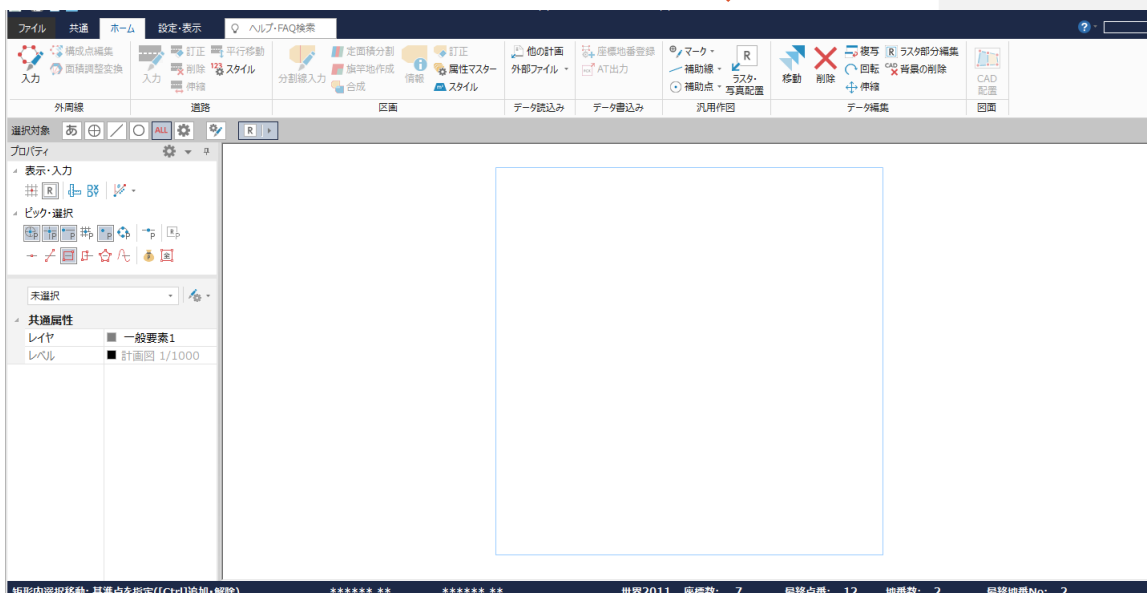


8-1 【宅地割り計画】を起動する

【宅地割り計画】を起動します。



1 メインメニューで
【作業の選択】タブ
【アプリケーション】
グループ【宅地割り
計画】が選択されてい
ることを確認して、【新
規作成】をクリックし
ます。
【宅地割り計画】
ウィンドウが表示され
ます。

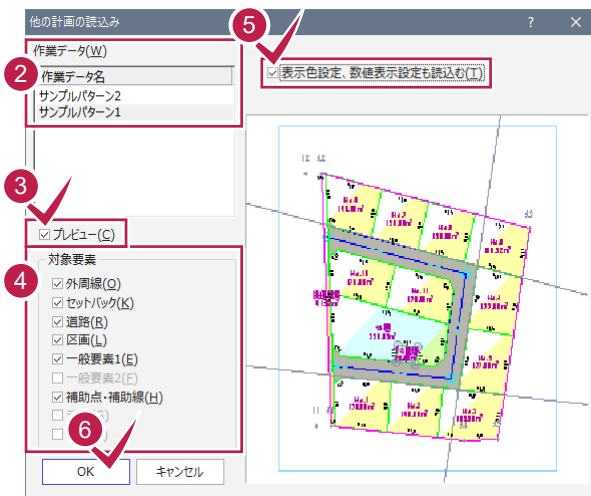


パターン1の計画データを読み込みます。

入力例では、区画を変更するので、外周線、セットバック、道路、区画、一般要素、補助点・補助線のデータを読み込みます。



1 [ホーム] タブ [データ読み込み] グループ [他の計画] をクリックし



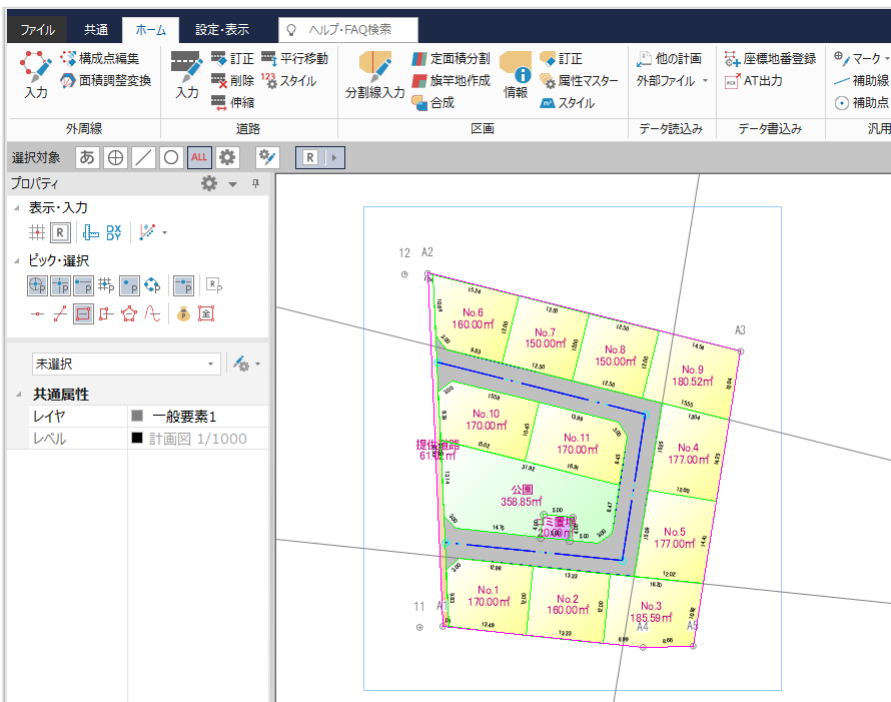
2 [作業データ] で読み込む作業データを選択します。ここでは、「サンプルパターン1」を選択します。

3 [プレビュー] をクリックしてチェックをオンにします。右側に選択されている作業データがプレビュー表示されます。

4 [対象要素] で読み込む要素のチェックをオンにします。

5 [表示色設定、数値表示設定も読み込む] のチェックをオンにします。

6 [OK] をクリックします。入力例では、「サンプルパターン1」の外周線、セットバック、道路、区画、一般要素、補助点・補助線が読み込まれます。

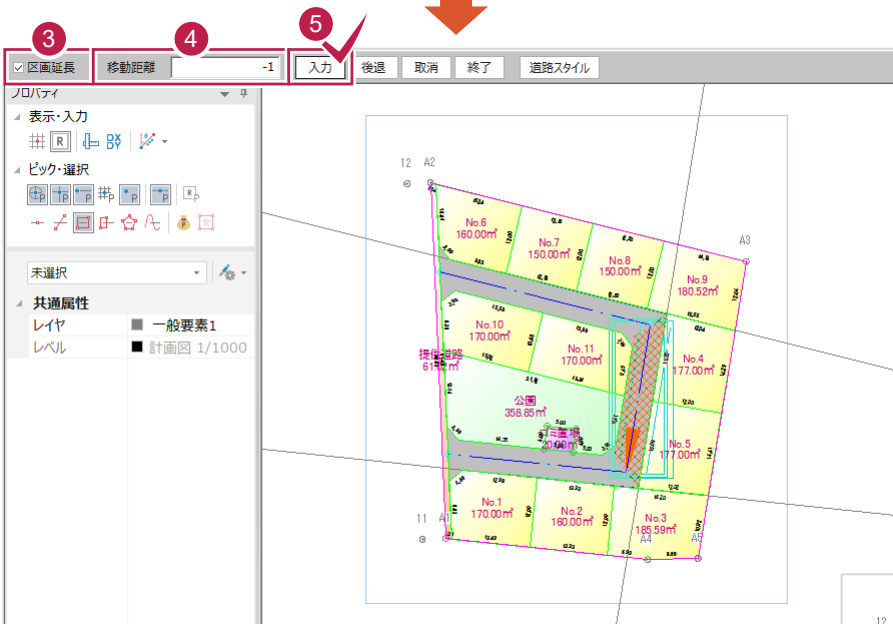
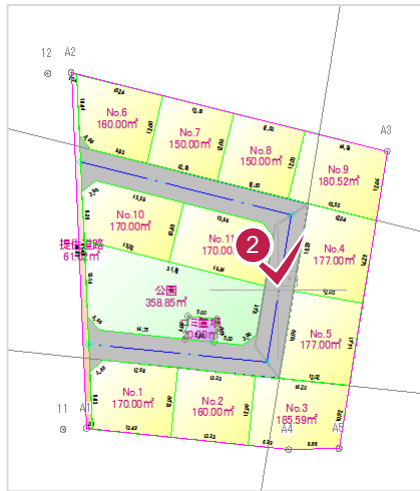


8-3

道路を移動する

道路を移動します。

ここでは、読み込んだパターン1の道路を右側に1m移動します。



1 [道路] グループ
[平行移動] をクリック
します。

2 平行移動する道路を
クリックします。

3 入力例では、道路を平行
移動する際に隣接する
区画も延長するので、
[区画延長] のチェック
をオンにします。

4 5
インプットバーの「移動
距離」に「-1」と入力し、
「入力」をクリックします。
道路が右側に1m移動
して、右側の区画が自動
修正されます。

道路が右側に1m移動して、
左側の区画が延長されます。

8-4

[宅地割り計画] を終了する



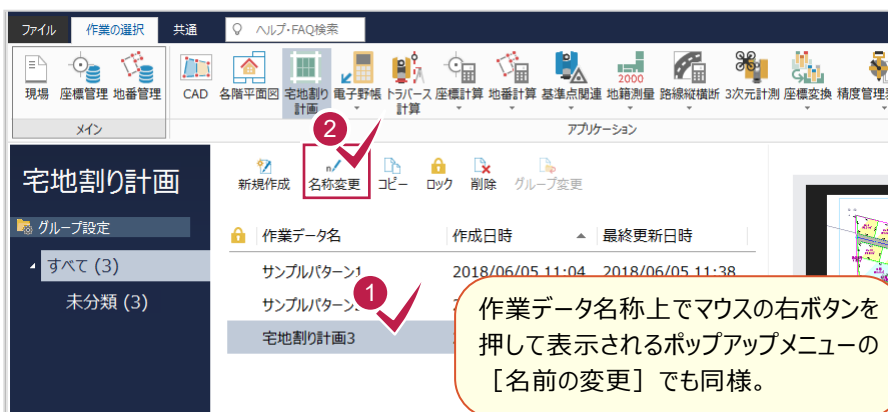
1 [閉じる] をクリックします。

2 [保持] をクリックします。

8-5

作業データ名を変更する

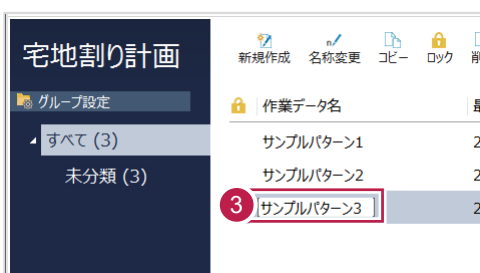
作業データ終了時に自動で名前がつけられますが、管理しやすいように作業データ名を変更しておくことをお勧めします。入力例では、自動でつけられた「宅地割り計画3」を「サンプルパターン3」という名前に変更する例で解説します。



1 名前を変更する作業データを、クリックして選択します。

2 [名称変更] をクリックします。選択されている作業データ名称において、文字列入力可能状態になります。

3 変更後のデータ名称（入力例では、「サンプルパターン3」）を入力して、Enterキーを押します。



メモ データの保存について

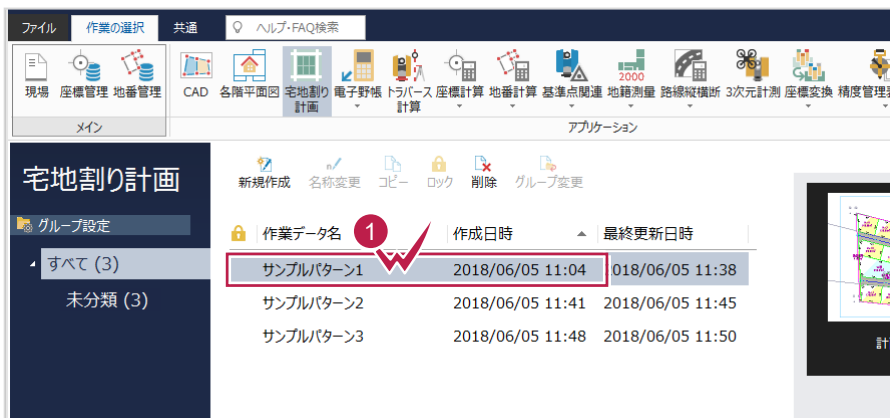
ONEでの作業データはメモリ上に保存されているため、[ファイル] タブー [名前を付けて保存] もしくは [ファイル] タブー [上書き保存] を実行するまでハードディスクに保存されていません。ハードディスクに保存せずに、ONEを終了したり、コンピューターの電源を切ったりすると、データは消滅します。ハードディスクなどの記憶装置に保存するためには、[ファイル] タブー [名前を付けて保存] もしくは [ファイル] - [上書き保存] を実行してください。ただし、作業データ単位での保存はできません。複数の作業データを1つの現場データとして保存します。現場データの保存については、「現場データの保存」(P.71)を参照してください。

9 図面の自動作成

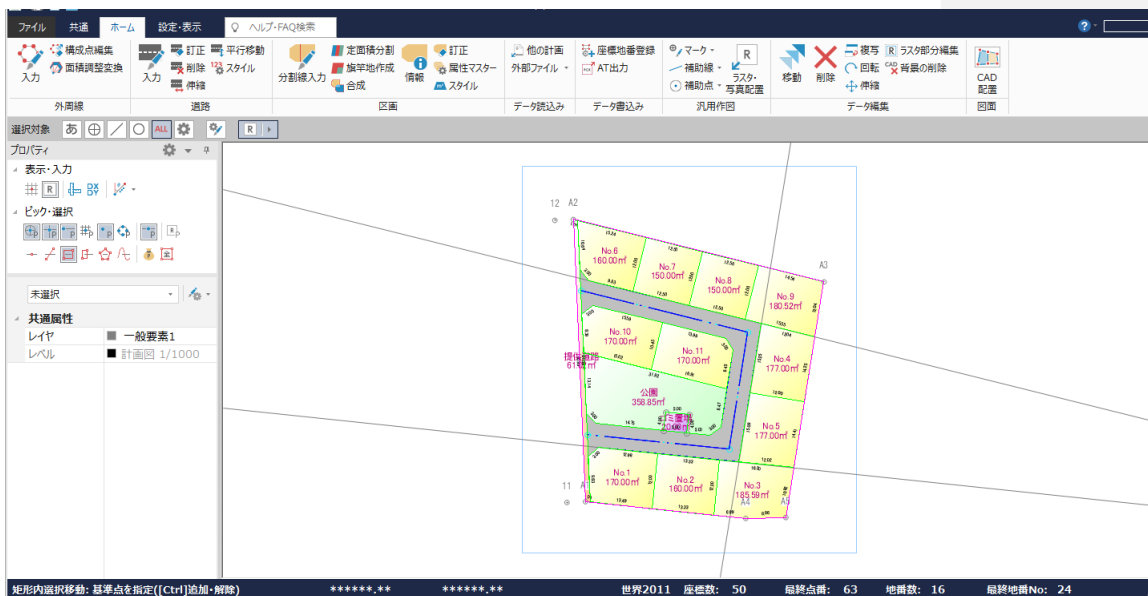
入力した宅地割り計画データを基にCAD図面を作成します。
ここでは、パターン1の図面を作成する操作を解説します。

9-1 「宅地割り計画」を起動する

「サンプルパターン1」を選択して、「宅地割り計画」を起動します。

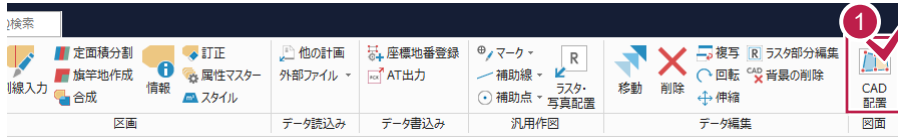


1 「サンプルパターン1」をダブルクリックして、「宅地割り計画」を起動します。

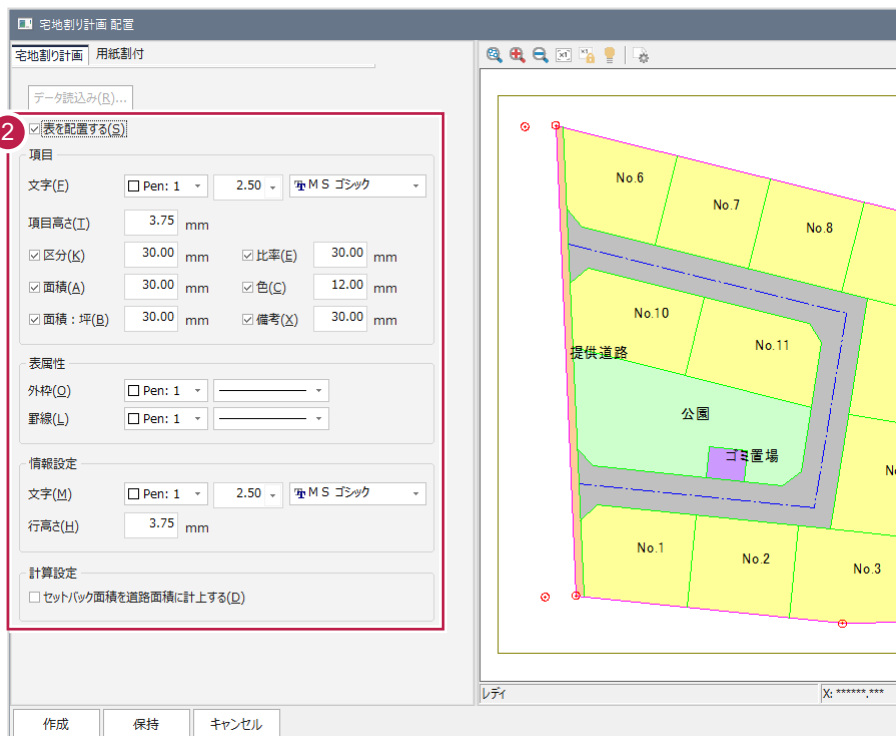


表、用紙サイズ、縮尺を設定し、配置位置を決定して《CAD》に図面を配置します。

表を設定する

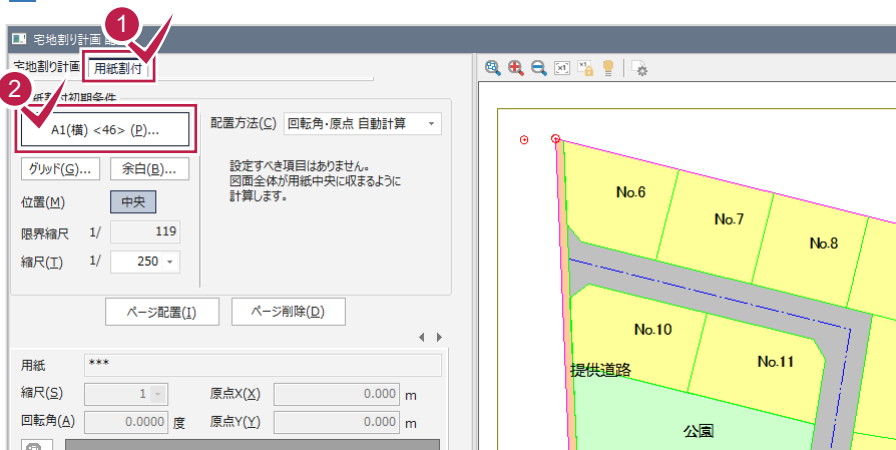


- 1 [ホーム] タブー [図面] グループー [CAD配置] をクリックします。



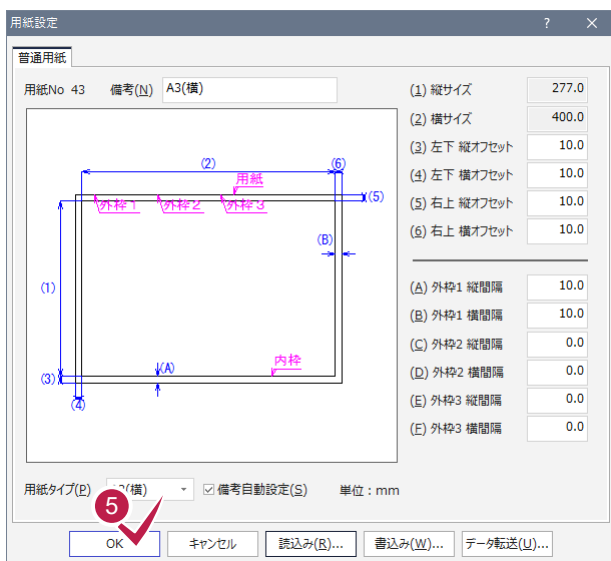
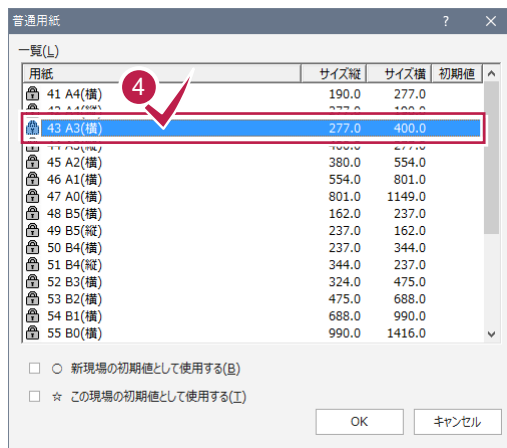
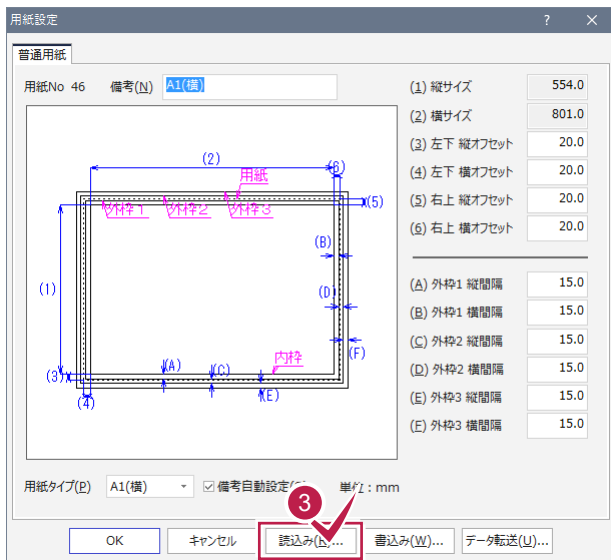
- 2 [表を配置する] のチェックがオンであることを確認して、表示する項目、表属性などを設定します。ここでは、確認のみとします。

用紙を設定する



- 1 [用紙割付] タブをクリックします。
- 2 現在の設定用紙が表示されているボタンをクリックします。





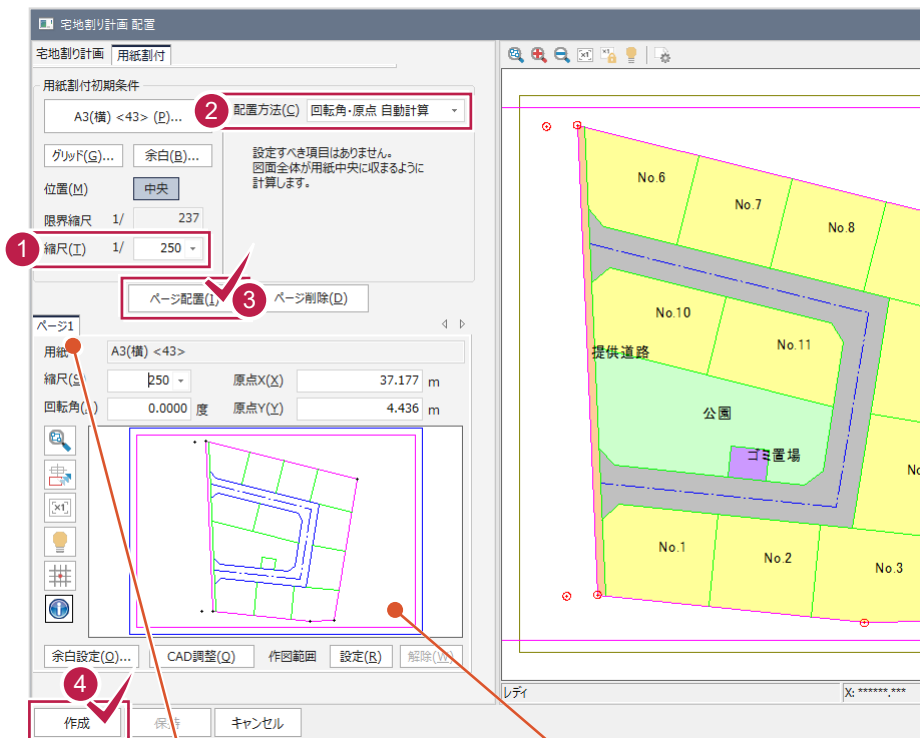
3 「読み込み」をクリックします。

4 「43 A3（横）」をクリックして「OK」をクリックします。

5 「OK」をクリックします。

図面を自動作成する

縮尺、配置方法を設定して図面を用紙に割り付け、CAD図面を作成します。



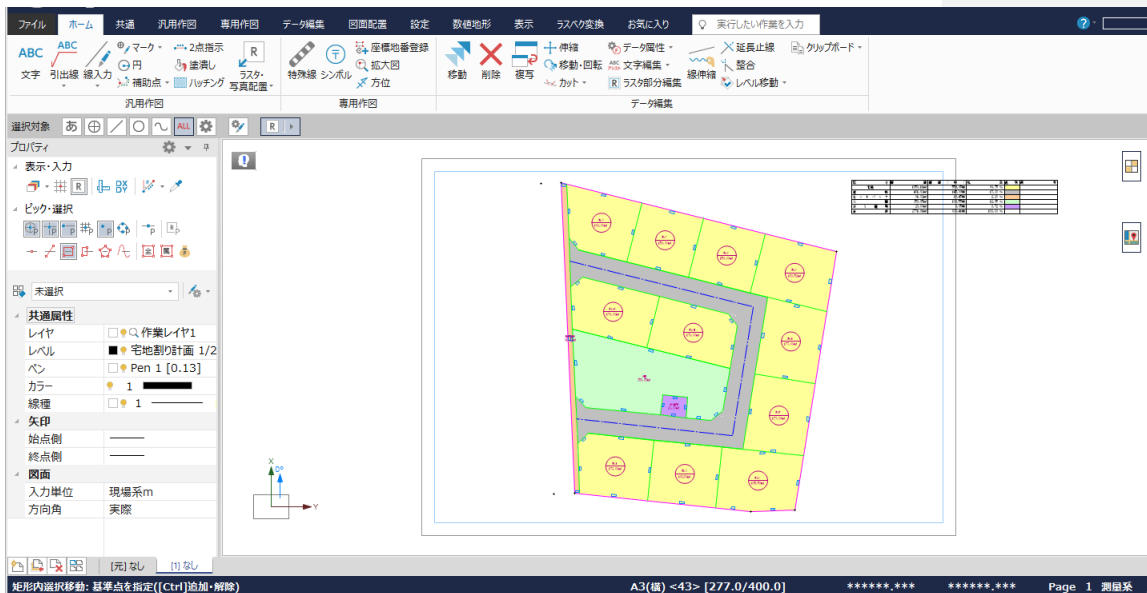
1 [縮尺] で「250」を選択します。

2 3 [配置方法] が「回転角・原点 自動計算」になっていることを確認して、[ページ配置] をクリックします。

4 [作成] をクリックします。《CAD》が起動して図面が配置されます。

用紙を割り付けると、タブが増えていきます。

《CAD》の背景色が反映されます。本書では、「白」で解説します。



用紙の割り付けをやり直す場合

[ページ配置] をクリックし用紙の割り付けをおこなうと、[住宅割り計画 配置] ダイアログの [配置データ] に配置した用紙 (ページ) の情報が表示されます。

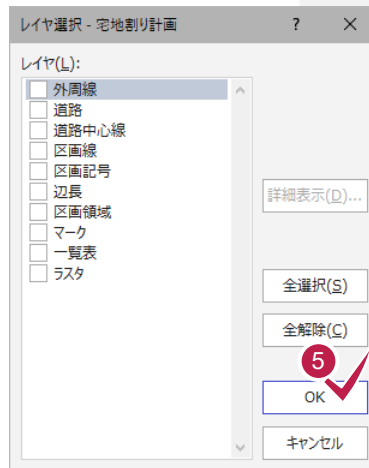
用紙の割り付けをおこなうごとにページ ([ページ] タブ) が増えていくので、用紙の割り付けをやり直す場合は、[ページ削除] をクリックしてページを削除してから、再度用紙の割り付けをおこなうことをお勧めします。

ページ削除をおこなう場合は、[配置データ] で削除する [ページ] タブをクリックしてから [ページ削除] をクリックしてください。

9-3

図面のスタイルを設定する

図面スタイル（線の太さ、文字のサイズ、フォントなど）を設定します。



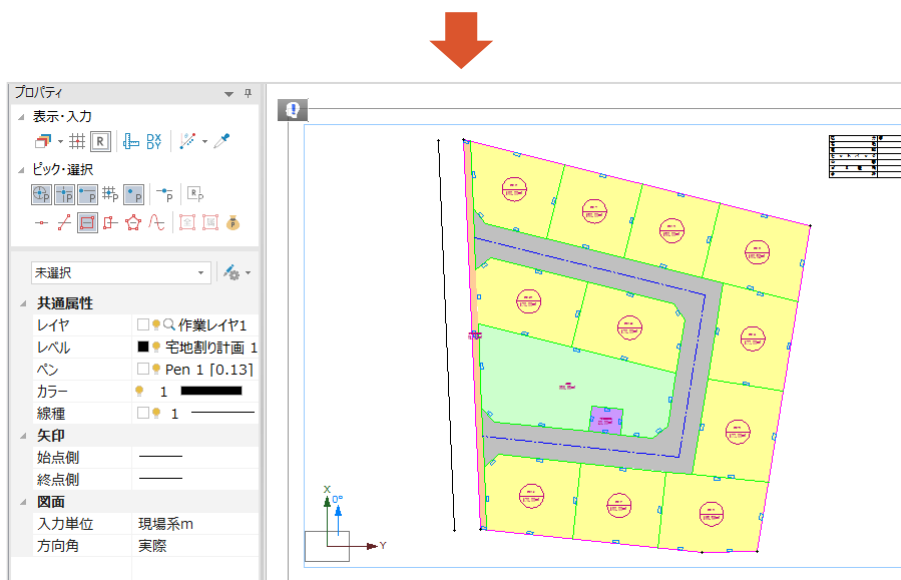
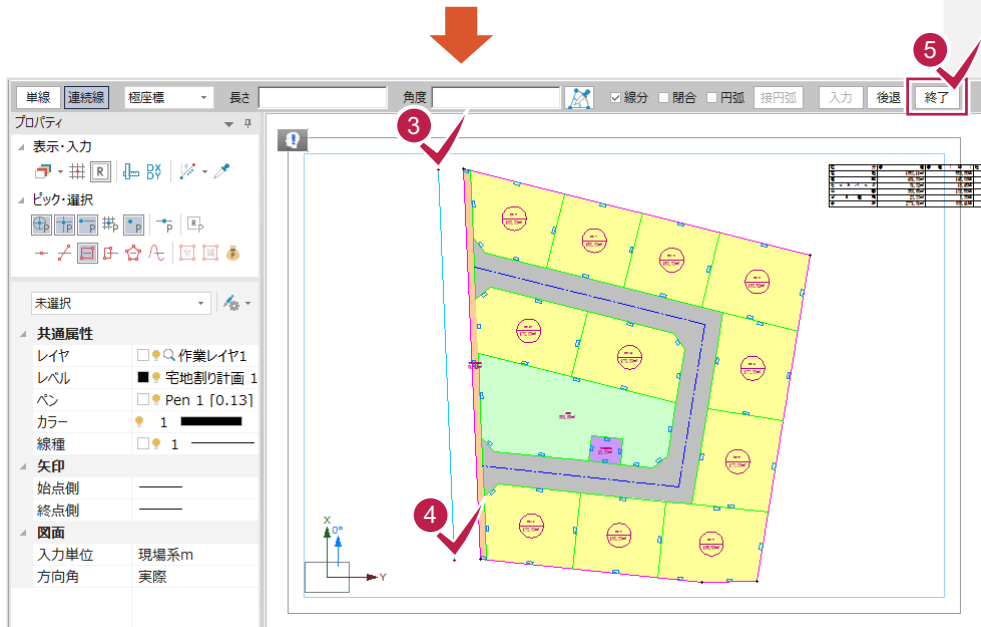
- 1 [図面配置] タブをクリックします。
- 2 [配置2] グループ [宅地割り計画] - [宅地割り計画スタイル] をクリックします。
- 3 [共通] [区画記号] [辺長] タブを切り替えて、スタイルを設定します。ここでは、確認のみとします。
- 4 設定を終了したら、[OK] をクリックします。
- 5 作成し直すレイヤを選択して、[OK] をクリックします。ここでは、すべてオフにします。

10 図面の編集

《宅地割り計画》で図面を自動作成した後は、《CAD》で図面の細かい編集をおこないます。

入力例では、線を引く、文字を入力する、寸法線を入力する、重なっている文字を移動する、表を移動する、方位マークを入力するなど、CADの汎用機能を使って図面を仕上げる流れで解説します。

10-1 線を入力する

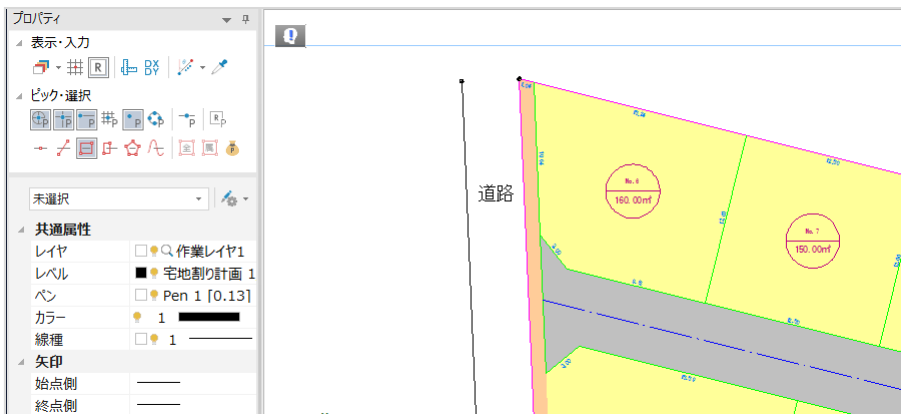
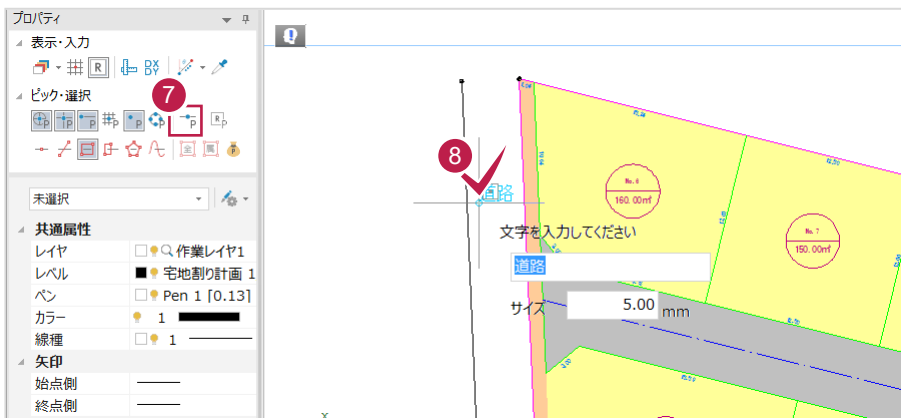


10-2

文字を入力する



[参照] をクリックし、画面に配置済みの文字を指定することにより、その文字列が自動で入力されます。



1 [汎用作図] グループ [文字] をクリックします。

2 3 配置する文字を入力し、 [フォント] [サイズ] [間隔] などを設定します。本書では「道路」と入力します。

4 [詳細] をクリックします。

5 文字配置方法、円文字など文字配置に関する各種詳細設定をおこないます。ここでは、確認のみとします。

6 [OK] をクリックします。

7 [ピックモード：線上] をオフにします。ここでは、確認のみとします。

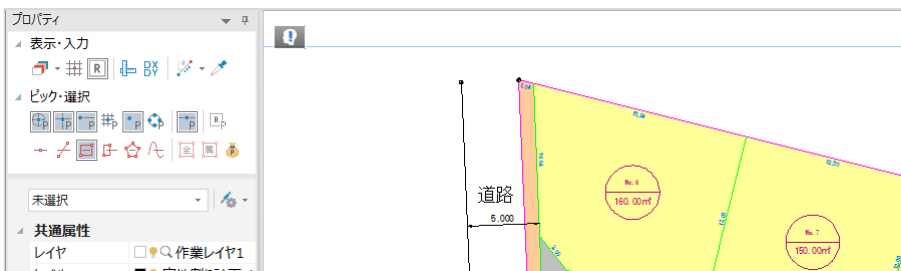
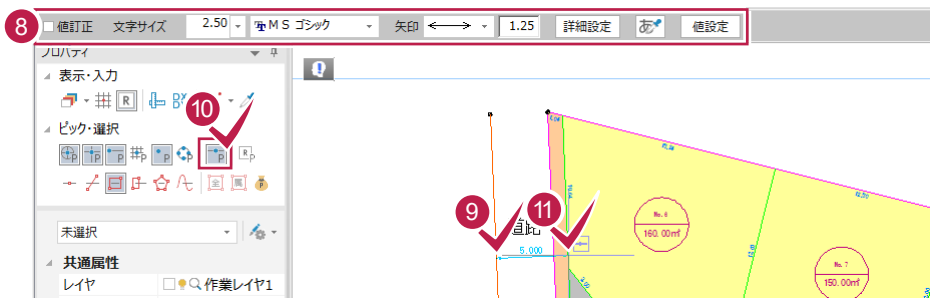
8 詳細設定で設定されている基準点位置にマウスカーソルが表示されますので、配置する位置をクリックします。

10-3

寸法線を入力する

道路幅の寸法線を入力します。

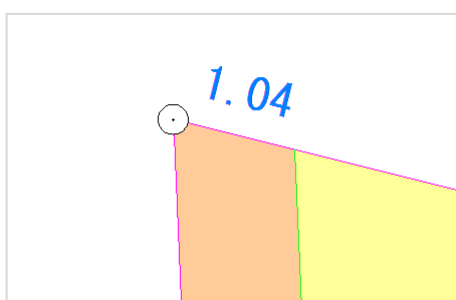
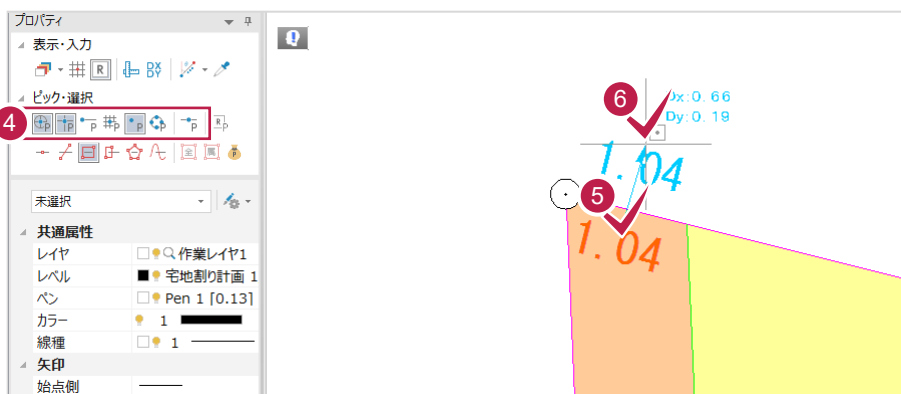
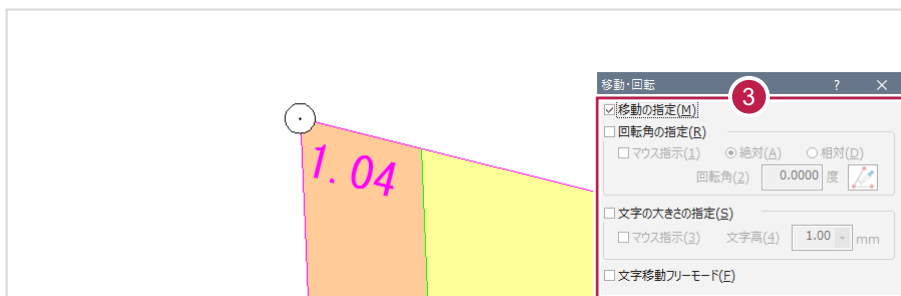
入力例では、[汎用作図] タブ - [寸法線] グループ - [直線] - [要素と点の距離] を使用して解説します。



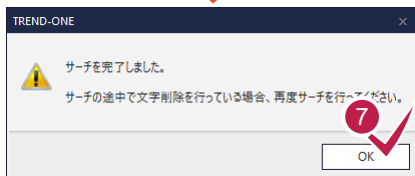
- 1 [設定] タブをクリックします。
- 2 [設定] グループ - [値設定] をクリックします。
- 3 [寸法] タブをクリックして [距離] の桁数を「2桁」に設定します。
- 4 [OK] をクリックします。
- 5 [汎用作図] タブをクリックします。
- 6 [寸法線] グループ - [直線] - [要素と点の距離] をクリックします。

- 7 インputバーで、寸法文字の大きさや、矢印の形などを設定します。ここでは [文字] のサイズを「2.50」に設定します。
- 8 寸法線を入力する道路線をクリックして、[ピックアップモード：線上] のアイコンをクリックしてオンにし、寸法線を入力する位置をクリックします。

重なっている文字列を [データ編集] タブ - [文字編集] グループ - [サーチ] ですべて移動します。



重複文字がなくなるまで
[サーチ] コマンドを実行。



- 1 [データ編集] タブをクリックします。
- 2 [文字編集] グループ - [サーチ] をクリックします。 [移動・回転] ダイアログが表示され、対象文字列が作業ウィンドウの中心となるように拡大表示されます。
- 3 文字移動時の配置方法を設定します。ここでは、確認のみとします。
- 4 [ピックモード：端点] [ピックモード：線上] のアイコンをクリックしてオフにします。
- 5 6 検出された文字、移動先を順にクリックします。重複文字がなくなるまで、上記①～⑥の操作を繰り返します。
- 7 [OK] をクリックして終了します。

メモ

以前使ったコマンドを使う場合

右クリックで表示されるポップアップメニューで、最大 5 回までに以前に使用したコマンドの履歴が残ります。

[サーチ] など連続して実行する場合に使用すると便利です。



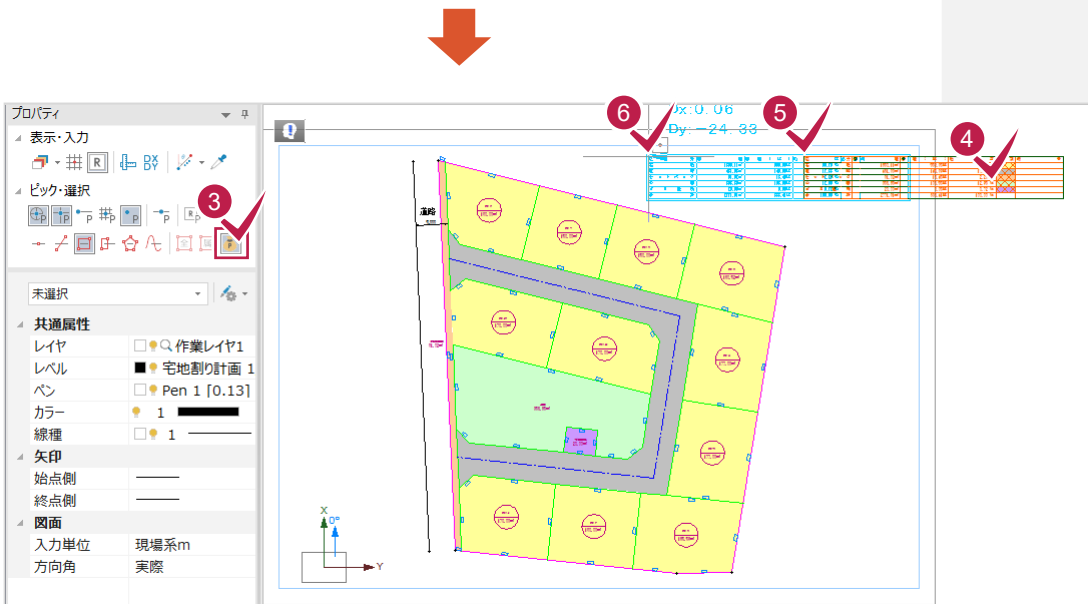
10-5

表を移動する

表を [ホーム] タブ - [データ編集] グループ - [移動] で移動します。



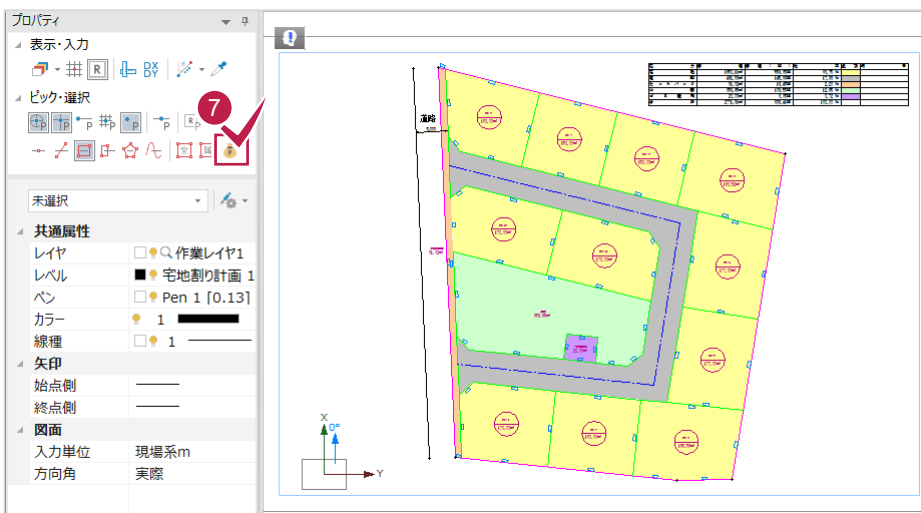
- 1 [ホーム] タブをクリックします。
- 2 [データ編集] グループ - [移動] をクリックします。



- 3 表はパック化されているので、[パック指定] のアイコンをクリックしてオンにします。

- 4 5 6 表をクリックし、移動元の基準点、移動先の基準点をクリックします。

- 7 表の移動が終了したら、[パック指定] のアイコンをクリックしてオフに戻します。



メモ 表の編集について

表は、[データ編集] タブ - [基本編集] グループ - [パック] - [解除] でパックを解除することもできます。表の [備考] に文字列を入力して、表のパック化に追加した場合は、[データ編集] タブ - [基本編集] グループ - [パック] - [入力] を実行してください。

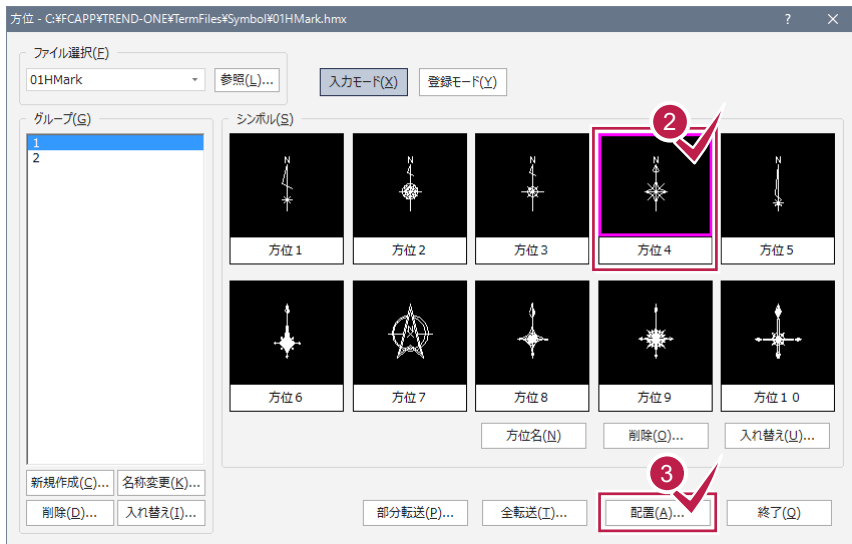
10-6

方位マークを入力する

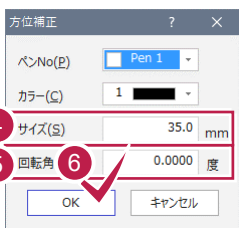
方位マークを [ホーム] タブ - [専用作図] グループ - [方位] で入力します。



1 [専用作図] グループ - [方位] をクリックします。

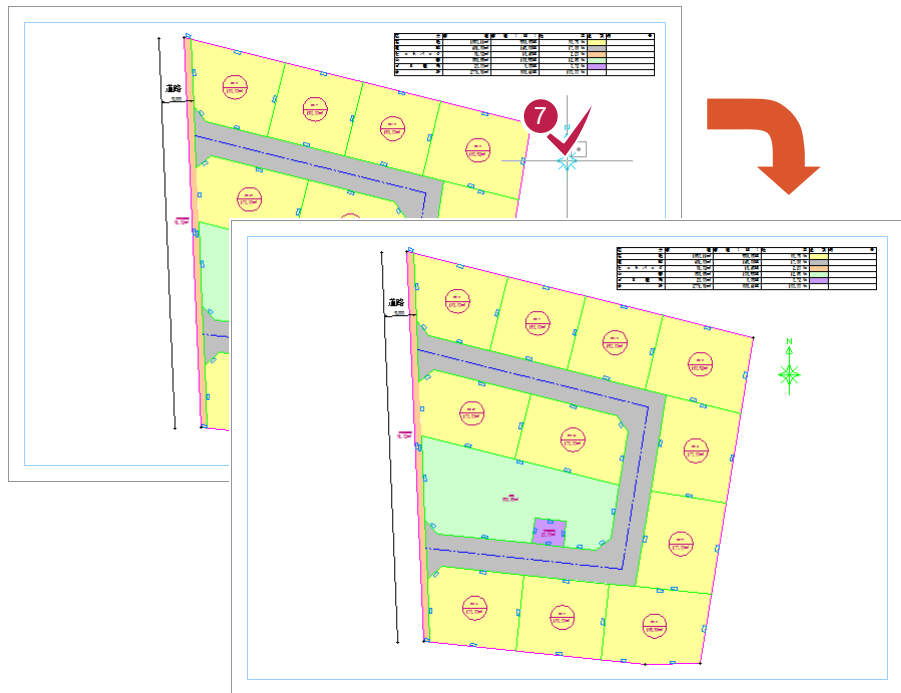


2 3 配置する方位マークをクリックして選択し、[配置] をクリックします。



4 5 [サイズ] に表示させたい大きさをmm単位で入力し（入力例では初期値）、[回転角] に方位マークの回転角度を入力します。（初期値には図面の回転角が連動します。）

6 [OK] をクリックします。



7 配置する位置をクリックします。

11 現場データの保存

ONEでの作業データはメモリ上に保存されているため、[ファイル] タブー [名前を付けて保存] もしくは [ファイル] タブー [上書き保存] を実行するまでハードディスクに保存されていません。

ハードディスクに保存せずに、ONEを終了したり、コンピューターの電源を切ったりすると、データが消滅します。

[上書き保存] と [名前を付けて保存] の違いは、現場ファイル名を変えずにそのとき保存するか、名前を変えて別ファイルに保存するかです。

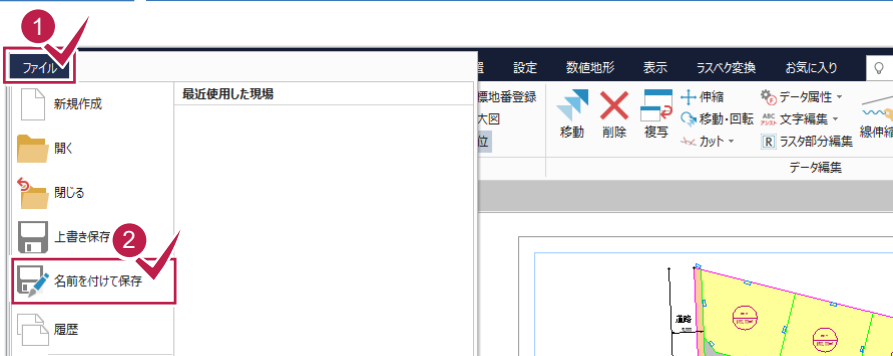
新規の現場データでは [名前を付けて保存]、内容を変更してそのまま保存する場合は [上書き保存] を選択します。こまめに保存することで、不慮の事故によってシステムダウンした場合に影響が少なく済みます。

作業データを入力・変更したとき、各作業を終了するたびに保存することをお勧めします。

ただし、作業データ単位での保存はできません。

[ファイル] タブー [名前を付けて保存] を実行して、複数の作業データを1つの現場データとして保存します。

11-1 現場データを保存する



1 2
[ファイル] タブー
[名前を付けて保存]
をクリックします。



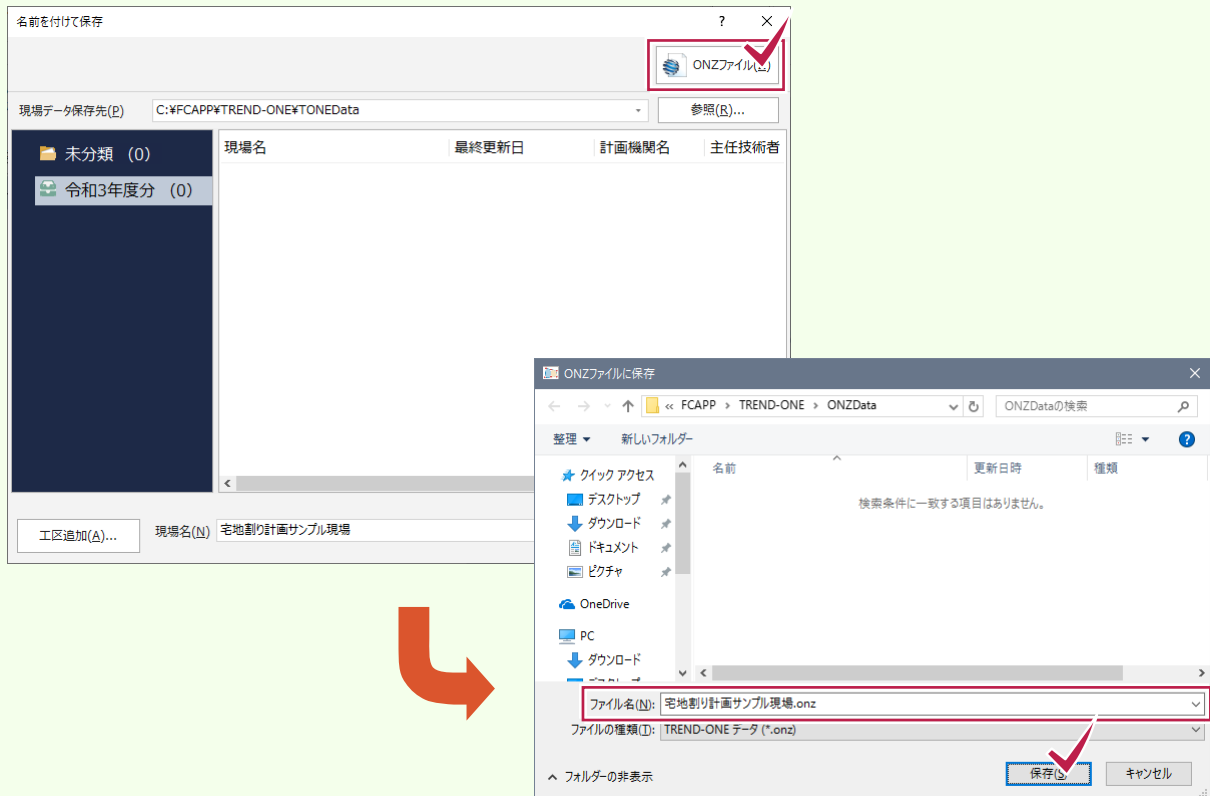
3 4
[工区] [現場名]
などを確認します。
5 [保存] をクリックします。





ONZ ファイルについて

「名前を付けて保存」ダイアログで「ONZ ファイル」を選択すると、データを onz 形式に圧縮して指定したフォルダーに保存することができます。



上書き保存について

上書き保存を実行すると、前回保存したデータに上書きされ、前回のデータはなくなります。前回のデータを残す場合は、【ファイル】タブー【名前を付けて保存】を使用してください。

12 図面の印刷

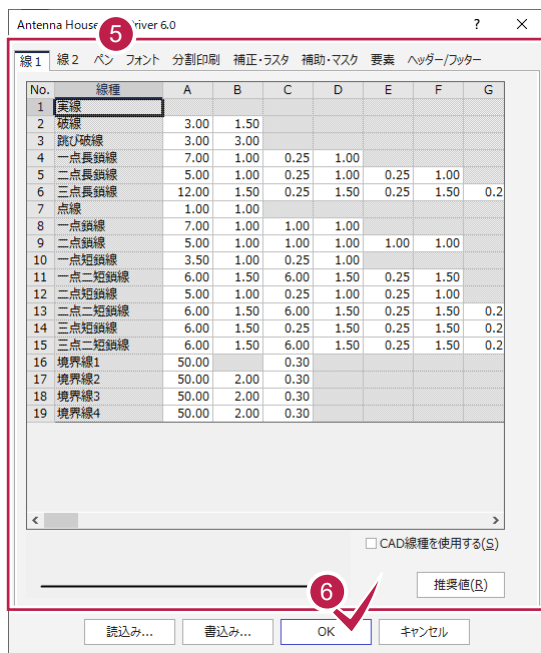
作成した図面を印刷します。

入力例では、[ファイル] タブ - [印刷] でプリンターへ出力します。

12-1 図面を印刷する



- 1
- 2 [ファイル] タブ - [印刷] をクリックします。



- 3 [プリンター] で使用するプリンターを選択します。
- 4 [印刷プレビュー] タブ - [印刷] グループ - [出力設定] をクリックします。選択したプリンターの出力設定に関するダイアログが表示されます。
- 5
- 6 各タブをクリックして、プリンターの出力設定を確認し [OK] をクリックします。



- 7 [印刷] をクリックします。印刷が実行されます。